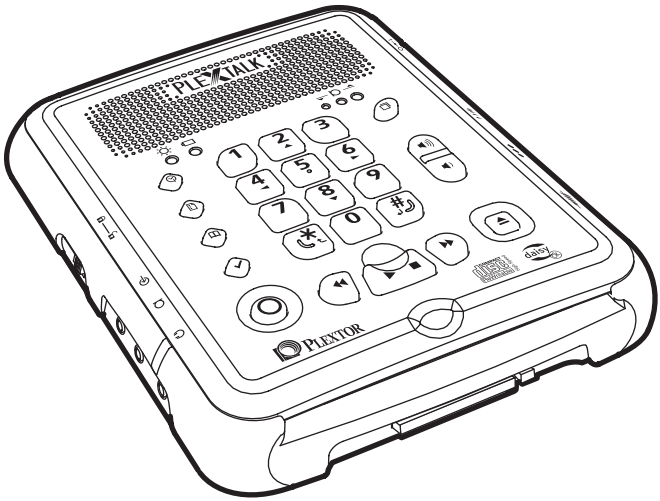
PLEXTALK®

プレクストークポータブルレコーダー

ＰＴＲ２



取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。

daisy OK DAISY2.0 compatible

©2008 Shinano Kenshi Co.,Ltd.

目次

ここだけ読んでも使えます

安全にお使いいただくために（警告、注意）……4
1章　はじめに……18
　1章1　入っているものを確認しましょう……18
　1章2　使う準備をしましょう……20
　1章3　各部の名称と働き……22
　1章4　プレクストークポータブルレコーダーでできること……32
　1章5　覚えて欲しいこと……36
2章　バッテリーについて……38
3章　基本操作編：再生……42
4章　基本操作編：録音……52
5章　基本操作編：編集……58
　5章1　録音中に編集する……58
　5章2　録音後に編集する……59
6章　使いこなし編：再生……62
　6章1　お休みタイマー……62
　6章2　ダイレクトにページ、見出し、トラックに移動……63
　6章3　しおりをつけて移動　しおりメニュー……64
　6章4　音声ファイルの再生……70
　6章5　再生設定……73
7章　使いこなし編：録音……76
　7章1　テープからの録音……84
　7章2　ラジオ、テレビからの録音……86
　7章3　授業や会議の録音……88
　7章4　音楽の録音……90
　7章5　音楽ＣＤ形式での録音……92
8章　使いこなし編：編集……96
　8章1　セクション編集……96
　8章2　間違って操作した編集を元に戻す……101
　8章3　タイトルの作成、削除……102

８章４　CDファイナライズしたCDに録音、編集を行う …… 104
８章５　録音編集情報の保存 …… 105
９章　便利な機能 …… 106
９章１　日時の確認 …… 107
９章２　バックアップ …… 109
９章３　ＯＮタイマー …… 115
９章４　メモ録 …… 119
９章５　計算機 …… 125
９章６　メディア管理（メディア情報、CDファイナライズ、CD-RW内容全消去、カード内容全消去、CDの保存情報を検索、不要音声ファイル削除） …… 127
９章７　管理（設定を初期化、プレクストークの情報、待ち受け音の選択、時刻ガイドの切り替え、メモリ配分の選択、グループ移動方法の選択、送り・戻し移動方法の選択、動作モードの選択、USB動作の切り替え） …… 133
９章８　CDドライブ／カードドライブとして使用する …… 141
１０章　実践編：テープからの録音 …… 152
１１章　図書制作モード …… 161
１１章１　図書制作モードとノーマルモードの違い …… 161
１１章２　再生 …… 163
１１章３　録音 …… 164
１１章４　編集 …… 169
１２章　メニュー階層一覧 …… 176
１３章　プレクストークレコーディングソフトウェアを使いましょう …… 180
１４章　用語解説 …… 181
１５章　主な仕様、オプション …… 191
１５章１　主な仕様、主な機能 …… 191
１５章２　オプション、推奨品 …… 198
１６章　故障かなと思ったら …… 202
１６章１　症状、音声ガイドと対応のしかた …… 202
１６章２　CD-R/RWドライブ 症状と対応のしかた …… 211
１６章３　保証について …… 215
１６章４　商品の問い合わせについて …… 216
索引 …… 217

安全にお使いいただくために（警告、注意）

⚠警告

本機は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はまちがった使い方をすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

警告及び注意事項について

⚠危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると「死亡または重傷を負うに至る切迫した危険性が想定される内容」を示しています。
⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると「人体に重大な損傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると「人が損傷を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容」を示しています。

絵表示の内容について

⚠注意	注意(警告を含む)しなければならない内容を示しています。
⃠禁止	禁止(してはいけないこと)の内容を示しています。
❗厳守	必ず行なっていただく厳守事項の内容を示しています。
♪ポイント	ポイント、アドバイス、ヒントの内容を示しています。

⚠警告

分解禁止	分解しない　勝手に修理しない 本機を開けて勝手に修理しないでください。カバーを取ると電流やレーザー光線が放射されることがあり危険です。火災・感電・故障の原因になります。安全のため、修理は「プレクストークお問い合わせ窓口」にご依頼ください。
水ぬれ禁止	水に注意 本機を濡らしたりしないでください。感電の原因になります。
風呂、シャワー室での使用禁止	お風呂や雨の当たる場所、湿気の多い場所での使用はしないでください。感電・火災・事故・故障の原因になります。
ぬれ手禁止	濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。
厳守	付属の電源アダプタ、電源コード以外は、使用しないでください。本電源コードの電源プラグは 100V 専用です。他の電圧で使用する場合は、そのコンセントに合った電源プラグに交換してください。なお、本電源アダプタの仕様は 100Ｖ～240Ｖ（50/60Hz）です。
注意	火災に注意 電源コードの電源プラグについたほこりは定期的にお取りください。たこあし配線をしないでください。コード類の接続は、根元まで差し込んでください。

禁止

レーザーに関する安全について

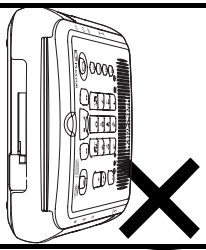
指定された以外の方法で操作部、調節部、運転部を使用すると、有害な光線が放射される危険があります。光ピックアップから放射されるレーザー光線は目など人体に有害です。内部をのぞきこまないでください。

⚠注意

注意

必ず水平の状態で使用する

本機は傾いた場所や不安定な場所を避け、必ず水平な状態でご使用ください。また、垂直に立てかけたりしないでください。



禁止

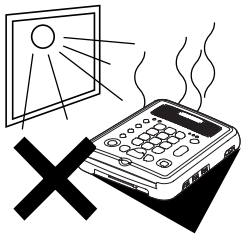
物を置かない

本機の上に物を置かないでください。

注意

置き場所に注意する

本機を埃の多い場所、直射日光の当たる場所や暖房器具に近い場所、携帯電話、オーディオアンプ、電子レンジ、トースター、ヘアードライヤ、その他熱や電波を発生する電気製品の近くに置かないでください。火災や感電の原因になります。

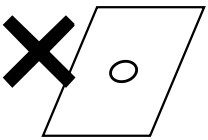


厳守

８ｃｍＣＤ（シングルＣＤ）は使用しないでください。アダプタを付けても使用できません。

円形のＣＤのみ対応

名刺型などの異形のＣＤは故障の原因になりますので使用しないでください。



⚠注意

注意

お手入れに注意する

本機にちりやほこりなど汚れが付着しないようにご注意ください。もし、汚れを拭き取る場合は、柔らかい清潔な布をご使用ください。水や洗剤などの液体が本機にかからないようにご注意ください。シンナーやベンジン、アルコールの入った溶剤などは本機の表面を痛めますのでご使用にならないでください。市販のＣＤレンズクリーナーはご使用にならないでください。

電源プラグを抜け

長期間ご使用にならないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

注意

移動の際などに注意する

本機の中にメディアを入れた状態及び電源アダプタを付けたままでの持ち歩き、移動・運搬はおやめください。故障の原因となります。また、本機を落としたり、揺らしたりしないでください。

注意

低温やけどに注意する

本機は長時間使用すると温かくなることがあります。長時間皮膚の同じ場所に触れていると、熱い・痛いなどの自覚症状がなくても低温やけどのおそれがあります。

禁止

動作中に振動を与えない

本機が動作している際に振動等を与えると、故障の原因になります。

⚠注意

注意

コンパクトディスク（ＣＤ）規格に準拠していない（著作権保護技術付き音楽ディスク等）ＣＤの再生動作および音質の保証はいたしかねます。当該ＣＤの再生につきましては音楽ＣＤのパッケージの表示をよくお読みください。

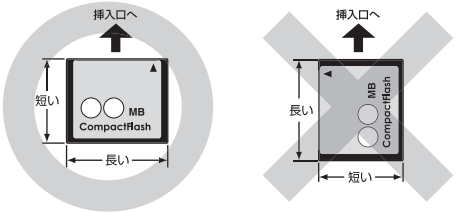
注意

メディアのキズ、汚れは記録品位を著しく落とします。
ＣＤを使用して録音する場合は録音中、バックアップ中、ＣＤファイナライズ中に振動や衝撃を与えないでください。録音した内容が再生できなくなる恐れがあります。

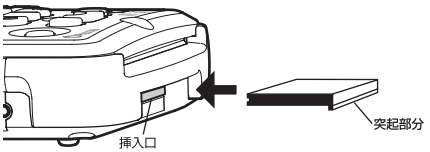
注意

コンパクトフラッシュカード(※)は正しい向きで挿入しないと故障の原因になります。決して無理な力を加えないでください。

① **横に長く、前後に短い向き**にしてください。



② **突起部分を手前、下向き**にしてください。



確認事項

・左右に大きくがたつかないか
・引っかかりがなく、スムーズに挿入できるか

※「コンパクトフラッシュ」はサンディスク社の登録商標です。

バッテリーについての安全上の注意

漏液、発熱、発火、破裂による大けがややけど、火災などを避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

⚠危険

	勝手に修理しない分解しない 火災・感電の原因になります。
	万一、異常が起きたら　バッテリーから液がもれたら ・すぐに火気より遠ざけてください。漏れた液や気体に引火して発火、破裂の恐れがあります。 ・目に入った場合は、きれいな水で洗った後、ただちに医師に相談してください。 ・液が身体や衣服に付いたときは、水でよく洗い流してください。 火災・やけど・感電の原因になります。
	使用中や充電中、保管時に異臭を感じたり、発熱・変色・変形など異常に気がついたときは、電源コンセントを抜き、本体からバッテリーを取り出し、使用しないでください。 火災・やけど・感電の原因になります。

⚠警告

厳守	バッテリーは、間違ったタイプと交換した場合、破裂の危険があります。必ず指定されたバッテリーをご使用ください。
禁止	コインやヘヤーピン、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯、保管するとショートすることがあります。
火気禁止	火の中にいれない。 火のそばや炎天下、高温になった車などで放置したりしない。 電子レンジやオーブンなどで加熱しない。 バッテリー内の危険防止の保護回路が壊れることがあり故障の原因になります。
水ぬれ禁止	バッテリーは水・海水・牛乳・清涼飲料水・石鹸水などの液体で濡れた状態で使用しない。

⚠注意

 厳守	端子の向きを正しく入れる。
 禁止	ハンマーでたたいたり、踏みつけたり、落下させるなどの強い衝撃を与えない。
 水ぬれ禁止	水・海水・牛乳・清涼飲料水・石鹸水などの液体で濡らさない。
 厳守	バッテリーを使い切ったとき、長時間使用しないときは、本体から取り出しておく。
 注意	使用済みバッテリーは取扱指示に従って処分してください。

本製品及び付属品に関するその他のご注意

１．
本製品に付属のアプリケーションＣＤ（以下「本アプリケーションＣＤ」という）及び本取り扱い説明書（以下「本書」）はシナノケンシ株式会社の著作物です。したがって、定められた場合を除き、本アプリケーションＣＤ及び本書の一部または全部を無断で複製・複写・転写・転載・改変することは法律で禁止されています。
２．
本アプリケーションＣＤ及び本書に記載されている内容に関しては、改良のため予告なしに変更することがあります。
３．
本アプリケーションＣＤ及び本書の内容に関しては万全を期して作成していますが、万一ご不明な点あるいは不備な点などがありましたら、弊社までご連絡ください。
４．
本機及び本アプリケーションＣＤなどの付属品の使用に起因する損害や逸失利益の請求などにつきましては、上記に関わらずいかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
５．
本機は「外国為替及び外国貿易法」の規定により戦略物等輸出規制製品に該当する場合があります。国外に持ち出す際は、日本政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
６．
本アプリケーションＣＤの使用においては、バックアップの目的に限り、各一部だけ複製できるものとします。

７．
本アプリケーションＣＤに含まれる著作権等の知的財産は、いかなる場合においてもお客様に移転されることはありません。
８．
本アプリケーションＣＤのソースコードについては、いかなる場合においてもお客様に開示、使用許諾をいたしません。また、ソースコードを解明するための本ソフトウェアの解析、逆アセンブルや逆コンパイル、またはその他のリバースエンジニアリングを禁止いたします。
９．
書面による弊社の事前承諾を得ずに、本アプリケーションＣＤをタイムシェアリング・リース・レンタル・販売・譲渡・サブライセンスすることを禁止いたします。
１０．
本機は医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など人命に関わる設備や機器としての使用、またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本機を使用され、本機の故障により人身事故、火災事故、社会的損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計など、安全設計に万全を期されるようご注意ください。
１１．
本機は日本国内仕様です。本機を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本機に関し、日本国外への技術サポート及びアフターサービス等を行っておりません。予めご了承ください。
１２．
本アプリケーションＣＤは一時に一台のＰＣにおいてのみ使用できます。

本製品と付属品のライセンスと商標はすべて、弊社その他本製品と付属品の各々の権利者が保持します。

使用上の注意

厳守

ＣＤの取り扱い

・ＣＤに汚れが付着しないようにしてください。

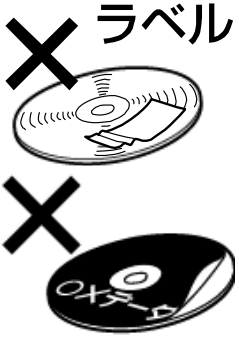
・ＣＤは指で中央の穴と外線を挟むように持ちます。

・ＣＤを落とす、重ねる、ＣＤの上に重いものをのせる等、強い衝撃を与えないでください。

・データを記録する面には触らないでください。

・ＣＤのレーベル面に、ラベル（全面タイプ、部分タイプ）などを貼らないでください。“ＣＤの読み出しができない”“ＣＤの記録面に傷がつく”“再生、録音ができない”などの故障・不具合の原因になります。

・ＣＤの保護のため、元のパッケージやケースなどに入れて保管してください。



厳守

ＣＤのクリーニング

ほこりが付着している場合は、エアースプレーや付属のクリーニングクロス（布）柔らかい布等を使って中心から放射状方向に向かってＣＤを傷つけないようにクリーニングしてください。

使用上の注意

キャリングケースの取り扱い
完全防水ではありませんので、雨天等でのご使用の際は十分ご注意ください。万一ぬれた時は、布で拭き取り陰干しをして乾かしてください。
湿気の多い所でのご使用はおやめください。カビ等が生じる場合があります。

注意
ファスナーを開閉する時は、スライダー（引き手部）をファスナーと平行に正しく引いてください。異物が入ると損傷の原因になります。ご注意ください。
本機および付属品以外の収納はおやめください。故障や損傷の原因になります。
ショルダーストラップはプラスチックフックによりワンタッチで取り外しができますが、ご使用の際は落とさないようにご注意ください。

注意
録音したＣＤ－ＲＷを別のＭＰ３対応のＣＤプレーヤで聞く時は、そのプレーヤがＣＤ－ＲＷ対応していないと再生できません。

注意
ＣＤ－ＲＷの消去をパソコンで行う場合は完全消去を選択してください。高速消去を行うと録音できません。高速消去を誤って行った場合も、後で、完全消去を行うことで録音することはできます。

使用上の注意

注意

本装置は著作権法で許された範囲のコピー（私的使用のための複製、あるいは、著作権法３７条３項に定められた視覚障害者のための用途）のみを目的として使用するものです。違法コピーは民事上または刑事上の制裁を受ける場合があります。

注意

音楽ＣＤのコピーは個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。音楽用ＣＤ－Ｒ／ＲＷには、ＭＤなどと同様に音楽著作権保護を目的に、私的録音に対する補償金の加算と、データ用ＣＤ－Ｒ／ＲＷと識別するための特殊なコードが入っています。本機は識別コードを確認して、音楽用ＣＤ－Ｒ／ＲＷのみに記録が可能な仕組みになっています。音楽用ＣＤ－Ｒ／ＲＷは数社から販売されています。なお、購入の際には、音楽用のＣＤ－Ｒ／ＲＷなのかデータ用のＣＤ－Ｒ／ＲＷなのかを確認する必要があります。

注意

本機は、ＳＣＭＳ(シリアルコピーマネージメントシステム)の規格に準拠しています。この規格は、各種デジタルオーディオ機器の間で「デジタル信号をそのまま録音すること(コピー)」を「１世代まで」と規制したものです。以下のような原則があります。

＜原則＞「ＣＤ、ＭＤなど市販のデジタル音楽ソフト」や「アナログレコードやＦＭ放送などをデジタル録音したもの」のコピーはできますが、コピーのコピーはできません。本機では、デジタル録音の際に、常にこのＳＣＭＳのステータスをトラック毎に確認しています。デジタル録音やコピーが禁止されているトラックは、コピーができません。

使用上の注意

注意

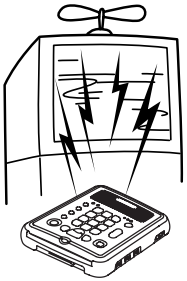
電波障害について

本製品はテストを受けた結果、住宅内での設置による電波障害からの保護を目的として定められたＦＣＣ規格の１５章に従う分類Ｂデジタル装置向けに設けられた規制に合ったものと認定されました。ただし、どのような装置でも電波妨害がまったく生じないという保証はありません。本製品がテレビやラジオ等の受信障害の原因となっているかは本製品の電源のON/OFFを切り替えることでご確認いただけます。本製品が原因の場合は次の方法をお試しください。

・受信アンテナの位置、あるいは方向を変える

・本製品と受信機の距離を離す

・本製品と受信機のコンセントを別々にする



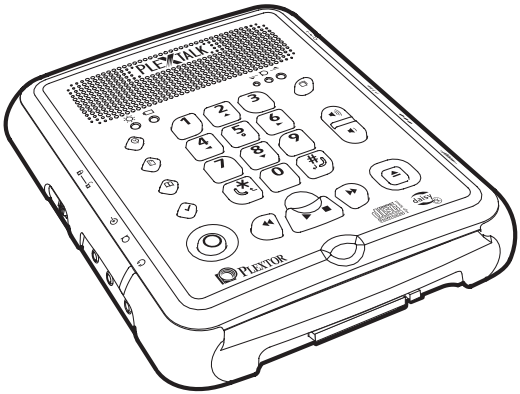
１章　はじめに

１章１　入っているものを確認しましょう

本機をご使用になる前に、まず以下のものがそろっているか□チェックしながらお確かめください。万一不足しているものがありましたら、お手数ですが本製品を購入した販売店までご連絡ください。

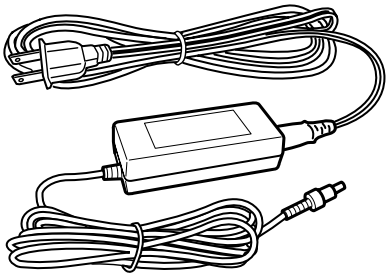
お願い：梱包箱や梱包材は、修理などのために本機を安全に輸送する際に必要となることがありますので、大切に保管しておいてください。

□プレクストークポータブル
レコーダー　１台
（コンパクトフラッシュカード挿入済み。なお、容量を変更する場合があります。）

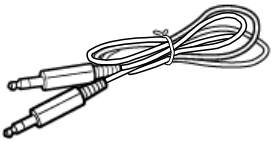


□バッテリー　１ケ

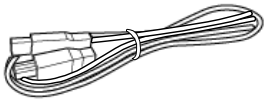
□電源アダプタ　１ケ



□録音用接続ケーブル　１本

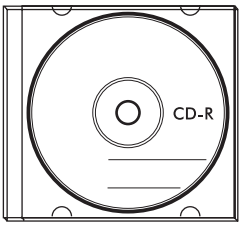


☐ＵＳＢケーブル　１本



☑取扱説明書(本書)　１冊

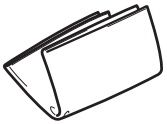
☐ＣＤ－Ｒ　１枚



☐基本操作ｶﾞｲﾄﾞ(ｶｾｯﾄﾃｰﾌﾟ)１個

☐取扱説明書ＤＡＩＳＹ版　１枚

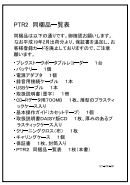
☐クリーニングクロス（布）１枚



☐キャリングケース　１ヶ

☐保証書　１枚

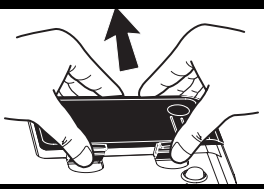
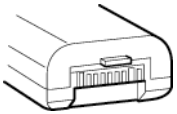
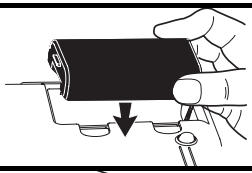
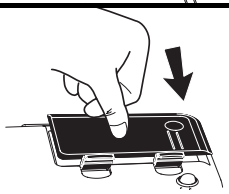
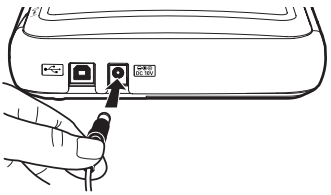
☐同梱品一覧表　１枚



☐取り扱い注意事項　１枚

１章２　使う準備をしましょう

接続しましょう

手順	
本体を裏返します。バッテリー蓋を両手の親指で蓋の爪を背面側に押し込みながら、蓋を起こします。	
バッテリーの向きを確認します。 突起部分を左にし、約２ｃｍの窪みがある面を下にして持ちます。	
窪みのある方からバッテリーを穴に沿って入れます。	
背面側の窪みに蓋を固定してから蓋を閉めます。	
本体を裏返します。背面のＤＣ入力端子に、電源アダプタを接続します。 電源プラグをコンセントに差し込みます。 これで、準備は終了です。本体の電源は入っていませんが、自動的に充電が開始されます。	

⚠注意

●バッテリーを誤って落下させると故障の原因になります。

●長時間（１ヶ月以上）使用しないときは、バッテリーを外しておいてください。

●バッテリーを交換する時は、電源をＯＦＦにして、電源アダプタを外してから行なってください。

●本体、電源アダプタ、コンセントは、確実に接続してください。

●付属の電源アダプタ以外を使用すると本機の故障の原因になります。必ず、付属の電源アダプタを使用してください。

♪ポイント

●バッテリーＬＥＤが赤点灯は充電中、緑点灯は充電完了の状態です。

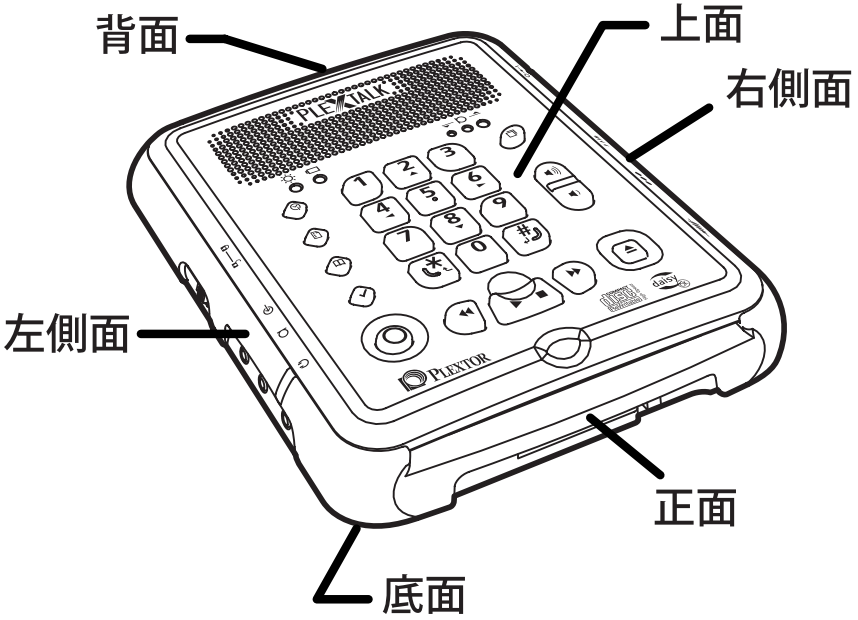
１章３　各部の名称と働き

付属の「基本操作ガイド」カセットテープを聞きながら「各部の名称と働き」を確認しましょう

本体の形状

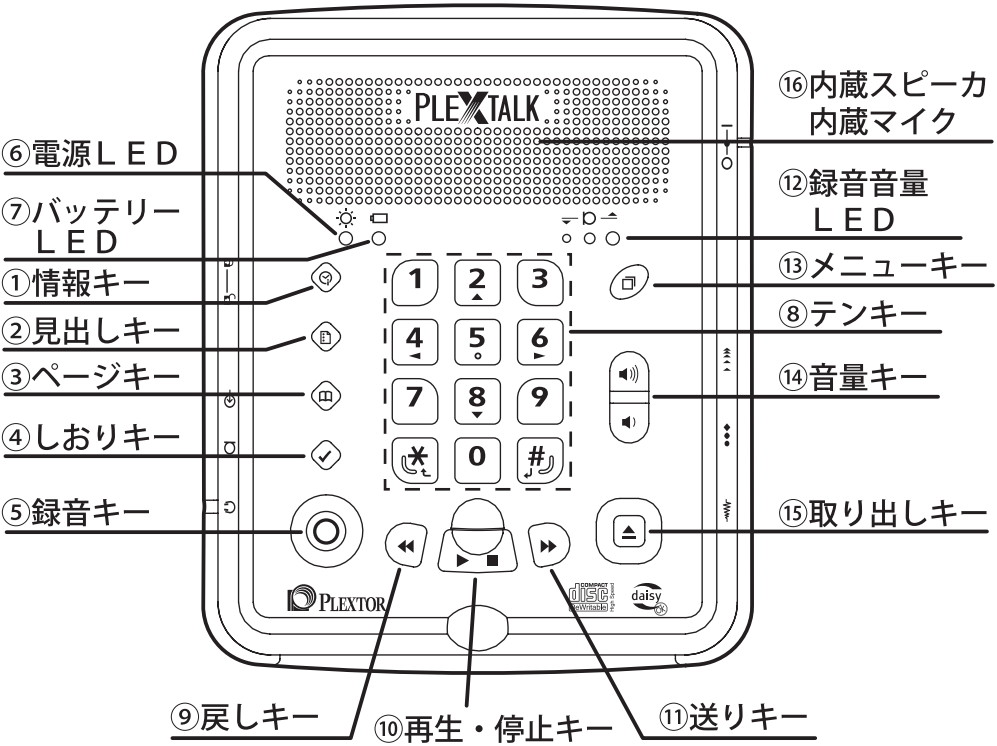
キーが配置されている面を上にして、ＣＤ挿入口を手前にして置いてください。

ＣＤ挿入口がある面を「正面」、キーが配置されている面を「上面」、左側を「左側面」、右側を「右側面」、正面の反対側を「背面」、上面の反対側を「底面」と呼びます。



上面

上面には、内蔵スピーカ、内蔵マイク、各種のキーがあります。



①情報キー

時間情報などを確認する時や、お休みタイマーの設定、日付の設定などに使います。

②見出しキー

見出しやタイトルの情報を確認するときや、見出しやタイトルへ移動するときなどに使います。

③ページキー

再生中のページ情報を確認するときや、ページへ移動するときなどに使います。

④しおりキー

しおりを付けたり、しおりへ移動するときなどに使います。
録音音量確認中と録音ポーズ中は、録音モニタのＯＮ、ＯＦＦの切り替えに使います。

⑤録音キー

録音するときに使います。キーが点灯しているときは録音中です。点滅しているときは音量確認状態または録音ポーズ状態です。

⑥電源ＬＥＤ（ランプ）

電源が入ると緑色に点灯します。

⑦バッテリーＬＥＤ（ランプ）

バッテリーの充電中は赤く点灯し、充電が完了すると緑色に点灯します。
バッテリーや電源アダプタが異常なときには、赤く点滅します。

⑧テンキー

テンキーは電話のプッシュボタンと同じ並びに配列されています。
テンキーは数字入力以外に、次のような時にも使います。
［２キー］、［８キー］、［４キー］、［６キー］は、移動やメニューの選択のときに「十字キー」としても使います。２・８・４・６がそれぞれ上下左右として機能します。
［５キー］は、メニュー選択中に押し続けると、メニューのヘルプを音声ガイドします。
［＊キー］は、「取り消しキー」として、入力したの数字の取り消しなどに使います。
［＃キー］は、「決定キー」として、入力した数字の決定などに使います。

⑨戻しキー

再生位置を戻すときに使います。

⑩再生・停止キー

再生するとき、停止するときに使います。

⑪送りキー

再生位置を進めるときに使います。

⑫録音音量ＬＥＤ（ランプ）

３つのＬＥＤで録音音量を表示します。また、再生中は音量に応じて点灯します。

⑬メニューキー

［メニューキー］を押すとメニューに入ります。もう一度［メニューキー］を押すと、メニューから抜けます。
メニュー選択の操作は、［４キー］または［６キー］で選択し、［８キー］または［＃キー］で決定します。操作を誤ったときや、前の状態に戻りたいときは［２キー］または［＊キー］を押します。
メニュー選択中［５キー］を押し続けることで、メニューのヘルプを音声ガイドします。

⑭音量キー

内蔵スピーカやヘッドホンの「音量」と「音声ガイド」の音量の調整をします。キーの上側を押すと大きくなり、キーの下側を押すと小さくなります。

⑮取り出しキー

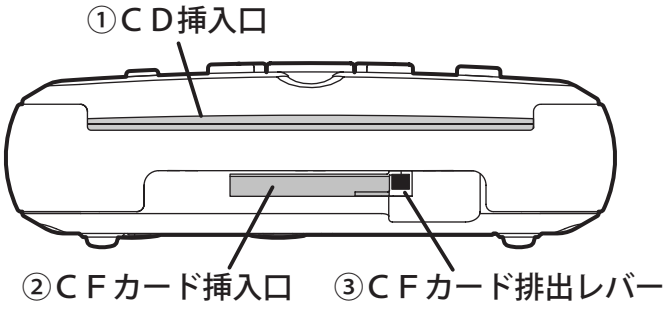
ＣＤを本体から取り出す時に使います。

⑯内蔵スピーカ、内蔵マイク

上面の奥側に内蔵スピーカ、内蔵マイクがあります。

正面

正面には、ＣＤ挿入口、ＣＦカード挿入口、ＣＦカード排出レバーがあります。



①ＣＤ挿入口

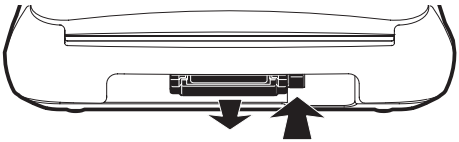
ＣＤ全体を差し込むと自動的に本機内部の所定の位置にセットされるスロットイン方式です。ＣＤの挿入は、ＤＡＩＳＹ図書ＣＤや音楽ＣＤを裸の状態で、記録面を下にして挿入します。正しくＣＤが読み込まれると「ＤＡＩＳＹ図書です」あるいは「音楽ＣＤです」とガイドがあります。ＣＤは中央の穴の外側から約１センチのところに円周上に凸がある面が裏側になります。凸より外側はデータを記録する場所になりますので、キズや指紋などが付着しないように取り扱いにご注意ください。

②ＣＦカード挿入口

「ＣＦ TypeⅠ」「ＣＦ TypeⅡ」のコンパクトフラッシュカードまたはマイクロドライブを挿入します。コンパクトフラッシュカードは、カードにわずかな凸の線がある１辺を手前の下向きにしてしっかりと奥まで挿し込みます。マイクロドライブは、凹凸がある面を上にして、凹凸のない平らな側面を手前にしてしっかりと奥まで挿し込みます。なお、本書ではコンパクトフラッシュカードとマイクロドライブを総称して「ＣＦカード」と呼びます。

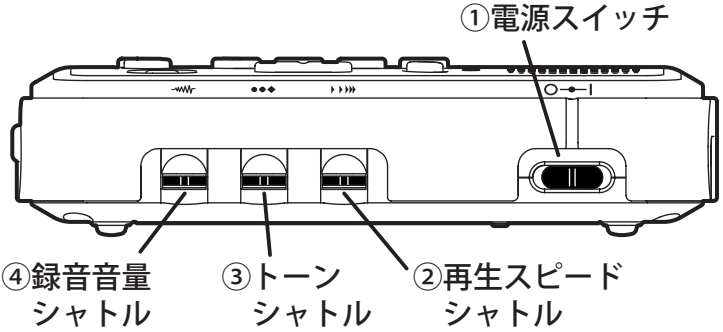
③ＣＦカード取り出しレバー

ＣＦカードを挿入すると、レバーの先端が挿入したＣＦカードの端と同じ位置まで出てきます。取り出すときは、一旦電源を切ってから、ＣＦカード取り出しレバーを本体側に押し込みます。ＣＦカードが少し出ますので、つまんで取り出してください。



右側面

右側面には、電源スイッチ、各種シャトルがあります。



①電源スイッチ

スイッチを奥側にスライドするとＯＮ、手前側にスライドするとＯＦＦになります。スライドした後、指を離すとスイッチは中央に戻ります。

②再生スピードシャトル

再生の「スピード」の調整をします。シャトルを奥側に倒すと早く、手前側に押すと遅くなります。指を離すと中央の位置に戻ります。倒し続けることで連続して調整ができます。本体側に押し込むと標準（等速）の再生スピードになります。

③トーンシャトル

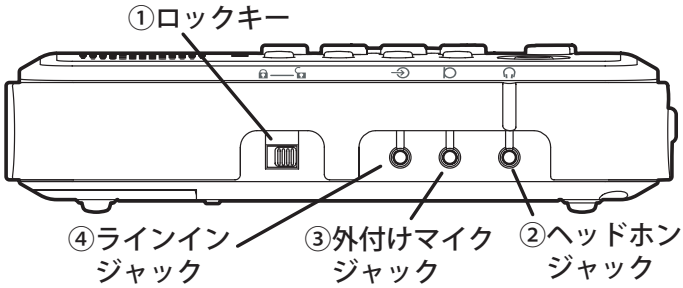
内蔵スピーカまたはヘッドホンの「トーン」（音質）の調整をします。
シャトルを奥側に倒すと高音域を強調し、手前側に倒すと低音域を強調します。指を離すと中央の位置に戻ります。押し続けることで連続して調整ができます。本体側に押し込むと標準のトーンになります。

④録音音量シャトル

録音音量の調整をします。シャトルを奥側に倒すと録音音量が大きくなり、手前側に倒すと録音音量が小さくなります。指を離すと中央の位置に戻ります。奥側または手前側に倒し続けることで連続して調整ができます。
本体側に押し込むと、自動音量調整のＯＮ、ＯＦＦの切り替えができます。

左側面

左側面には、［ロックキー］、各種ジャックがあります。



①ロックキー

本機を持ち運ぶ際にキーが、誤って押されても誤動作しないようにロックするときに使います。[ロックキー]を奥側にスライドすると「キーロックＯＮ」され、手前にスライドすると「キーロックＯＦＦ」します。
キーロックＯＮの状態で、キーやシャトルを押し続けると、そのキーやシャトルの名称とその機能を音声ガイドします。

⚠注意
●キーロックがＯＮのときは、電源スイッチを含め全てのキーがロックされます。

②ヘッドホンジャック

ヘッドホンの端子を挿入します。接続するとヘッドホンから「ヘッドホン」と音声ガイドします。ステレオ出力です。他の音響機器との接続にも使用できます。

③外付けマイクジャック

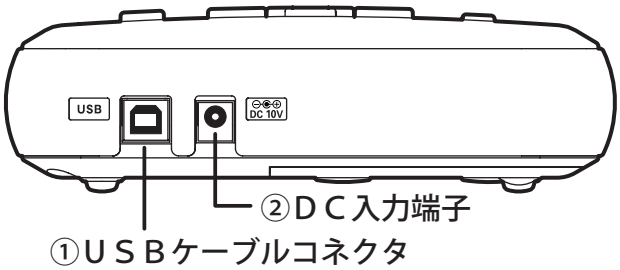
外付けマイクの端子を挿入します。接続すると「外付けマイク」と音声ガイドします。ステレオ入力です。

④ラインインジャック

付属の録音用接続ケーブルの端子を挿入します。接続すると「ラインイン」と音声でガイドします。ステレオ入力です。

背面

背面には、ＵＳＢケーブルコネクタとＤＣ入力端子があります。



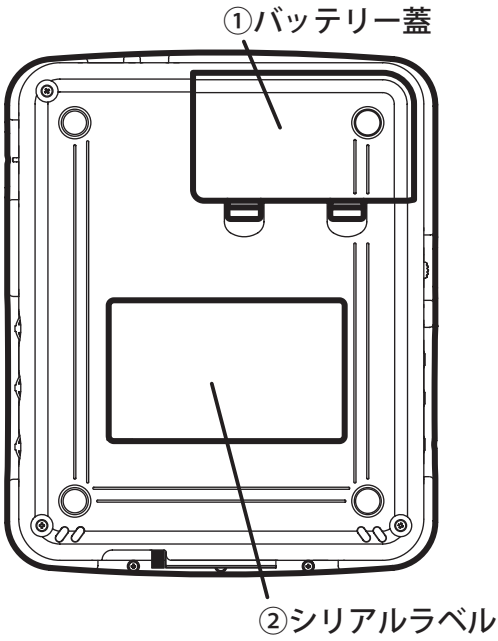
①ＵＳＢケーブルコネクタ

四角い穴がＵＳＢケーブルコネクタです。付属のＵＳＢケーブルの四角い側のコネクタを接続します。ＵＳＢケーブルの反対側をパソコンのＵＳＢコネクタに接続し、本機を「ＣＤドライブ」として使用するときに使います。「ＵＳＢ動作の切り替え」の設定をすることで「カードドライブ」として使用することもできます。

②ＤＣ入力端子

丸い穴です。付属の電源アダプタを接続します。

底面



①バッテリー蓋

ここに付属のバッテリーを入れます。蓋を本体から取り外すのためのツメが２個設けられています。バッテリーの装着や交換は、両手で２個のツメを押しながら外します。

②シリアルラベル

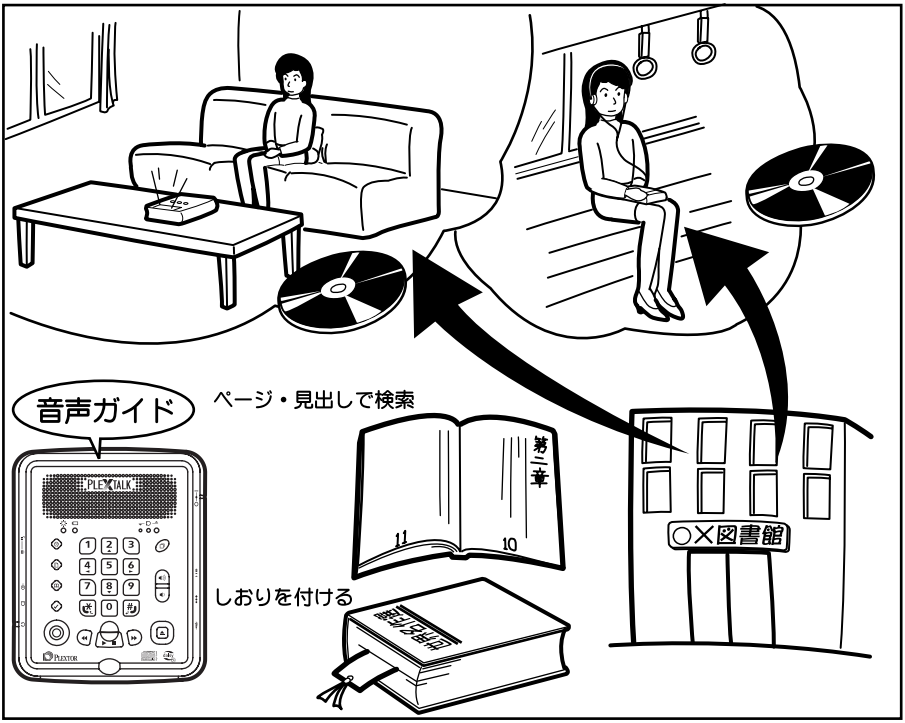
製造年月、シリアル（製造）番号などが記入されています。

1章4　プレクストークポータブルレコーダーでできること

「プレクストークポータブルレコーダー」を使って次のようなことができます。

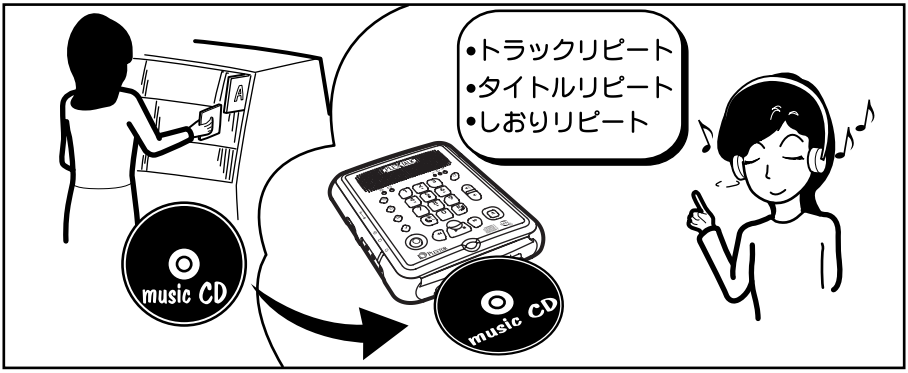
1）　ＤＡＩＳＹ図書を聞く　42ページ

ＣＤに記憶されたＤＡＩＳＹ形式の録音図書を再生します。長時間再生や、読みたい場所がすぐ探せるＣＤならではの優れた検索機能、自由な場所にしるしを付けられるしおり機能、聞き取りやすい音程での再生速度の変更機能、音声で動作を明確に知らせる音声ガイド機能などがあります。



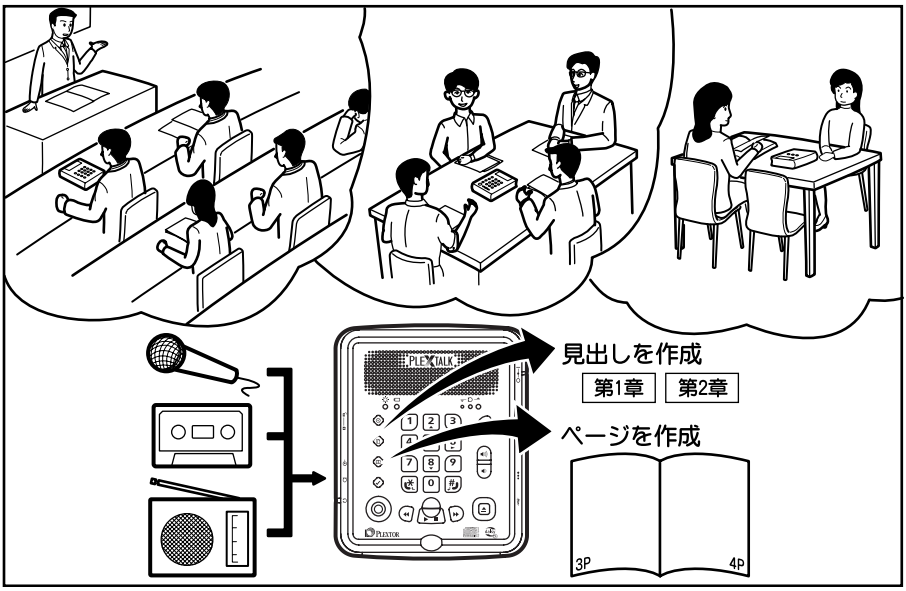
2)　音楽・音声ファイルＣＤを聞く　42 ページ

一般のＣＤショップで販売されている音楽ＣＤや、ＰＣなどで作成した音声ファイルＣＤを多彩な再生方法で楽しめます。



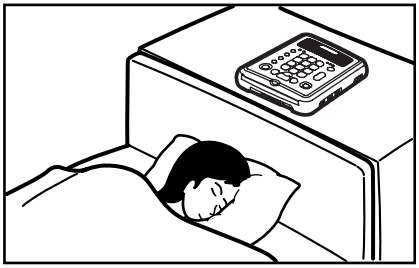
3)　録音する　52 ページ

テープやラジオからＣＤ－Ｒ／ＲＷやＣＦカードに、ＤＡＩＳＹ形式や音楽ＣＤ形式で録音できます。会議、講習会、授業など、さまざまなシーンでの録音ができます。

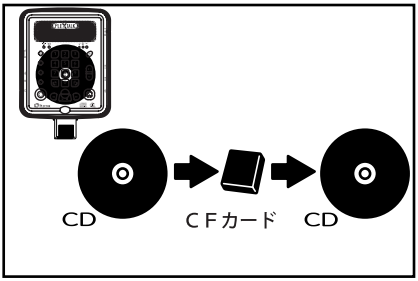


4） 便利な機能

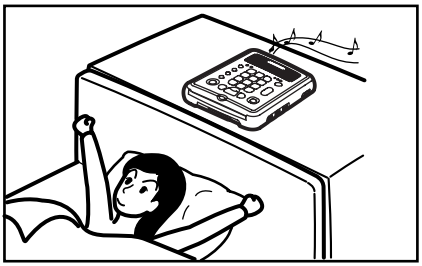
お休み前にＣＤを聞きたい時など、設定した時間で自動的に電源が切れます。 →62 ページ



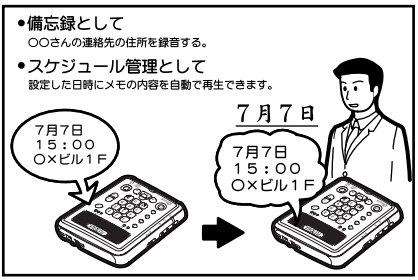
音楽ＣＤやＤＡＩＳＹ図書をバックアップできます。 →109 ページ



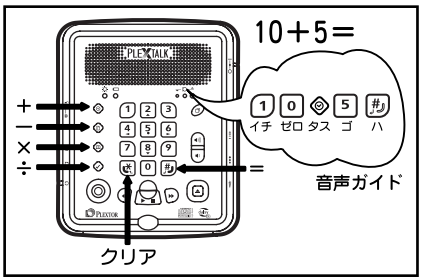
目覚まし時計の代わりに利用できます。 →115 ページ



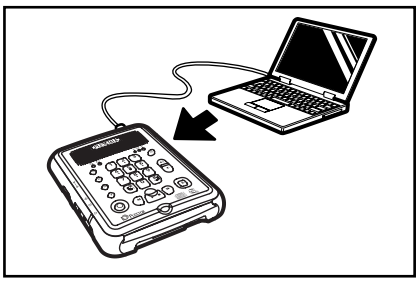
メモ録で当日あった出来事や、スケジュールを録音することができます。 →119 ページ



音声ガイドつきの計算機として利用できます。 →125 ページ

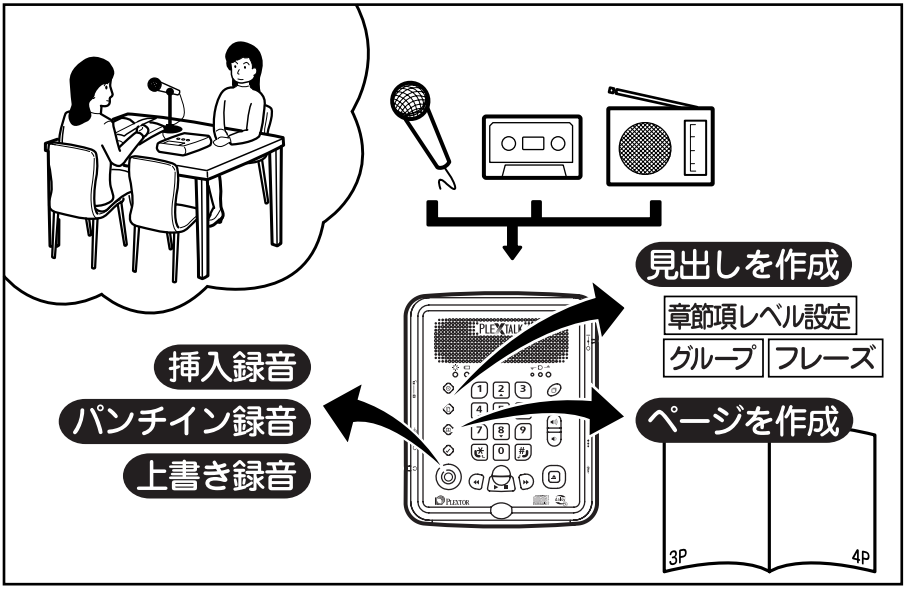


パソコンと接続してCD−R／RWドライブ、カードドライブとして利用できます。 →141 ページ



5） 図書制作モード　161 ページ

「図書制作モード」は、工場出荷時の「ノーマルモード」と違い、フレーズ単位で見出しやページ、グループを設定できます。また、見出しに章・節・項などのレベルを設定できます。
録音方法は、挿入録音・パンチイン録音・上書き録音ができます。



１章５　覚えて欲しいこと

本機は音声ガイドと短い音楽で、現在の状態を知らせてくれます。
ここでは、本機ならではの特徴的な操作方法について、主に情報キーを使用して説明します。

キー操作音について

手順
１．右側面奥側の［電源スイッチ］を手前から奥側にスライドさせます。
２．［情報キー］を押します。
「ピッ」という音がして「お休みタイマー設定時間を分単位で入力」と音声ガイドします。このガイドの前の「ピッ」という音は、その操作を受け付けたという音です。
また、ガイドの後に流れている「ピンポンピン」という音は本機が次の操作を待っている音ですので、何か操作をする必要があります。
３．［０キー］の左側の［＊キー］を押します。
「キャンセル」というガイドの後に「ピロリロン」という音があります。この音は停止状態に戻ったという音です。
４．［再生・停止キー］を押します。
「プルルン」という音がして「ＤＡＩＳＹ図書がありません」とガイドがあります。この音は、その操作が無効だったという音です。

クリック押しと長押し

軽く押す方法（クリック押し）と押し続ける（長押し）操作があります。
１．［情報キー］を軽く押します。「お休みタイマー」・・
２．［情報キー］を長押しします。「午後０時４１分・・」
このように同じ［情報キー］でも軽く押す操作と、押し続ける（長押し）の操作があります。
なお、長押し中のガイドはキーを押している間だけ聞くことができます。
［情報キー］以外の［見出しキー］、［ページキー］、［しおりキー］も同じように軽く押す操作と押し続ける操作があります。

情報・見出し・ページ・しおりキーについて

手順

１．［情報キー］を押します。

２．もう一度、［情報キー］を押してガイドを聞きます。

３．もう一度、［情報キー］を押します。これで停止状態に戻ります。

このように［情報キー］は、１回押すと「お休みタイマー」の設定、もう１回押すと「日付設定」、もう１回押すと戻ります。このように押した回数によって機能が変わりますので、音声ガイドを確認しながら操作を行うことができます。［情報キー］以外の［見出しキー］、［ページキー］、［しおりキー］も同じように押した回数によって機能が変わります。

［＃キー］について

手順

１．［情報キー］を押します。

２．［１キー］を押して次に［０キー］を押します。

３．［＃キー］を押します。

このように［＃キー］は入力した数字などを決定するときに使います。

［＊キー］について

手順

１．［情報キー］を押します。

２．［１キー］を押して次に［０キー］を押します。

３．［＊キー］を押します。

４．もう一度［＊キー］を押します。

このように［＊キー］を押すと１つ前の状態に戻っていきます。

２章　バッテリーについて

バッテリーの充電について

本機をご使用になる前には、必ずバッテリーを充電してください。
フル充電には約５時間かかります。充電しながら、使用することができます。
バッテリーの交換は、電源アダプタを本機から抜いてから行なってください。
はじめて電源を接続する時や、１ヶ月以上使用しなかったときは、内部の時計ＩＣ用のバッテリーの充電のため、電源アダプタを接続し電源ＯＮの状態で２４時間以上通電してください。通電中も使用することができます。

バッテリーの充電状態の確認方法

持ち運んでバッテリー動作で再生する場合など、事前に充電状態を確認します。

手順	音声ガイド
電源アダプタを接続しないで、電源を入れます。	「♪」 「ＣＤがありません」
［情報キー］を押し続けます。	「・・時・・分」 「・・月・・日」 「バッテリー」 「レベル・・」

♪ポイント

●バッテリーレベルを３段階で確認できます。
レベル３：満充電の状態です。
レベル２：充電が半分以上ある状態です。
レベル１：充電が半分以下の状態です。充電することをお薦めします。

⚠注意

●バッテリーなしで電源アダプタを接続しても動作しますが、録音中にコンセントが抜かれたり、停電などがあると録音が正常に終了せず、再生できないＣＤになる場合がありますので、録音中はバッテリーを入れておくことをお薦めします。

バッテリーでの再生、録音時間の目安

バッテリーでの動作時間は、ＤＡＩＳＹ図書ＣＤの再生で約６時間、録音で約２時間半です。
コンパクトフラッシュの場合は、再生・録音とも約８時間です。
マイクロドライブの場合は、再生・録音とも約７時間です。

⚠注意

●充電時間、使用時間は、周囲の温度や使用条件によって異なります。

♪ポイント

●バッテリーでの動作している時にバッテリーが終了した場合は、電源が切れる約１分前と約３０秒前に「バッテリーがなくなりましたアダプタを取り付けてください」と音声ガイドします。この間に電源アダプタを接続することで、続けてご使用いただけます。

バッテリーの保管方法について

バッテリーを長期間使用しない場合でも、性能を維持するために３ヶ月に１回程度、満充電にして本機で使いきり、約３０分～１時間充電し、本機から取り外して、湿度の低い涼しい場所で保管してください。

バッテリーの寿命とリサイクルについて

バッテリーは、消耗品です。使用回数を重ねたり、時間が経過するにつれバッテリーの容量は少しずつ低下します。使用できる時間が大幅に短くなった場合は、寿命です。新しいものと交換してください。寿命は、保管方法、使用状況や環境により異なります。

使用済みのバッテリーは端子（金属部分）にテープを貼るなどの処理をして、充電式電池リサイクル協力店にご持参して廃棄してください。

バッテリーの上手な使い方について

バッテリーは炎天下の車内のような気温の高い場所で使用すると早く劣化します。気温の高い場所での使用・充電・保管は避け、外気温が１０℃から３０℃の場所でご利用ください。
またバッテリーは、バッテリー駆動でお使いいただいた分だけ消耗していきますので、必要なとき以外はお使いにならない方が長持ちします。
常に本機にバッテリーを入れた状態で電源アダプタに接続してお使いいただいている場合でも、バッテリーの性能を維持するために１ヶ月に１回程度はバッテリーで動作させ、本機で使い切ってから、再充電を行うようにしてください。

自動電源ＯＦＦについて

バッテリーで動作している時、３０分間動作や操作をしなかった場合、自動的に電源が切れます。再生中、録音中は電源は切れません。
音声ガイドで「自動電源ＯＦＦ残り１分」、「自動電源ＯＦＦ残り１５秒」、「電源ＯＦＦ」と音声ガイドします。

３章　基本操作編：再生

この章では、主にＤＡＩＳＹ図書を再生する上で基本的な操作方法について説明します。

再生できるＣＤ

本機は次の３種類のＣＤが再生できます。
①ＤＡＩＳＹ図書
全国の点字図書館や公共図書館などから貸し出されているＣＤの録音図書です。

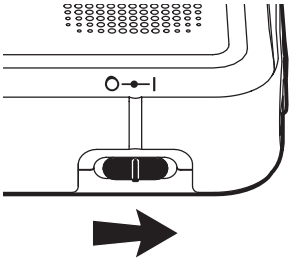
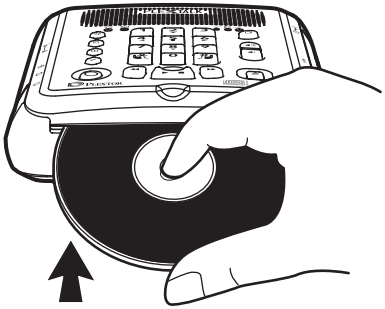
②音楽ＣＤ
一般のＣＤショップで販売されているＣＤです。

③音声ファイルＣＤ
パソコンなどを使用して作られる音声ファイルをＣＤに収録したものです。
詳しくは、「６章４　音声ファイルの再生」70 ページを参照してください。

⚠注意
次のようなＣＤは故障の原因となりますので使用しないでください。
●８ｃｍＣＤ（シングルＣＤ）は使用しないでください。アダプタを付けても使用できません。
●円形のＣＤのみに対応しています。名刺型などの異形のＣＤは使用しないでください。故障の原因になります。
●ラベルやシールを貼ったＣＤは、使用しないでください。「ＣＤの取り出しができない」「ＣＤの記録面に傷がつく」「再生、録音ができない」などの故障・不具合の原因になります。
●ＣＤは中央の穴の外側から約１ｃｍのところに円周上の凸がある面が裏側になります。凸より外側はデータを記録する場所になりますので、キズや指紋などが付かないように取り扱いにご注意ください。

付属の「取扱説明書ＤＡＩＳＹ版」を使用して説明します。

操作１：電源を入れ、ＣＤを挿入する

手順	音声ガイド
［電源スイッチ］を奥方向にスライドさせ、電源を入れます。 	「♪」 「ＣＤがありません」
ＣＤ挿入口にＣＤを入れます。  タイトル名が再生され停止します。	「ＣＤ」 「ＤＡＩＳＹ図書です」 「～タイトル名～」

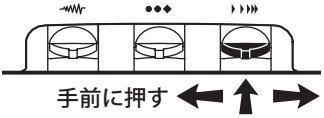
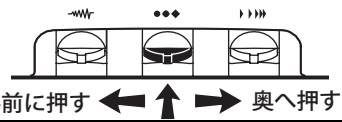
♪ポイント

●音楽ＣＤを挿入すると「音楽ＣＤです」とガイドがあります。音声ファイルＣＤを挿入すると「音声ファイルＣＤ」とガイドがあります。

操作２：再生・停止する

手順	音声ガイド
［再生・停止キー］を押し、再生します。	「♪」 「先頭です」 「～本文～」
再生中に、［再生・停止キー］を押し、停止します。	「♪♪」

操作３：音量、スピード、トーンの調整をする

手順	音声ガイド
［音量キー］の上側または下側を１回押すと、１段階づつ音量が大きくまたは小さくなります。 押し続けると連続して調整できます。	「音量・・」
［再生スピードシャトル］を奥側または手前側に倒すと、再生スピードが速くまたは遅くなります。押し続けると連続して調節できます。シャトルを本体側に押し込むと「標準」に戻ります。  	「スピード・・」
［トーンシャトル］を奥側または手前側に倒すと、高音または低音が強調されます。押し続けると連続して調節できます。シャトルを本体側に押し込むと「標準」に戻ります。  	「トーン・・」

♪ポイント

●再生中に［音量キー］を操作した場合は、音声ガイドはありません。

●音量は、０～２０まで１刻みで調整ができます。工場出荷時は「１０」です。音声ガイドの音量も合わせて調整されます。なお、音声ガイドのみを調整したい場合は、［情報キー］を押しながら［音量キー］の［アップキー］または［ダウンキー］を押すことで調整できます。

●再生スピードは、－2、-1、標準、+1、+2，+3，+4、+5、+6、+7、+8の１１段階で0.２５倍刻みで調整できます。-2が0.5倍速、+4が２倍速、+8が３倍速です。工場出荷時は「標準」です。

●音声ガイドも再生スピードと同様にスピードが変わります。

●トーンは、-6、-5、-4、-3、-2、-1、標準、+1、+2、+3、+4、+5、+6の１３段階で選択できます。数字を大きくすると、高音域が強調されます。数字を小さくすると、低音域が強調されます。トーンの工場出荷時は「標準」です。

操作４：送り、戻しをする

手順	音声ガイド
［送りキー］または［戻しキー］を短く押します。５秒先または５秒前に移動し再生が始まります。	「♪」「～本文～」
［送りキー］または［戻しキー］を押し続けます。手を離した所から再生が始まります。	「キュルキュルキュル・・」「～本文～」

♪ポイント

●押し続けた場合、４倍、８倍、１６倍と次第に速くなり、１６倍になると手を離してもそのまま１６倍で送り、または戻し続けます。聞きたい場所で［再生・停止キー］を押すことで再生が始まります。

●音楽ＣＤの場合

押し続けることで２倍、４倍と次第に速くなり、４倍になると手を離してもそのまま４倍で送り、または戻し続けます。聞きたい場所で［再生・停止キー］を押すことで再生が始まります。

操作５：ＣＤの情報を確認する

ＤＡＩＳＹ図書の場合

手順	音声ガイド
［見出しキー］を押し続けます。	「現在の見出し・・」 「見出し合計・・」 「著作権情報・・」 「～見出し～」
［ページキー］を押し続けます。	「現在のページ・・」 「ページ合計・・」
［しおりキー］を押し続けます。	「しおりがありません」
［再生・停止キー］を押し続けます。	「経過・・」 「残り・・」 「総時間・・」 「この音声が録音された日時・・」 「～タイトル名～」

♪ポイント
●マルチタイトル（１枚のＣＤに複数のタイトルが収録されている）の時には、「現在のタイトル」、「タイトル合計」を音声ガイドします。
●マルチボリューム（１つのタイトルが複数のＣＤで構成されている）の時には、「現在のディスク」「ディスク合計」を音声ガイドします。
●しおりがある場合は、「現在のしおり・・」「しおり合計・・」「音声しおり合計・・」を音声ガイドします。
●前付けページ、特殊ページがある場合は、これらのページ数も音声ガイドします。

音楽ＣＤの場合

手順	音声ガイド
［見出しキー］を押し続けます。	「現在のトラック・・」 「トラック合計・・」
［しおりキー］を押し続けます。	「しおりがありません」
［再生・停止キー］を押し続けます。	（「再生設定」） 「トラック情報」 「経過・・」「残り・・」「総時間・・」 「ＣＤ情報」 「経過・・」「残り・・」「総時間・・」

操作６：２キー・５キー・８キーについて

［５キー］で検索単位の確認、［２キー］、［８キー］で検索する単位の変更ができます。

手順	音声ガイド
［５キー］を押すと、現在の検索単位を確認できます。	「レベル１」
［８キー］を押して、検索単位を変更してみます。	「レベル２」 「グループ」 「ページ」 「時間」 「メディア　ＣＤを選択中」
［２キー］を押して、検索単位を変更してみます。	「時間」 「ページ」 「グループ」 「レベル２」 「レベル１」

操作７：４キー・６キーを使用して前後に移動

レベル１で章単位、レベル２で節単位の移動で、３章３に移動してみます。

手順	音声ガイド
［６キー］を押して、３章まで移動します。	・・・ 「３章」
［８キー］を押して、「レベル２」に検索単位を変えて、［６キー］を押して、「３章３」まで移動します。	「レベル２」 「３章２」 「３章３」
全ての見出しに移動する場合は、［２キー］または［８キー］を押して最下位のレベルを選択します。（現在聞いている取扱説明書の最下位はレベル２です）［４キー］または［６キー］を押して前後に移動します。	「レベル１」 「レベル２」

♪ポイント

●電源を入れた時はレベル１が選択されています。再生中、停止中に移動ができます。

●ＤＡＩＳＹ図書ＣＤの場合、主な検索単位は次の７種類です。

・「メディア」：ＣＤもしくはカードを選択できます。カードが選択されているとＣＤは再生できません。ＣＤを再生する場合は、「メディア」「ＣＤを選択中」になるように、［４キー］または［６キー］を押してください。

・「レベル１～レベル６」：見出しにはレベルが１～６までのいずれかが設定されています。本機では、設定されているレベルのみ選択できます。レベルは、１が章、２が節、３が項となります。

・「グループ」：グループが設定がされているときのみ選択できます。（工場出荷時）「グループのみ」に移動と「見出しとグループ」に移動の設定ができます。詳しくは「グループ移動方法の選択」137 ページを参照してください。

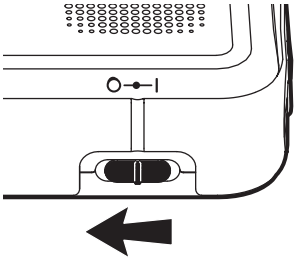
・「ページ」：ページが設定されているときのみ選択できます。
［４キー］で前のページ、［６キー］で次のページに移動します。

・「時間」：［４キー］または［６キー］を押すことで、今聞いている場所から１分前もしくは１分先に移動します。続けて５回押せば５分移動します。また、［４キー］または［６キー］を押し続けると１０分単位で移動することができます。

・「しおり」：しおりが付けられているときのみ選択できます。
［４キー］で前のしおり、［６キー］で次のしおりに移動します。詳しくは、「６章３　しおりをつけて移動　しおりメニュー」64 ページを参照してください。

・「タイトル」：マルチタイトル（１枚のＣＤにタイトルが複数収録されているＤＡＩＳＹ図書）の場合のみ選択できます。［４キー］で前のタイトル、［６キー］で次のタイトルに移動します。

操作８：ＣＤを取り出して、電源を切る

手順	音声ガイド
［取り出しキー］を押します。	「♪」 「取り出します」 「♪」
［電源スイッチ］を手前にスライドさせる 	「電源ＯＦＦ」 「♪」

♪ポイント

●過去に聞いた１０００タイトル分の図書の最後に停止した場所を自動的に憶えていますので、ＣＤを入れ替えても、電源をＯＮ，ＯＦＦしても前回停止した場所から再生します。

４章　基本操作編：録音

この章では、録音するうえで基本的な操作方法について説明します。
本機の録音はＣＤ－Ｒ／ＲＷもしくはＣＦカードへの録音ができます。［録音キー］を押したときに、「ＣＤに録音」または「カードに録音」と音声ガイドします。
また、工場出荷時は録音音量の設定が「自動音量調整ＯＮ」になっていますので、録音の音量調整をする必要はありませんが、音楽などを録音するときには適さない場合があります。その時は「自動音量調整ＯＦＦ」に設定し、手動で音量調整をすることもできます。

本機に予め挿入されているＣＦカードに内蔵マイクを使用して、録音する場合の操作方法についてご説明します。

操作１：電源を入れる

手順	音声ガイド
［電源スイッチ］を奥方向にスライドさせ、電源を入れます。	「♪♪」 「カード」 「ＤＡＩＳＹ図書がありません」 「録音キーで新規タイトル作成」

操作２：録音開始、停止

手順	音声ガイド
［録音キー］を押します。	「ＤＡＩＳＹ図書を作成しています」 「実行しました」 「録音キーで録音開始」 「カードに録音」 「音量確認」 「自動」
［録音キー］を押し、録音を開始します。 シナノケンシ株式会社の住所を録音してみます。 「郵便番号 386-0498　長野県上田市上丸子 1078」	「♪」 「郵便番号 386-0498　長野県上田市上丸子 1078」
［再生・停止キー］を押します。	「♪」

操作３：今、録音した内容を確認する

［再生・停止キー］を押すと、録音を開始した場所から再生が始まります。

手順	音声ガイド
［再生・停止キー］を押します。	「郵便番号 386-0498　長野県上田市上丸子 1078」 「最後です」

操作４：追加録音の開始、停止

手順	音声ガイド
［録音キー］を押します。	「カードに録音」 「音量確認」 「自動」
［録音キー］を押し、録音を開始します。 問い合わせ先の電話番号を録音してみます。 「プレクストーク問い合わせ窓口　電話　0570-064177」	「♪」 「プレクストーク問い合わせ窓口　電話　0570-064177」
［再生・停止キー］を押します。	「♪」

操作５：最初に録音した内容に移動する

ここで［再生・停止キー］を押すと、今、録音した内容を再生しますが、最初に録音した住所に移動したい場合は［４キー］を押すと移動できます。

手順	音声ガイド
［４キー］を押すと前の見出しに移動します。	「♪」 「～録音した内容～」

録音を開始するときに自動的に見出しを設定しますので、［４キー］を押すと前に録音した内容に移動できます。

その他の知っておくと便利な操作

録音を一時中断（ポーズ）、開始する

録音中に［録音キー］を押すと録音を一時中断します。

手順	音声ガイド
［録音キー］を押します。	「カードに録音」 「音量確認」 「自動」
［録音キー］を押し、録音を開始します。 メールアドレスを録音してみます。 「メールアドレス　plextalk@skcj.co.jp」	「♪」 「メールアドレス plextalk@skcj.co.jp」
［録音キー］を押します。 録音が一時中断します。	「ポーズ」
［録音キー］を押し、録音を再開します。 ホームページアドレスを録音してみます。 「ホームページ http://www.plextalk.com/」	「♪」 「ホームページ http://www.plextalk.com/」
［再生・停止キー］を押します。	「♪」

残りの録音可能時間の確認

残りどれ位録音できるか確認するときの操作方法を説明します。

手順	音声ガイド
［情報キー］を押し続けます。 録音可能時間が確認できたら、手を離します。	「・・時・・分・・月・・日 録音可能時間　・時間・分」 「・・」

♪ポイント

●選択されている音質によって録音できる時間は変わってきます。
詳しくは「7章　使いこなし編：録音」76 ページを参照してください。
●メディアの容量を確認するには、「9章6　メディア管理（メディア情報、CDファイナライズ、CD－RW内容全消去、カード内容全消去、CDの保存情報を検索、不要音声ファイル削除）のメディア情報」127 ページを参照してください。

自動音量調整の切り替え

録音音量は、通常「自動音量調整ON」の状態で使用しますが、音楽などを録音する場合は適さない場合があります。ここでは、「自動音量調整OFF」に切り替える操作を説明します。
なお、自動音量調整の切り替えは内蔵マイクでは、常に「自動音量調整ON」となりますので、ここでは、ラインインに付属の録音用接続ケーブルを接続して切り替えの操作を行います。

手順	音声ガイド
ラインインに付属の「録音用接続ケーブル」を接続します。	「入力　ラインイン」
［録音キー］を押し録音ポーズ状態で、［録音音量シャトル］を本体側に押し込みます。	「自動音量調整ON」
もう一度［録音音量シャトル］を本体側に押し込みます。	「自動音量調整OFF」
もう一度［録音音量シャトル］を本体側に押し込みます。	「自動音量調整ON」
［再生・停止キー］を押します。	「♪」

録音モニタの切り替え

録音モニタＯＮの場合は、テープやラジオの音声を録音するときなど、本機の内蔵スピーカで、その音声を聞くことができます。録音モニタＯＦＦの場合は、聞くことができません。

内蔵マイクまたは外付けマイクで録音する場合、内蔵スピーカでのモニタはハウリングの原因になりますので、自動的にＯＦＦになります。ヘッドホンが接続されている場合は、録音モニタＯＮであればヘッドホンでモニタできます。

手順	音声ガイド
ラインインに付属の録音用接続ケーブルを接続します。	「入力　ラインイン」
［録音キー］を押し、［しおりキー］を押します。	「カードに録音」 「音量確認」 「自動」 「録音モニタＯＦＦ」
もう一度［しおりキー］を押します。	「録音モニタＯＮ」
［再生・停止キー］を押します。	「♪」

録音開始の確認

録音ポーズの後に録音を再開してから、本当に録音が開始されているかが不安になった場合は、情報キーを長押しすることによって録音中かポーズ中かの確認ができます。ただし、ヘッドホンをしたり、または録音中の音声ガイドをＯＦＦにしないと、音声ガイドが録音されてしまう場合がありますので、注意してください。

５章　基本操作編：編集

この章では、基本的な編集機能の見出しやページの操作方法について説明します。これらの編集をすることで、より検索性に優れたＤＡＩＳＹ図書が作成できます。

５章１　録音中に編集する

録音中に、「ここは後から聞きなおしたい」という場所があった場合などに、［見出しキー］や［ページキー］を押すことで、録音中でも編集することができます。

操作１：見出しをつける

手順	音声ガイド
［録音キー］を押します。	「カードに録音」 「音量確認」「自動」
もう一度［録音キー］を押し、「あ行」を読みます。 ［見出しキー］を押します。 「か行」を読みます。 ［再生・停止キー］を押し、録音を停止します。	「♪」 「あいうえお」 「見出し○○」 「かきくけこ」 「♪」

操作２：付けた見出しに移動する

手順	音声ガイド
［再生・停止キー］を押します。録音を開始した場所から再生されます。	「あいう・・」
［６キー］を押し、次の見出しに移動します。	「かきく・・」

♪ポイント

●内蔵マイクを使用して録音すると、録音中の音声ガイド「見出し○○」なども録音されてしまいますが、ヘッドホンを接続するか、メニューの「録音設定」から「録音中の音声ガイド切り替え」で「なし」に設定することで、音声ガイドが録音されないようにすることができます。詳しくは、「録音中の音声ガイド切り替え」80 ページを参照してください。

●ページも見出しと同じように、録音中に［ページキー］を押すだけでページを設定することができます。

5章2　録音後に編集する

録音中の編集は、キーを押したタイミングで見出しやページの設定がされますので、若干意図したところと違った場所に設定されてしまう場合があります。録音後に編集すると、より正確な意図した場所に設定することができます。

操作1：見出しを設定する

手順	音声ガイド
［録音キー］を押します。	「カードに録音」 「音量確認」 「自動」
もう一度［録音キー］を押し、「さ行」「た行」を続けて読みます。 ［再生・停止キー］を押し、録音を停止します。	「♪」 「さしすせそ」 「たちつてと」 「♪」
［再生・停止キー］を押し、録音を開始したところから再生し、「た行」が再生されところで［再生・停止キー］を押して停止します。	「さしすせそ」 「た・・」

手順	音声ガイド
［見出しキー］を２回押します。 現在の位置から３秒間再生します。	「見出し○○を設定しますか？」 「４または６キーで位置を微調整できます」
設定位置を調整する場合は、［４キー］または［６キー］を押すことで前後に０．１秒ずつ移動します。 ［４キー］を数回押して「た」が再生される場所まで移動します。	「・ちつてと」 「たちつてと」
［＃キー］を押します。	「決定」 「見出し○○設定しました」
設定した見出しに移動してみます。 ［４キー］を押して「さ行」に移動します。 ［６キー］を押して「た行」に移動します。	「さしす・・」 「たちつ・・」

ページも見出しと同じように、［ページキー］を２回押して、設定位置を［４キー］または［６キー］で微調整して、［＃キー］を押すことでページを設定できます。

♪ポイント

●マルチタイトルに見出しを設定する場合は、見出しキーを３回押して設定します。

●見出しやページは停止中に限らず再生中でも設定することができます。

操作２：見出しを取り消す

「た行」に設定した見出しを取り消してみます。

手順	音声ガイド
［４キー］を押して「た行」に移動し、［再生・停止キー］を押して停止します。	「♪」「た・・」「♪」
［見出しキー］を３回押します。	「見出し○○を取り消しますか？」
［＃キー］を押します。	「決定」「見出し○○取り消しました」
［６キー］を押します。	「最後です」
［４キー］を押します。	「さしす・・」
［再生・停止キー］を押して停止します。	「♪」

ページも見出しと同じように、［ページキー］を３回押して、［＃キー］を押すことでページを取り消すことができます。

♪ポイント

●マルチタイトルの見出しを取り消す場合は、［見出しキー］を４回押します。

●見出し番号、ページ番号は、新たに設定、取り消しをすると自動的にタイトルの先頭から番号を振り直されます。

●連続した見出しをまとめて取り消したい場合は、セクション結合を使用すると便利です。操作方法は「セクション結合」100 ページを参照してください。

６章　使いこなし編：再生

この章では、再生に関する知っておくと便利な操作方法について説明します。

６章１　お休みタイマー

設定した時間で電源を自動的にＯＦＦにします。
お休み前にＣＤを聞きながら眠りたいときに設定しておくと便利です。

お休みタイマーの時間(分)を設定する

３０分に設定する場合の操作方法について説明します。

手順	音声ガイド
［情報キー］を押します。	「お休みタイマー」 「設定時間を分単位で入力」
［３キー］、［０キー］、［＃キー］を押します。	「３」「０」「決定」 「３０分　設定しました」

お休みタイマーをキャンセルする

設定したお休みタイマーをキャンセルする操作方法について説明します。

手順	音声ガイド
［情報キー］を押します。	「お休みタイマー」 「ＯＮ　残り・・分」 「設定時間を分単位で入力」 「０で中止」
［０キー］、［＃キー］を押します。	「０」「決定」 「キャンセルしました」

６章２　ダイレクトにページ、見出し、トラックに移動

ここでは、テンキーを使ってダイレクトにページや見出しに移動する操作方法について説明します。

ページに移動する

２０ページに移動する操作方法について説明します。

手順	音声ガイド
［ページキー］を押し、［２キー］［０キー］を押して［＃キー］を押します。	「移動先のページ番号を入力」「２」「０」「決定」「ページ２０」

見出しに移動する

５番目の見出しに移動する操作方法について説明します。

手順	音声ガイド
［見出しキー］を押し、［５キー］を押して［＃キー］を押します。	「移動先の見出し番号を入力」「５」「決定」「見出し５」

♪ポイント

●マルチタイトルの場合は、［見出しキー］を２回押し、見出し番号を入力して、［＃キー］を押すことで移動することができます。

●［見出しキー］を押し、［０キー］、［＃キー］を押すことで最後に、［見出しキー］を押し、［＃キー］を押すことで先頭に移動します。

●見出し番号は、ＤＡＩＳＹ図書の全ての見出しにタイトルの先頭から順に振った番号です。

●音楽ＣＤの場合は、［見出しキー］を押して、トラック番号を押し、［＃キー］を押すことで、トラックを指定して移動できます。

●音声ファイルの場合は、［見出しキー］を押して、ファイル番号を押し、［＃キー］を押すことで、ファイルを指定して移動できます。［見出しキー］を２回押し、アルバム番号を入力して、［＃キー］を押すことで、アルバム移動ができます。

６章３　しおりをつけて移動　しおりメニュー

ここでは、しおりを使った操作方法を説明します。
あとで読み返すことができるようにしおりを付けることができます。
しおりには、以下の３種類があります。

しおりの種類	説明
簡単しおり	簡単にしおりを付けることができます。 １つのタイトルに１つ付けることができます。
しおり	１～６５，０００までの番号で付けることができます。
音声しおり	しおりと一緒に音声を録音することができます。

⚠注意
●しおりの数は、全合計で最大１００００個記憶できます。これを超えた場合は、古いしおりから自動的に削除されます。
●しおりは本機内部のメモリに記憶しますので、本機以外では使用できません。

簡単しおりを付ける

手順	音声ガイド
［しおりキー］を２回押し、［＃キー］を押します。	「設定するしおり番号を入力」 「決定」 「簡単しおり」「設定しました」

⚠注意
●簡単しおりを新たに付けると、前に付けていた簡単しおりは上書きされます。

簡単しおりに移動する

手順	音声ガイド
［しおりキー］を押し、［＃キー］を押します。	「移動先のしおり番号を入力」 「決定」「簡単しおり」 「～本文～」

しおりを付ける

複数のしおりを付けたいときなど、番号を指定してしおりを付けることができます。しおり番号“１”を付ける場合の操作方法について説明します。

手順	音声ガイド
［しおりキー］を２回押します。	「設定するしおり番号を入力」
［１キー］を押し、［＃キー］を押します。	「１」 「決定」 「しおり１」「設定しました」

番号でしおりに移動する

しおり番号１に移動する場合の操作方法について説明します。

手順	音声ガイド
［しおりキー］を押します。	「移動先のしおり番号を入力」
［１キー］を押し、［＃キー］を押します。	「１」 「決定」「しおり１」 「～本文～」

前後のしおりに移動する

手順	音声ガイド
［2キー］または［8キー］で、「しおり」を選択します。	「しおり」
［4キー］または［6キー］で、前のしおり、次のしおりに移動します。移動した場所から再生します。	「しおり・・」 「～本文～」

♪ポイント
●しおりの番号の順番に移動します。先頭からの経過時間の順番ではありません。

音声しおりを付ける

しおりに声でメモを付けたいときに使います。「先生に質問」という声のメモを付けたしおり番号2を付ける場合の操作方法について説明します。

手順	音声ガイド
［しおりキー］を3回押します。	「設定する音声しおり番号を入力」
［2キー］を押し、［＃キー］を押します。	「2」「決定」 「録音キーを押している間録音されます」 「音量確認」「自動」
［録音キー］を押しながら、しおりの内容を録音します。「先生に質問」といいます。［録音キー］を離します。	「しおり2」 「設定しました」

⚠注意

●工場出荷時の音声しおりの合計録音時間は１０分です。設定を変えることで最大３０分にすることができます。詳しくは、「メモリ配分の選択」136 ページを参照してください。設定した時間を超えた場合は、古い音声しおりから自動的に消去されます。

●１つの音声しおりに連続録音できる最大時間は、「メモリ配分の選択」136 ページで音声しおり用に設定した時間です。なお、連続録音中に音声しおり用の空き容量がなくなり、別の音声しおりが存在する場合、最近利用されていない音声しおりから順に削除され、通常のしおりに置きかえられます。

しおりを削除する

しおりの２番を削除する場合の操作方法について説明します。

手順	音声ガイド
［しおりキー］を４回押します。	「削除するしおり番号を入力」
［２キー］を押し、［＃キー］を押します。	「２」「決定」「削除しました」「♪♪」

♪ポイント

●音声しおりも、削除したいしおり番号を入力して削除できます。

●簡単しおりは、０番で削除できます。

音声しおり再生設定

再生中に、音声しおりを「再生する」「再生しない」の切り替えができます。
工場出荷時の設定は、「再生する」です。

手順	音声ガイド
［メニューキー］を押し、［4キー］または［6キー］で「しおり」を選択し、［8キー］または［＃キー］を押します。	「メニューを選択」 「しおり」 「決定」 「音声しおり再生設定」
「音声しおり再生設定」が選択されているので、そのまま［8キー］または［＃キー］を押します。	「決定」「再生する」
［4キー］または［6キー］で「再生する」または「再生しない」を選択し、［8キー］または［＃キー］を押します。	「再生する」「再生しない」 「決定」 「設定しました」

選択中タイトルのしおりを削除

現在、聞いているタイトルにつけたしおりを、まとめて削除できます。

手順	音声ガイド
［メニューキー］を押し、［4キー］または［6キー］で「しおり」を選択し、［8キー］または［＃キー］を押します。	「メニューを選択」 「しおり」 「決定」
［4キー］または［6キー］で「選択中のタイトルのしおりを削除」を選択し、［8キー］または［＃キー］を押します。	「選択中タイトルのしおりを削除」 「決定」「削除しますか？」
［8キー］または［＃キー］を押します。	「決定」「削除しました」

全てのしおりを削除

今までに聞いた全てのタイトルにつけたしおりを、まとめて削除できます。

手順	音声ガイド
［メニューキー］を押し、［4キー］または［6キー］で「しおり」を選択し、［8キー］または［#キー］を押します。	「メニューを選択」 「しおり」 「決定」
［4キー］または［6キー］で「全てのしおりを削除」を選択し、［8キー］または［#キー］を押します。	「全てのしおりを削除」 「決定」「削除しますか？」
［8キー］または［#キー］を押します。	「決定」「削除しました」

6章4　音声ファイルの再生

MP3 や WAVE などの音声ファイルの記録されたＣＤまたはＣＦカードを再生することができます。

♪ポイント

●音声ファイルＣＤ・カードにも、録音図書と同様にしおりを付けることができます。詳しくは「6章3　しおりをつけて移動　しおりメニュー」64 ページを参照してください。

⚠注意

●音声ファイルＣＤ・カードは、録音・編集・バックアップを行うことができません。

●ＭＰ３などの音声ファイルは、必ず著作権法を遵守してご使用ください。著作権法に違反して使用した場合、損害賠償を含む刑罰の対象となります。

音声ファイルについて

パソコンや IC レコーダなどを使用して作成したファイルを音声ファイルと呼びます。本機で再生できる音声ファイルは以下のものです。

・MP3 ファイル
・WAVE ファイル
・Ogg Vorbis ファイル

ＭＰ３ファイル

MP3 とは MPEG Audio Layer３の略で、音声圧縮の規格の１つです。MP3 ファイルを保存したＣＦカードも同様に再生することができます。
なお本機は低サンプリング周波数のための独自規格であるＭＰＥＧ２．５には対応していません。

WAVE ファイル

WAVE ファイルとは、Windows 標準の音声ファイル形式です。
WAVE ファイルには、無圧縮である PCM（Pulse Code Modulation）以外のものも存在しますが、本機で再生できるのは PCM のみです。

Ogg Vorbis ファイル

Ogg Vorbis（オッグボービス）ファイルとは、ライセンスフリーの音声圧縮方式の１つです。対応ビットレートは 45kbps～320kbps です。詳しくは、http://www.vorbis.com/　を参照してください。

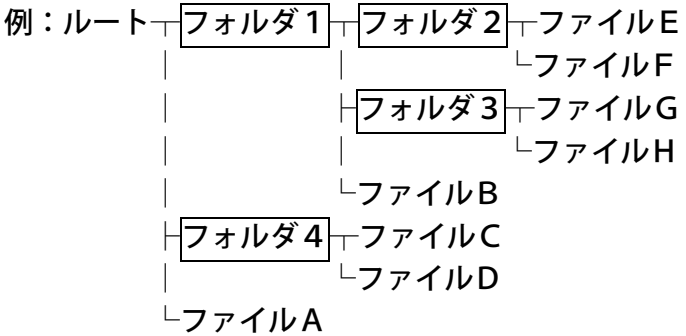
再生順序について

ファイルの再生順序

フォルダ内にプレイリストと呼ばれるテキスト形式のファイルが存在する場合には、その記述に従った順序で再生します。フォルダ内にプレイリストが存在しない場合は、ファイル名の順序に再生します。
ＭＰ３のプレイリストは、ファイルの拡張子名を″ｍ３ｕ″とし、音声ファイル名を再生したい順番に１行ずつ区切って記述します。

フォルダの再生順序

フォルダが複数存在する場合の音声ファイルの再生順序は以下の通りです。



この場合の再生順序は、ファイルＥ→Ｆ→Ｇ→Ｈ→Ｂ→Ｃ→Ｄ→Ａとなります。

制限事項について

ファイル数とフォルダ数

1 つのフォルダに含まれるファイルは 1022 個までです。それ以上のファイルは認識しません。
フォルダ１つが、アルバムとなります。ルートを含め 8 階層、254 個のフォルダまで認識します。それ以上のフォルダは認識しません。フォルダ数が多いと、音声ファイルＣＤ・カード情報の読み出しにかかる時間が長くなります。

CD への記録方式

音声ファイルをＣＤに記録する際には、別売りの専用ソフトウェアが必要です。
ＣＤ記録方式としては、ディスクアットワンス、トラックアットワンス、セッションアットワンスに対応しています。パケットライトの場合には、ファイナライズ処理を行った場合のみ対応しています。
ファイルシステムとしては、ISO9660 Level1, ISO9660 Level2, Joliet, Romeo（Windows）のいずれかを指定して作成してください。

６章５　再生設定

ここでは、特定の部分を繰り返し再生するなどの特別な再生方法を設定する操作方法について説明します。

ＤＡＩＳＹ図書では、次の６種類の再生設定ができます。

再生方法	概要・用途
通常再生	通常の再生を行うとき（工場出荷時の設定）
しおり区間リピート	前のしおりと次のしおりの区間を繰り返し聞くときに便利です。
セクションリピート	章、節など見出しが設定されている区間で繰り返し聞く時に便利です。
タイトルリピート	１つのタイトル（図書）を繰り返し聞く時に便利です。
オールタイトルリピート	全てのタイトル（図書）を繰り返し聞く時に便利です。
ランダムリピート	１つのタイトル内をランダムに繰り返し聞く時に便利です。

音楽ＣＤや音声ファイルでは、次の６種類の再生設定ができます。

再生方法	概要・用途
通常再生	通常の再生です。（工場出荷時の設定）
トラックリピート （音楽ＣＤ） ファイルリピート （音声ファイル）	選択されたトラック（ファイル）を繰り返し再生します。
アルバムリピート	アルバム内のトラックを繰り返し再生します。
オールアルバム リピート （音声ファイルのみ）	全てのアルバム内のファイルを再生し、繰り返します。
ランダムリピート	アルバム内のトラックをランダムに繰り返し再生します。
しおり区間リピート	前のしおりと次のしおりの区間を繰り返し聞くときに便利です。

再生設定を選択する

再生設定を「セクションリピート」に設定する場合の操作方法について説明します。

手順	音声ガイド
［メニューキー］を押し、［4キー］または［6キー］で「再生設定」を選択し、［8キー］または［#キー］を押します。	「メニューを選択」 「再生設定」 「決定」
［4キー］または［6キー］で「セクションリピート」を選択し、［8キー］または［#キー］を押します。	「セクションリピート」 「決定」 「設定しました」

７章　使いこなし編：録音

この章では、録音シーンに合わせて録音できる録音モードの説明や具体的な操作方法について説明します。

録音モードについて

データ用のＣＤ－Ｒ／ＲＷ、ＣＦカードの場合は、「標準」「音楽」「テープ」「ラジオ」「会議」「カスタム」から選択できます。それぞれの録音モードは音質を含めた６項目で構成されています。工場出荷時は「標準」の音質６４ｋモノラルが設定されています。

音質と録音時間について

選択した音質によって録音される音質だけでなく録音可能時間も変わります。良い音質ほど録音に必要なデータ量が多くなるため録音可能時間は短くなります。

メディアの種類 / 音質	CD-R/RW Type74 650MB	CD-R/RW Type80 700MB	CF カード 64MB	CF カード 128MB	CF カード 1GB
PCM ｽﾃﾚｵ (44.1kHz)	約 60 分	約 65 分	約 6 分	約 12 分	約 100 分
MP3 256k ｽﾃﾚｵ	約 5 時間	約 6 時間	約 30 分	約 1 時間	約 9 時間
MP3 128k ｽﾃﾚｵ	約 10 時間	約 11 時間	約 1 時間	約 2 時間	約 17 時間
MP3 64k ﾓﾉﾗﾙ	約 20 時間	約 22 時間	約 2 時間	約 4 時間	約 35 時間
MP3 32k ﾓﾉﾗﾙ	約 40 時間	約 45 時間	約 4 時間	約 8 時間	約 70 時間
MP3 16k ﾓﾉﾗﾙ	約 80 時間	約 90 時間	約 8 時間	約 16 時間	約 140 時間

録音モードの詳細項目

録音モードは６種類あります。カスタムモード以外のモードは、全て以下の設定値に固定されていますので、音質以外は変更することはできません。詳細項目を設定したい場合はカスタムモードを選択して設定を変更してください。

項目 / 録音モード	自動見出し設定	録音の自動停止時間	録音開始ﾀｲﾐﾝｸﾞ	入力音のﾉｲｽﾞ量*1	倍速録音設定
標準	しない	しない	録音キー操作時	標準(-28dB)	標準
音楽	２秒	１分	録音キー操作時	少ない(-40dB)	標準
テープ	４秒	１分	音声検知時	標準(-28dB)	標準
ラジオ	しない	１分	音声検知時	標準(-28dB)	標準
会議	しない	しない	録音キー操作時	多い(-20dB)	標準
カスタム	しない １秒 ２秒 ３秒 ４秒 ５秒	しない ３０秒 １分 ２分 ３分 ４分 ５分	録音キー操作時 音声検知時	少ない(-40dB)) 標準(-28dB) 多い(-20dB)	標準 倍速*2

＊１：内蔵マイクを使用して録音したときは全てのモードで入力音のノイズ量は「多い」に自動的に設定されます。

＊２：カスタムモードで音質をモノラルに選択したときには、倍速録音設定は、「標準」と「倍速」が選択できます。

それぞれの設定項目について説明します。

音質	次の６種類の音質から選択できます。 ＰＣＭステレオ、ＭＰ３　２５６ｋステレオ、ＭＰ３　１２８ｋステレオ、ＭＰ３　６４ｋモノラル、ＭＰ３　３２ｋモノラル、ＭＰ３　１６ｋモノラル
自動見出し設定	設定した秒数以上の無音が続いたときに自動的にセクションを分割します。「しない」「１秒」「２秒」「３秒」「４秒」「５秒」から選択できます。この機能を使用しないときは「しない」を設定します。
録音の自動停止時間	設定した時間以上の無音が続いた場合、録音を自動的に停止します。「しない」「３０秒」「１分」「２分」「３分」「４分」「５分」から選択できます。
録音開始タイミング	「音声検知時」または「録音キー操作時」から選択できます。「音声検知時」は［録音キー］を押しても、録音はすぐには開始されません。音声を検知したときに録音を開始します。「録音キー操作時」は［録音キー］を押した時点で録音が開始されます。
入力音のノイズ量	入力音のノイズの量を「標準」「少ない」「多い」から選択できます。入力音のノイズは、例えばテープから音を入力する場合のヒスノイズなどです。家庭で録音する場合は「標準」を、スタジオなどで録音する場合は「少ない」を選択してください。
倍速録音設定	音質が「ＭＰ３　６４ｋモノラル」「ＭＰ３　３２ｋモノラル」「ＭＰ３　１６ｋモノラル」の場合は、「標準」または「倍速」から選択できます。倍速再生できるテーププレーヤを接続して、倍速録音設定を「倍速」に設定することで、「標準」の場合に比べて約半分の時間で録音できます。

録音モードの選択

録音モードを「標準」から「テープ」に変更し、音質をＭＰ３　１２８ｋステレオに変更する場合の操作方法について説明します。

手順	音声ガイド
［メニューキー］を押し、［４キー］または［６キー］で「録音設定」を選択し、［８キー］または［＃キー］を押します。	「メニューを選択」 「録音設定」 「決定」 「録音モードの選択」
「録音モードの選択」が選択されているので、そのまま［８キー］または［＃キー］を押します。	「決定」
［４キー］または［６キー］で「テープ」を選択し、［８キー］または［＃キー］を押します。	「テープ」 「決定」 「音質を選択」
［４キー］または［６キー］で「ＭＰ３　１２８ｋステレオ」を選択し、［８キー］または［＃キー］を押します。	「決定」 「設定しました」

⚠注意

●プレクストーク TK-300/300B ではステレオの再生はできませんので、TK-300/300B で録音したＣＤを聞く場合はモノラルの音質に設定してください。

●ＣＦカードに実際に記録できるデータ容量は、カードに表示されているデータ容量よりも少ない場合があります。

録音中の音声ガイド切り替え

内蔵マイクから録音するときにキー操作時の音声ガイドが録音されないようにするときなどに設定します。工場出荷時の設定は、「ガイドあり」です。録音中の音声ガイドを「ガイドなし」にする場合の操作方法について説明します。

手順	音声ガイド
［メニューキー］を押し、［4キー］または［6キー］で「録音設定」を選択し、［8キー］または［#キー］を押します。	「メニューを選択」 「録音設定」 「決定」
［4キー］または［6キー］で「録音中の音声ガイド切り替え」を選択し、［8キー］または［#キー］を押します。	「録音中の音声ガイド切り替え」 「決定」
［4キー］または［6キー］で「ガイドなし」を選択し、［8キー］または［#キー］を押します。	「ガイドなし」 「決定」 「設定しました」

入力元の選択

録音状況に合わせて録音の入力元を「内蔵マイク」「外付けマイク」「ラインイン」から選択できます。「外付けマイク」「ラインイン」は、ケーブルが接続されているときに選択できます。

手順	音声ガイド
［メニューキー］を押し、［4キー］または［6キー］で「録音設定」を選択し、［8キー］または［#キー］を押します。	「メニューを選択」 「録音設定」 「決定」
［4キー］または［6キー］で「入力元の選択」を選択し、［8キー］または［#キー］を押します。	「入力元の選択」 「決定」
［4キー］または［6キー］で「内蔵マイク」または「外付けマイク」または「ラインイン」を選択し、［8キー］または［#キー］を押します。	「○○」 「決定」 「設定しました」

♪ポイント

●外付けマイクとラインインの両方に接続した場合は、最後に接続した入力が自動的に選択されます。

●外付けマイク、ラインイン、内蔵マイクは同時に使用することはできません。

録音シーンと推奨メディア

本機を机の上など安定した場所で録音する場合は、ＣＤ－Ｒ／ＲＷでもＣＦカードでも構いませんが、振動を伴うかばんの中や、安定しない場所で録音する場合は、コンパクトフラッシュカードをご利用ください。
また、バッテリー駆動で長時間録音する場合もコンパクトフラッシュカードの方が適しています。
本機は、ＣＦカードに録音した後バックアップ機能を使用することでＣＤに短時間でバックアップすることができます。「９章２　バックアップ」109ページを参照してください。

録音中に音量確認をＯＮまたはＯＦＦする

自動音量調整をＯＦＦにして録音した場合、録音中に録音音量が「良い」で録音されているか確認したいときに使用します。なお、録音ポーズ中でも使用できます。

録音中に音量確認をＯＮまたはＯＦＦする場合の操作方法について説明します。

手順	音声ガイド
録音中に［情報キー］を押します。	「音量確認ＯＮ」
もう一度［情報キー］を押します。	「音量確認ＯＦＦ」

⚠注意

●録音中の音声ガイドが「ガイドなし」に設定されている場合は、録音中の音量確認はできません。

7章1　テープからの録音

テープの内容を録音する場合は、録音モードを「テープ」に設定して録音すると便利です。
「テープ」の設定で録音すると、テープからの音声を検知してから録音が始まりますので、テープの先頭部分の無音が入りにくくなります。また、音声が 4 秒以上途切れると、自動的に見出しを設定し、1 分以上途切れると自動的に録音を停止します。
カセットプレーヤの音声を録音する場合の一連の操作方法について説明します。

手順	音声ガイド
カセットプレーヤのヘッドホンジャックに、付属の録音用ケーブルを接続します。 ケーブルの反対側の端子を本機のラインインジャックに接続します。	「入力」「ラインイン」
［メニューキー］を押し、［4キー］または［6キー］で「録音設定」を選択し、［8キー］または［＃キー］を押します。	「メニューを選択」 「録音設定」 「決定」 「録音モードの選択」
「録音モードの選択」が選択されているので、そのまま［8キー］または［＃キー］を押します。	「決定」
［4キー］または［6キー］で「テープ」を選択し、［8キー］または［＃キー］を押します。	「テープ」 「決定」 「音質を選択」
［4キー］または［6キー］で音質を選択し、［8キー］または［＃キー］を押します。	「～音質～」 「決定」 「設定しました」
［録音キー］を押します。	「カードに録音」 「音量調整」

手順	音声ガイド
［録音音量シャトル］を本体側に押し込み、自動音量調整のＯＮ／ＯＦＦを切り替えます。 録音する音が音声の場合は、「自動音量調整ＯＮ」に、音楽の場合は、「自動音量調整ＯＦＦ」にします。 「自動音量調整ＯＦＦ」にした場合は、録音音量シャトルを操作して音量が「小さい」「大きい」ではなく「良い」と音声ガイドされるように調整します。	［自動音量調整ＯＮ］ または ［自動音量調整ＯＦＦ］
［情報キー］を押し続けて録音の状態を確認します。	「音量確認、 録音可能時間○○、 ～録音モード～、 ～音質～、 入力○○」 「自動」
［録音キー］を押します。 カセットプレーヤを操作してテープを再生します。［しおりキー］を押して、録音モニタのＯＮまたはＯＦＦを切り替えます。	「♪」 ［録音モニタＯＦＦ］ または 「録音モニタＯＮ」
録音を終了するときは［再生・停止キー］を押します。なお、［再生・停止キー］を押さなくてもテープの再生が終了して１分以上の無音が続いた場合は自動的に録音を停止します。	「♪」

♪ポイント

●録音モードの設定や録音可能時間は、その都度、設定、確認する必要はありません。必要があるときに設定、確認してください。

7章2　ラジオ、テレビからの録音

ラジオやテレビを録音する場合は録音モードを「ラジオ」に設定して録音すると便利です。
「ラジオ」の設定で録音すると、録音は音声を検知してから始まりますので、録音の先頭に無音が入りにくくなります。
また、音声が１分以上途切れると自動的に録音を停止しますので、ラジオやテレビ側でＯＮ、ＯＦＦの予約をしておけば、ラジオやテレビがＯＮの間だけ録音をすることができます。
ラジオやテレビの音声を録音する一連の操作方法について説明します。

手順	音声ガイド
ラジオまたはテレビのヘッドホンジャックに、付属の録音用ケーブルを接続します。 ケーブルの反対側の端子を本機のラインインジャックに接続します。	「入力」「ラインイン」
［メニューキー］を押し、［４キー］または［６キー］で「録音設定」を選択し、［８キー］または［＃キー］を押します。	「メニューを選択」 「録音設定」 「決定」 「録音モードの選択」
「録音モードの選択」が選択されているので、そのまま［８キー］または［＃キー］を押します。	「決定」
［４キー］または［６キー］で「ラジオ」を選択し、［８キー］または［＃キー］を押します。	「ラジオ」 「決定」「音質を選択」
［４キー］または［６キー］で音質を選択し、［８キー］または［＃キー］を押します。	「～音質～」 「決定」 「設定しました」
［録音キー］を押します。	「カードに録音」 「音量確認」

手順	音声ガイド
［録音音量シャトル］を本体側に押し込み、自動音量調整のＯＮ／ＯＦＦを切り替えます。 録音する音が音声の場合は、「自動音量調整ＯＮ」に、音楽の場合は、「自動音量調整ＯＦＦ」にします。 「自動音量調整ＯＦＦ」にした場合は、録音音量シャトルを操作して音量が「小さい」「大きい」ではなく「良い」と音声ガイドされるように調整します。	［自動音量調整ＯＮ］ または ［自動音量調整ＯＦＦ］
［情報キー］を押し続けて、録音の状態を確認します。	「音量確認、 録音可能時間○○、 ～録音モード～、 ～音質～、 入力○○」 「自動」
ラジオまたは、テレビの放送中、録音を開始したいタイミングで［録音キー］を押します。	「♪」
［しおりキー］を押して、録音モニタのＯＮまたはＯＦＦを切り替えます。	「録音モニタＯＮ」 または 「録音モニタＯＦＦ」
録音を終了するときは、［再生・停止キー］を押します。なお、［再生・停止キー］を押さなくても１分以上ラジオまたはテレビからの音声が入力されない場合は、自動的に録音を停止します。	「♪」

7章3　授業や会議の録音

授業や会議を録音する場合は録音モードを「会議」に設定して録音すると便利です。「会議」の設定で録音すると、録音は［録音キー］を押すと直ぐに録音が開始されます。また、授業や会議中に音声のない状態が長時間続いても自動で録音を停止することはありません。
外付けマイクを使用して授業や会議の録音をする場合の一連の操作方法について説明します。

手順	音声ガイド
外付けマイク（別売）を用意し、本機のマイクジャックに接続します。	「入力　外付けマイク」
［メニューキー］を押し、［4キー］または［6キー］で「録音設定」を選択し、［8キー］または［＃キー］を押します。	「メニューを選択」 「録音設定」 「決定」 「録音モードの選択」
「録音モードの選択」が選択されているので、そのまま［8キー］または［＃キー］を押します。	「決定」
［4キー］または［6キー］で「会議」を選択し、［8キー］または［＃キー］を押します。	「会議」 「決定」 「音質を選択」
［4キー］または［6キー］で音質を選択し、［8キー］または［＃キー］を押します。	「～音質～」 「決定」 「設定しました」
［録音キー］を押します。	「カードに録音」 「音量確認」

手順	音声ガイド
［録音音量シャトル］を本体側に押し込み、自動音量調整のＯＮ／ＯＦＦを切り替えます。 録音する音が音声の場合は、「自動音量調整ＯＮ」に、音楽の場合は、「自動音量調整ＯＦＦ」にします。 「自動音量調整ＯＦＦ」にした場合は、録音音量シャトルを操作して音量が「小さい」「大きい」ではなく「良い」と音声ガイドされるように調整します。	［自動音量調整ＯＮ］ または ［自動音量調整ＯＦＦ］
［情報キー］を押し続けて、録音の状態を確認します。	「音量確認、 録音可能時間○○、 ～録音モード～、 ～音質～、 入力○○」 「自動」
会議が始まるタイミングで［録音キー］を押します。	「♪」
［しおりキー］を押して、録音モニタのＯＮまたはＯＦＦを切り替えます。	「録音モニタＯＦＦ」 または 「録音モニタＯＦＦ」
録音を終了するときは、［再生・停止キー］を押します。	「♪」

♪ポイント

●「自動」または「小さい」「良い」「大きい」という録音音量状態の音声ガイドは、録音中や録音ポーズ中、録音開始前の音量確認中の［情報キー］を押すことで、ＯＮまたはＯＦＦの切り替えができます。

⚠注意

●録音モニタの切り替えは、ハウリングを防止するためヘッドホンを接続したときのみ操作できます。

7章4　音楽の録音

音楽を録音する場合は、録音モードを「音楽」に設定して録音すると便利です。「音楽」の設定で録音すると、録音は［録音キー］を押すと直ぐに開始されます。曲と曲との間など無音が2秒続くと自動的に見出しを設定しますので、録音後にレベル1の移動で曲を移動できます。また、音が1分以上途切れると自動的に録音を停止します。なお、録音した音楽を一般のＣＤプレーヤで再生したい場合は、「7章5　音楽ＣＤ形式での録音」92ページを参照してください。

ラインインに接続してカセットプレーヤやＣＤプレーヤなどの音楽プレーヤで再生する音楽を録音する場合の一連の操作方法について説明します。

手順	音声ガイド
音楽プレーヤのヘッドホンジャックに、付属の録音用接続ケーブルを接続します。ケーブルの反対側の端子を本機のラインインジャックに接続します。自動的に録音の入力元が「ラインイン」に設定されます。	「入力　ラインイン」
ＣＤ挿入口に、新しいＣＤを入れます。	「ＣＤ」「♪」 「新しいＤＡＩＳＹ録音用ＣＤです」 「ＤＡＩＳＹ図書がありません」 「録音キーで新規タイトル作成」
［録音キー］を押します。	「ＤＡＩＳＹ図書を作成しています」「♪」 「実行しました」 「録音キーで録音開始」 「ＣＤに録音」 「音量確認」「自動」

手順	音声ガイド
［メニューキー］を押します。	「録音モードの選択」
「録音モードの選択」が選択されているので、そのまま［８キー］または［＃キー］を押します。	「決定」
［４キー］または［６キー］で「音楽」を選択し、［８キー］または［＃キー］を押します。	「音楽」 「決定」「音質を選択」
［４キー］または［６キー］で音質を選択し、［８キー］または［＃キー］を押します。	「～音質～」 「決定」「設定しました」
［録音音量シャトル］を本体側に押し込み、自動音量調整をＯＦＦにします。	「自動音量調整ＯＦＦ」
録音音量を調整するため、音楽プレーヤを再生します。［録音音量シャトル］を操作して音量が「小さい」「大きい」ではなく「良い」と音声ガイドされるように調整します。	「良い」
テープや音楽 CD を録音開始したい場所まで戻して再生し、同時に［録音キー］を押します。録音が開始されます。	「♪」 「～録音内容～」
録音を終了するときは、［再生・停止キー］を押します。なお、［再生・停止キー］を押さなくても１分以上音楽が途切れた場合は自動的に録音を停止します。	「♪」

⚠注意

●音楽プレーヤのラインアウトと本機のラインインを直接接続しないでください。入力レベルが大きすぎるため、音が歪む場合があります。音楽プレーヤの出力は、ヘッドホン出力端子をお使いください。

7章5　音楽ＣＤ形式での録音

音楽用のＣＤ－Ｒ／ＲＷを使用して音楽ＣＤ形式で録音した場合は、録音したＣＤを一般のＣＤプレーヤで再生することができます。
同様に、ＣＦカードに録音した音声を、音楽用ＣＤ－Ｒ／ＲＷに音楽ＣＤ形式でバックアップした場合も、バックアップしたＣＤを一般のＣＤプレーヤで再生することができます。詳しくは「9章2　バックアップ」109 ページを参照してください。

⚠注意

●音楽ＣＤ形式の場合、録音したものを後で編集することはできません。編集が必要な場合は、予めＣＦカードで録音・編集したものを音楽用ＣＤ－Ｒ／ＲＷに音楽ＣＤ形式でバックアップしてください。
●９９トラックまで録音できます。１００以上のトラックは録音できません。
●音楽用ＣＤ－Ｒ／ＲＷを挿入した状態では、自動的に音楽ＣＤ形式による録音に設定されます。編集メニューの「新規タイトル作成」（「8章3　タイトルの作成、削除」102 ページ参照）を行うことで、ＤＡＩＳＹ形式による録音をすることもできます。

録音モード

音楽用ＣＤ－Ｒ／ＲＷの場合の録音モードは、「標準音楽」「カスタム音楽」から選択できます。カスタム音楽を選択することで、詳細項目を設定できます。工場出荷時は「標準音楽」に設定されています。

項目 / 録音モード	トラックの自動作成	入力音のノイズ量*	録音の自動停止時間	倍速録音設定
標準音楽	２秒	少ない(-40dB)	１分	標準
カスタム音楽	しない １秒 ２秒 ３秒 ４秒 ５秒	少ない(-40dB) 標準(-28dB) 多い(-20dB)	しない ３０秒 １分 ２分 ３分 ４分 ５分	標準 倍速

＊：内蔵マイクを使用して録音したときは全てのモードで入力音のノイズ量は「多い」に自動的に設定されます。

録音時間

メディア	容量	録音時間
音楽用ＣＤ－Ｒ／ＲＷ	６５０ＭＢ（Ｔｙｐｅ７４）	約７４分
	７００ＭＢ（Ｔｙｐｅ８０）	約８０分

録音する

音楽プレーヤで再生する音楽を、音楽用ＣＤ－Ｒ／ＲＷに音楽ＣＤ形式で録音する場合の、一連の操作方法について説明します。
ここでは、入力元は「ラインイン」、録音モードは「標準音楽」として説明します。

手順	音声ガイド
音楽プレーヤのヘッドホンジャックに、付属の録音用接続ケーブルを接続します。ケーブルの反対側の端子を本機のラインインジャックに接続します。自動的に録音の入力元が「ラインイン」に設定されます。	「入力　ラインイン」
ＣＤ挿入口に、新しい音楽用ＣＤ－Ｒ／ＲＷを入れます。	「ＣＤ」「♪」 「音楽録音用ＣＤです」 「録音キーで録音開始」
［録音キー］を押します。	「♪」 「ＣＤに録音」 「音量確認」 「自動」
［メニューキー］を押します。	「録音モードの選択」
「録音モードの選択」が選択されているので、そのまま［８キー］または［＃キー］を押します。	「決定」
［４キー］または［６キー］で「標準音楽」を選択し、［８キー］または［＃キー］を押します。	「標準音楽」 「決定」
［録音音量シャトル］を本体側に押し込み、自動音量調整をＯＦＦにします。	「自動音量調整ＯＦＦ」

手順	音声ガイド
録音音量を調整するため、音楽プレーヤを再生します。［録音音量シャトル］を操作して音量が「小さい」「大きい」ではなく「良い」と音声ガイドされるように調整します。	「良い」
テープや音楽ＣＤを録音開始したい場所まで戻して、再生し、本機の［録音キー］を押します。録音が開始されます。	「〜録音内容〜」
録音を終了するときは［再生・停止キー］を押し停止します。	−
録音が終了したら、「ＣＤファイナライズ」を実行します。詳しくは、「ＣＤファイナライズ」127 ページを参照してください。	−

⚠注意

●音楽プレーヤのラインアウトと本機のラインインを直接接続しないでください。入力レベルが大きすぎるため、音が歪む場合があります。音楽プレーヤの出力は、ヘッドホン出力端子をお使いください。

●録音したＣＤ－ＲＷを本機以外で再生する時は、ＣＤ－ＲＷ対応したＣＤプレーヤを使用してください。ＣＤ－ＲＷに対応していないＣＤプレーヤでは再生できません。

８章　使いこなし編：編集

この章では、セクション単位での編集やタイトル作成の方法について説明します。ＤＡＩＳＹ図書では、「見出し」の付いた場所から次の「見出し」の直前までの範囲のことを「セクション」と定義します。

８章１　セクション編集

切り取り、コピー、貼り付けはセクション単位で行うことができます。
１セクションがどこからどこまでかを確認するには［５キー］を押して検索単位がレベル１であることを確認して、［４キー］または［６キー］を押して移動したところまでが１セクションになります。

セクション切り取り

セクション切り取りを行うことで、不要なセクション部分を再生しないようにすることができます。また、セクション切り取り後にセクション貼り付けを行うことで、録音した内容を移動することができます。
なお、誤ってセクション切り取りを行った場合は「直前編集取り消し」を行うことで元に戻すことができます。「直前編集取り消し」については次の「８章２　間違って操作した編集を元に戻す」101 ページで説明します。
セクション切り取りを行う場合の操作方法について説明します。

手順	音声ガイド
切り取りを行うセクションを再生中に、［再生・停止キー］を押して停止します。	―
［メニューキー］を押します。	「メニューを選択」「編集」
「編集」が選択されているので、そのまま［８キー］または［＃キー］を押します。	「決定」

［4キー］または［6キー］で「セクション切り取り」を選択し、［8キー］または［＃キー］を押します。	「セクション切り取り」 「決定」「先頭のセクションを選択」
［4キー］または［6キー］で、切り取りを行う先頭のセクションを選択し、［8キー］または［＃キー］を押します。 選択中のセクションの「見出し番号」とセクションの一部を再生します。	「見出し○○」 「決定」「最後のセクションを選択」
［4キー］または［6キー］で、切り取りを行う最後のセクションを選択し、［8キー］または［＃キー］を押します。	「見出し○○」 「決定」「セクション切り取りを実行しますか？」
［8キー］または［＃キー］を押します。	「決定」 「実行しました」

♪ポイント

●切り取る範囲を選択中に［再生・停止キー］を押すと、セクションの一部（先頭から１５秒）を再生します。

●切り取られたセクションの範囲内に、ページ、しおりが設定されていた場合、その設定も削除されます。見出し番号、ページ番号は、タイトルの先頭から振りなおされます。

●セクション切り取りを行っても録音可能時間は増えません。なお、ＣＦカードの場合は不要音声ファイルを削除することで録音可能時間が増えることがあります。詳しくは、「不要音声ファイル削除」132 ページを参照してください。

セクションコピー

セクションコピー後にセクション貼り付けを行うことで、同じ内容を複数の場所で再生されるようにすることができます。なお、誤ってセクションコピーを行った場合は直前編集取り消しを行うことで元に戻すことができます。セクションコピーを行う場合の操作方法について説明します。

手順	音声ガイド
コピーしたいセクションが再生中に［再生・停止キー］を押して停止します。	―
［メニューキー］を押します。	「メニューを選択」「編集」
［8キー］または［＃キー］を押します。	「決定」
［4キー］または［6キー］で「セクションコピー」を選択し、［8キー］または［＃キー］を押します。	「セクションコピー」 「決定」「先頭のセクションを選択」
［4キー］または［6キー］でコピーする先頭のセクションを選択し、［8キー］または［＃キー］を押します。 選択中のセクションの「見出し番号」とセクションの一部を再生します。	「見出し○○」 「決定」「最後のセクションを選択」
［4キー］または［6キー］でコピーする最後のセクションを選択し、［8キー］または［＃キー］を押します。	「見出し○○」 「決定」「セクションコピーを実行しますか？」
［8キー］または［＃キー］を押します。	「決定」 「実行しました」

♪ポイント

●切り取る範囲を選択中に［再生・停止キー］を押すと、セクションの一部（先頭から１５秒）を再生します。

●コピーしたセクションの範囲内に、見出しが設定されていた場合、その見出しもコピーされます。ページ、しおりはコピーされません。

セクション貼り付け

セクション切り取りやセクションコピーを行った後に、そのセクションを貼り付けることができます。なお、誤ってセクション貼り付けを行った場合は、直前編集取り消しを実行することで元に戻すことができます。
セクション貼付けを行う場合の操作方法について説明します。

手順	音声ガイド
貼り付けたい場所の直後のセクションを再生中に［再生・停止キー］を押して停止します。	－
［メニューキー］を押します。	「メニューを選択」「編集」
「編集」が選択されているので、そのまま［８キー］または［＃キー］を押します。	「決定」
［４キー］または［６キー］で「セクション貼り付け」を選択し、［８キー］または［＃キー］を押します。 選択中のセクションの「見出し番号」とセクションの一部を再生します。	「セクション貼り付け」「決定」「貼り付け位置を選択」
［４キー］または［６キー］で貼り付ける場所の直後のセクション選択し、［８キー］または［＃キー］を押します。	「見出し○○」「決定」「セクション貼り付けを実行しますか？」
［８キー］または［＃キー］を押します。	「決定」 「実行しました」

♪ポイント

●貼付け位置を選択中に［再生・停止キー］を押すと、セクションの一部（先頭から１５秒）を再生します。

●セクション切り取り、セクションコピーした範囲内に、見出しが設定されていた場合、その見出しも貼り付けられます。ページ、しおりは貼り付けられません。

セクション結合

連続した２つ以上の見出しが間違った場所に設定されたときなどにセクション結合を使用します。見出し設定取り消しを行うことでも、同じことができますが、連続した複数の見出しを取り消したいときには、セクション結合を使用すると便利です。なお、誤ってセクション結合を行った場合は、直前編集取り消しを実行することで元に戻すことができます。
セクション結合を行う場合の操作方法について説明します。

手順	音声ガイド
結合させたいセクションの先頭のセクションを再生中に［再生・停止キー］を押して停止します。	「♪」
［メニューキー］を押します。	「メニューを選択」「編集」
「編集」が選択されているので、そのまま［８キー］または［＃キー］を押します。	「決定」
［４キー］または［６キー］で「セクション結合」を選択し、［８キー］または［＃キー］を押します。 選択中のセクションの「見出し番号」とセクションの一部を再生します。	「セクション結合」 「決定」「先頭のセクションを選択」
［４キー］または［６キー］で結合する先頭のセクションを選択し、［８キー］または［＃キー］を押します。 選択中のセクションの「見出し番号」とセクションの一部を再生します。	「見出し○○」 「決定」「最後のセクションを選択」
［４キー］または［６キー］で、結合する最後のセクションを選択し、［８キー］または［＃キー］を押します。	「見出し○○」 「決定」「セクション結合を実行しますか？」
［８キー］または［＃キー］を押します。	「決定」 「実行しました」

♪ポイント
●セクション結合で先頭または最後のセクションを選択した時、先頭から１５秒までを再生します。このとき［再生・停止キー］を押すことで、もう一度、選択されているセクションの先頭から１５秒までを聞くことができます。

８章２　間違って操作した編集を元に戻す

直前に行った編集を取り消して、元に戻すことができます。
なお、電源を一度切ったり、メディア選択を切り替えると元に戻すことはできません。
元に戻せる編集方法は次の８つです。「セクション切り取り」「セクションコピー」「セクション貼り付け」「セクション結合」「見出し設定」「ページ設定」「見出し設定取り消し」「ページ設定取り消し」

手順	音声ガイド
［メニューキー］を押します。	「メニューを選択」「編集」
「編集」が選択されているので、そのまま［８キー］または［＃キー］を押します。	「決定」
［４キー］または［６キー］で「直前編集取り消し」を選択し、［８キー］または［＃キー］を押します。	「直前編集取り消し」 「決定」 「実行しますか？」
［８キー］または［＃キー］を押します。	「決定」 「実行しました」

⚠注意
●以下の編集は、取り消しができません。「取り消す編集がありません」と音声ガイドします。「編集準備」「新規タイトル作成」「タイトル削除」「録音中の見出し設定」「録音中のグループ設定」「録音中のページ設定」

８章３　タイトルの作成、削除

タイトルを作成すると、録音したものが整理され大変利用しやすくなります。例えば、１枚のＣＤに月刊誌を録音する場合に、１月号を１タイトル目に録音して、その後に新しくタイトルを作成して、２タイトル目に２月号を録音して整理することができます。

新規タイトル作成

データ用ＣＤ－Ｒ／ＲＷまたはＣＦカードでは、１枚のＣＤまたはＣＦカードに複数のタイトルを作成することができます。なお、誤って新規タイトル作成を行った場合は、「選択中タイトル削除」を行って、そのタイトルを削除できます。

新規タイトル作成を行う場合の操作方法について説明します。

手順	音声ガイド
［メニューキー］を押します。	「メニューを選択」「編集」
「編集」が選択されているので、そのまま［８キー］または［＃キー］を押します。	「決定」
［４キー］または［６キー］で「新規タイトル作成」を選択し、［８キー］または［＃キー］を押します。	「新規タイトル作成」 「決定」 「実行しますか？」
［８キー］または［＃キー］を押します。	「決定」 「ＤＡＩＳＹ図書を作成しています」 「実行しました」

♪ポイント

●新規タイトル作成を行った後も、それ以前に作成したタイトルに移動して続きを録音・編集・再生することができます。

選択中タイトル削除

選択中のタイトルを削除する場合の操作方法について説明します。

手順	音声ガイド
［2キー］または［8キー］を押して、「タイトル合計○　現在のタイトル○」を選択し、［4キー］または［6キー］で削除したいタイトルに移動します。	「タイトル合計○ 現在のタイトル○」 「タイトル○」
［メニューキー］を押します。	「メニューを選択」「編集」
「編集」が選択されているので、そのまま［8キー］または［＃キー］を押します。	「決定」
［4キー］または［6キー］で「選択中タイトル削除」を選択し、［8キー］または［＃キー］を押します。	「選択中タイトル削除」 「決定」 「実行しますか？」
［8キー］または［＃キー］を押します。	「決定」 「実行しました」

８章４　ＣＤファイナライズしたＣＤに録音、編集を行う

追記可能でＣＤファイナライズしたＣＤに追加で、録音・編集を行う場合は「編集準備」を行う必要があります。なお、追記禁止でＣＤファイナライズしたＣＤは「編集準備」を行うことはできません。
ＣＤファイナライズについては、「９章６　メディア管理（メディア情報、ＣＤファイナライズ、ＣＤ－ＲＷ内容全消去、カード内容全消去、ＣＤの保存情報を検索、不要音声ファイル削除）」127 ページを参照してください。

編集準備

編集準備を行う場合の操作方法について説明します。

手順	音声ガイド
［メニューキー］を押します。	「メニューを選択」「編集」
「編集」が選択されているので、そのまま［８キー］または［＃キー］を押します。	「決定」
［４キー］または［６キー］で「編集準備」を選択し、［８キー］または［＃キー］を押します。	「編集準備」 「決定」「編集準備を実行しますか？
［８キー］または［＃キー］を押します。	「決定」 「実行しました」

8章5　録音編集情報の保存

録音や編集の最新情報をＣＤ－Ｒ／ＲＷに保存します。大切なデータを編集しているときは、こまめに「録音編集情報の保存」を行うことをお薦めします。万一、エラーが発生して再生できない状況になった場合に「ＣＤの保存情報を検索」によって「録音編集情報の保存」をしたところまでは復旧できる可能性があります。

電源をＯＦＦする時、ＣＤを取り出す時にも自動的に「録音編集情報の保存」が実行されます。

録音編集情報の保存を行う場合の操作方法について説明します。

手順	音声ガイド
［メニューキー］を押します。	「メニューを選択」「編集」
「編集」が選択されているので、そのまま［8キー］または［＃キー］を押します。	「決定」
［4キー］または［6キー］で「録音編集情報の保存」を選択し、［8キー］または［＃キー］を押します。	「録音編集情報の保存」 「決定」 「実行しますか？」
［8キー］または［＃キー］を押します。	「決定」 「編集を保存しています」 「♪」

９章　便利な機能

ガイド音量を変える

音声ガイドの音量だけを調整するときの操作方法について説明します。

手順	音声ガイド
［情報キー］を押しながら、［音量キー］を押します。上側または下側を１回押すと、１段階づつガイド音量が大きくまたは小さくなります。	「ガイド音量・・」

♪ポイント

●０～２０まで１刻みで、音声ガイドの音量の調整ができます。音声ガイドの音量の工場出荷時は「１０」です。

キーロック

本機を持ち運ぶときなど、キーが不用意に押されて誤動作しないようにロックするときに使います。キーロックすると電源スイッチもロックされます。また、キーロックの状態で、キーやシャトルを押し続けると、キーの名称と説明を音声ガイドします。キーロックをした後に［情報キー］を押し続けて、キーの説明を聞く場合の操作方法について説明します。

手順	音声ガイド
［ロックキー］を奥側にスライドさせます。	「キーロック　キー説明ＯＮ」
［情報キー］を押し続けます。	「情報キー　お休みタイマー　時刻設定切り替え押し続けると時間情報」

♪ポイント

●キーロック中に電源をＯＮまたはＯＦＦすると「キーロック」とキーロック中であることを音声ガイドします。

９章１　日時の確認

設定されている日時を確認する

設定されている日時を確認する操作方法について説明します。

手順	音声ガイド
［情報キー］を押し続けます。	「・・時・・分」 「・・月・・日」 「ＡＣ電源」 「バッテリー　充電完了」
指を離します。	「♪」

♪ポイント
●指を途中で離すと音声ガイドは終了します

日時を設定する

２００５年７月７日午後３時１０分に設定する場合の操作方法について説明します。

手順	音声ガイド
［情報キー］を２回押します。	「日付設定」 「年を入力」 「２０・・年」
［２キー］、［０キー］、［０キー］、［５キー］と押し、［＃キー］を押します。	「２」「０」「０」「５」 「決定」 「月日を４桁で入力」

手順	音声ガイド
7月7日は、「0」「7」「0」「7」となります。はじめの「0」は省略できますので、［7キー］「0キー」「7キー」を押します。	「7」「0」「7」
［＃キー］を押します。	「決定」 「時刻を４桁で入力」 「送りキー・戻しキーで午前午後を選択」
［送りキー］または［戻しキー］を押して、「午後」を選択します。	「午後」
［3キー］、［1キー］、［0キー］と押します。	「3」「1」「0」
［＃キー］を押します。	「決定」 「２００５年7月7日午後3時１０分」 「設定しました」

♪ポイント

●入力を間違えた場合や日付設定を途中で止める場合は、［＊キー］でクリアやキャンセルができます。

●「月日を４桁で入力」の際、1月（０１）～9月（０９）では、始めの「0」は省略して入力できます。

●午前、午後の設定は、「戻しキー」「送りキー」で切り替えできます。

●「午前・午後」の時間の入力は、0:00 から 11:59 となります。

●年、月日など音声ガイドの内容が合っていれば、テンキーでの入力は必要ありません。［＃キー］を押して、決定してください。

●時刻ガイドは、「午前・午後」と「24 時間」の切り替えができます。工場出荷時は「午前・午後」です。設定方法は、「時刻ガイドの切り替え」136 ページを参照してください。

9章2　バックアップ

本機では、ＣＦカードを使用することでＤＡＩＳＹ図書と音楽ＣＤをバックアップすることができます。

⚠注意

●本装置は著作権法で許された範囲のコピー（私的使用のための複製、あるいは、著作権法３７条３項に定められた視覚障害者のための用途）のみを目的として使用するものです。違法コピーは民事上または、刑事上の制裁を受ける場合があります。

●音楽ＣＤのコピーは個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。音楽用ＣＤ－Ｒ／ＲＷには、MD などと同様に音楽著作権保護を目的に、私的録音に対する補償金の加算と、データ用ＣＤ－Ｒ／ＲＷと識別するための特殊なコードが入っています。本機は、識別コードを確認して、音楽用ＣＤ－Ｒ／ＲＷのみに記録が可能な仕組みになっています。音楽用ＣＤ－Ｒ／ＲＷは数社から販売されています。なお、購入の際には、音楽用のＣＤ－Ｒ／ＲＷなのかデータ用のＣＤ－Ｒ／ＲＷなのかを確認する必要があります。

本機では、音楽ＣＤとＤＡＩＳＹ図書ＣＤを、ＣＦカードを使用することでバックアップすることができます。

ＣＤ	→ＣＦカード
ＤＡＩＳＹ形式（タイトル）	ＤＡＩＳＹ形式
音楽ＣＤ形式（アルバムまたは、トラック）	

ＣＦカードにラインインや外付けマイクから録音したものを、ＣＤ－Ｒ／ＲＷへのバックアップができます。

ＣＦカード	→ＣＤ－Ｒ／ＲＷ
ＤＡＩＳＹ形式	音楽ＣＤ形式
	ＤＡＩＳＹ形式

⚠注意

●ＤＡＩＳＹ形式のＣＤをＣＦカードにバックアップしたあとに、そのタイトルを音楽ＣＤ形式でバックアップすることはできません。

ＤＡＩＳＹ図書ＣＤからＣＦカード、ＣＦカードからＤＡＩＳＹ図書ＣＤにバックアップする時間

容量	バックアップの方法	所要時間
約６００ＭＢ 見出し数１００の場合	ＤＡＩＳＹ図書ＣＤ→ＣＦカード	約２５分
	ＣＦカード→ＤＡＩＳＹ図書ＣＤ	約３０分

音楽ＣＤからＣＦカードにバックアップする時間

ＤＡＩＳＹ図書の見出し数、音楽ＣＤのトラック数や、使用するＣＤやＣＦカードの種類によってバックアップに要する時間は変動します。

容量	バックアップの方法	所要時間
約７０分 トラック数１６の場合	音楽ＣＤ→ＣＦカード　ＰＣＭステレオ	約３５分
	音楽ＣＤ→ＣＦカード　ＭＰ３　２５６ｋ	約８０分
	音楽ＣＤ→ＣＦカード　ＭＰ３　１２８ｋ	約７０分

ＣＦカードから音楽ＣＤにバックアップする時間

容量	バックアップの方法	所要時間
約７０分 トラック数１６の場合	ＣＦカード　ＰＣＭステレオ→音楽ＣＤ	約２０分
	ＣＦカード　ＭＰ３　２５６ｋ→音楽ＣＤ	約３０分
	ＣＦカード　ＭＰ３　１２８ｋ→音楽ＣＤ	約３０分

ＣＦカードからＣＤ－Ｒ／ＲＷにＤＡＩＳＹ形式でバックアップする場合の１タイトルの最大使用容量

ＣＦカード １タイトルの最大使用容量	ＣＤ－Ｒ／ＲＷ
６６８ＭＢ	７００ＭＢ　type80
６１８ＭＢ	６５０ＭＢ　type74

⚠注意

●ＣＤ－Ｒ／ＲＷに音楽ＣＤ形式でバックアップする場合は、音楽用ＣＤ－Ｒ／ＲＷを使用してください。

●ＣＤからバックアップしたＣＦカードのＤＡＩＳＹ図書は、別のＣＤ－Ｒ／ＲＷへバックアップする際には編集情報が付加されるため、バックアップに使用するＣＤ－Ｒ／ＲＷには元のＣＤのデータ容量より大きな空き容量が必要になります。バックアップの際に容量が不足する場合は必要な空き容量を音声ガイドしますので、十分な空き容量のあるＣＤ－Ｒ／ＲＷを使用してください。

●７００MB を超える場合はＣＦカードから１枚のＣＤ－Ｒ／ＲＷへのバックアップができません。

●ＤＡＩＳＹ図書の見出し数、音楽ＣＤのトラック数や、使用するＣＤやＣＦカードの種類によってバックアップに要する時間は変わります。

●バッテリー駆動でのバックアップは、バックアップ中にバッテリーがなくなる場合があります。この場合はバックアップが本機によって自動的にキャンセルされ、不完全なデータがバックアップ先のメディアに作成されてしまいます。電源アダプタを接続してご使用いただくことをお薦めします。

♪ポイント

●ＤＡＩＳＹ形式から音楽ＣＤ形式へのバックアップは、１セクションが１トラックになります。

●バックアップ先の容量が足りない場合は、バックアップを開始する際に必要な容量を音声ガイドします。

●現在のタイトルの使用容量および空き容量は、「メディア情報」で確認できます。「このタイトルの使用容量」「空き容量」の順に音声ガイドします。詳しくは、「９章６　メディア管理（メディア情報、ＣＤファイナライズ、ＣＤ－ＲＷ内容全消去、カード内容全消去、ＣＤの保存情報を検索、不要音声ファイル削除）」127 ページを参照してください。

●現在のタイトルの「経過時間、残り時間、総時間、タイムスタンプ」などの情報は、録音中以外のときに［再生・停止キー］を押し続けることで音声ガイドされます。

ＤＡＩＳＹ図書ＣＤ→ＣＦカードの場合

選択中のＤＡＩＳＹ図書ＣＤのタイトルをバックアップする操作方法について説明します。

手順	音声ガイド
バックアップ先のＣＦカードを入れます。	「カード」 「ＤＡＩＳＹ図書がありません　録音キーで新規タイトル作成」
バックアップ元のＤＡＩＳＹ図書ＣＤを入れます。	「ＣＤ」 「ＤＡＳＩＹ図書です」 「～タイトル～」
［メニューキー］を押し、［４キー］または［６キー］で「バックアップ」を選択し、［８キー］または［＃キー］を押します。	「メニューを選択」 「バックアップ」 「決定」「ＣＤからカードに選択中タイトルをバックアップしますか？」
［８キー］または［＃キー］を押します。	「決定」「♪♪♪」 「実行しました」

♪ポイント

●バックアップ元がＤＡＩＳＹ図書でマルチタイトルの場合、１度に複数のタイトルをバックアップすることはできません。１タイトルずつバックアップしてください。

●バックアップをするとカードには新しいタイトルが自動的に作成され、そのタイトルがバックアップしたタイトルになります。

音楽ＣＤ→ＣＦカードの場合

音楽ＣＤからカードにバックアップする場合、「選択中アルバムをバックアップ」と「選択中トラックをバックアップ」から選択できます。
「選択中アルバムをバックアップ」を行う場合の操作方法について説明します。

手順	音声ガイド
バックアップ先のＣＦカードを入れます。	「カード」
バックアップ元の音楽ＣＤを入れます。	「ＣＤ」
［メニューキー］を押し、［４キー］または［６キー］で「バックアップ」を選択し、［８キー］または［＃キー］を押します。	「メニューを選択」 「バックアップ」 「決定」
［４キー］または［６キー］で「選択中アルバムをバックアップ」を選択し、［８キー］または［＃キー］を押します。	「選択中アルバムをバックアップ」 「決定」「音質を選択」
［４キー］または［６キー］で音質を選択し、［８キー］または［＃キー］を押します。	「PCM ｽﾃﾚｵ」「MP3　256k ｽﾃﾚｵ」「MP3 128k ｽﾃﾚｵ」 「決定」「選択中アルバムをバックアップしますか？」
［８キー］または［＃キー］を押します。	「決定」「♪♪」 「実行しました」

♪ポイント

●選択中トラックをバックアップするには、バックアップする前に事前にバックアップしたいトラックに移動しておきます。

●ＣＦカードに既にタイトルがある場合に、選択中トラックをバックアップを選択すると、既存のタイトルにバックアップするか、新しいタイトルにバックアップするかを選択できます。

ＣＦカード→ＣＤの場合

カードからＣＤへのバックアップは、「ＤＡＩＳＹ形式」と「音楽ＣＤ形式」が選択できます。「ＤＡＩＳＹ形式」でバックアップを行う場合の操作方法について説明します。

手順	音声ガイド
バックアップ先の新しいＣＤ－Ｒ／ＲＷを入れます。	「ＣＤ」「新しいＤＡＩＳＹ録音用ＣＤです」
バックアップ元のＣＦカードを入れます。	「カード」「ＤＡＩＳＹ図書です」
［メニューキー］を押し、［４キー］または［６キー］で「バックアップ」を選択し、［８キー］または［＃キー］を押します。	「メニューを選択」「バックアップ」「決定」「カードからＣＤにバックアップするＣＤの形式を選択」
［４キー］または［６キー］で「ＤＡＩＳＹ形式」を選択し、［８キー］または［＃キー］を押します。	「ＤＡＩＳＹ形式」「決定」「選択中タイトルをバックアップしますか？」
［８キー］または［＃キー］を押します。	「決定」「♪♪」「実行しました」

⚠注意

●バックアップしたＣＤを本機以外のＤＡＩＳＹ図書再生機や再生用アプリケーションソフトで再生する場合は、ＣＤファイナライズを行ってください。詳しくは、「ＣＤファイナライズ」127 ページを参照してください。

●バックアップができないＣＤが挿入されている場合は、バックアップを開始するときに「このＣＤは録音・編集できません」と音声ガイドがあります。

⚠注意

●ＤＡＩＳＹ形式のＣＤをＣＦカードにバックアップしたあとに、そのタイトルを音楽ＣＤ形式でバックアップすることはできません。また、音楽ＣＤをＣＦカードにバックアップしたあとに、音楽ＣＤ形式でＣＤにバックアップすると、カードの内容は消去されます。

9章3　ONタイマー

ONタイマーは、毎日設定した時刻に電源がONになり、再生が開始します。目覚まし時計の代わりなど、２つのONタイマーを設定して利用できます。

ONタイマーを設定する

「ONタイマー１を午前６：３０」に設定する場合の操作方法について説明します。

手順	音声ガイド
［メニューキー］を押し、［４キー］または［６キー］で「ONタイマー」を選択し、［８キー］または［＃キー］を押します。	「メニューを選択」 「ONタイマー」 「決定」
［４キー］または［６キー］で「ONタイマー１」を選択し、［８キー］または［＃キー］を押します。	「ONタイマー１」「設定なし」 「決定」「時刻を４桁で入力」「送りキー・戻しキーで午前午後を変更」
［送りキー］または［戻しキー］を押し、「午前」を選択します。	「午前」
［６キー］、［３キー］、［０キー］を押し、［＃キー］を押します。	「６」「３」「０」 「決定」「♪」「設定しました」「ONタイマー１　午前６時３０分　設定ON」

⚠注意

●キーロックされていると、ＯＮタイマーの設定時刻に電源ＯＮになりますが、すぐに自動的に電源が切れてしまいます。

♪ポイント

●「午前・午後」「２４時間」の切り替えは、「時刻ガイドの切り替え」136 ページを参照してください。

●時刻の４桁を入力する場合の、最初の「０」は省略することができます。

ＯＮタイマーの「ＯＮ」・「ＯＦＦ」を切り替える

ＯＮタイマーを「ＯＦＦ」にすることで、ＯＮタイマーは動作しません。
ＯＮタイマー１を「ＯＦＦ」にする場合の操作方法について説明します。

手順	音声ガイド
［メニューキー］を押し、［４キー］または［６キー］で「ＯＮタイマー」を選択し、［８キー］または［＃キー］を押します。	「メニューを選択」 「ＯＮタイマー」 「決定」
［４キー］または［６キー］で「ＯＮタイマー１」を選択し、［８キー］または［＃キー］を押します。	「ＯＮタイマー１」・・・ 「決定」
［４キー］または［６キー］で「タイマーのＯＮ、ＯＦＦを切り替え」を選択し、［８キー］または［＃キー］を押します。	「タイマーのＯＮ、ＯＦＦを切り替え」 「決定」
［４キー］または［６キー］で「ＯＦＦ」を選択し、［８キー］または［＃キー］を押します。	「ＯＦＦ」 「決定」「♪」「設定しました」 「ＯＮタイマー１　６時３０分　設定ＯＦＦ」

ＯＮタイマーの時刻を変更する

ＯＮタイマー１を、６：００に変更する場合の操作方法について説明します。

手順	音声ガイド
［メニューキー］を押し、［４キー］または［６キー］で「ＯＮタイマー」を選択し、［８キー］または［＃キー］を押します。	「メニューを選択」 「ＯＮタイマー」 「決定」
［４キー］または［６キー］で「ＯＮタイマー１」を選択し、［８キー］または［＃キー］を押します。	「ＯＮタイマー１」・・・ 「決定」
［４キー］または［６キー］で「時刻の変更」を選択し、［８キー］または［＃キー］を押します。	「時刻の変更」 「決定」
［送りキー］または［戻しキー］を押し、「午前」を選択します。	「午前」
［６キー］、［０キー］、［０キー］を押し、［＃キー］を押します。	「６」「０」「０」 「決定」「♪」「設定しました」 「ＯＮタイマー１　午前６時０分　設定ＯＮ」

ＯＮタイマーの時刻を消去する

ＯＮタイマー１の時刻を消去する場合の操作方法について説明します。

手順	音声ガイド
［メニューキー］を押し、［４キー］または［６キー］で「ＯＮタイマー」を選択し、［８キー］または［＃キー］を押します。	「メニューを選択」 「ＯＮタイマー」 「決定」
［４キー］または［６キー］で「ＯＮタイマー１」を選択し、［８キー］または［＃キー］を押します。	「ＯＮタイマー１・・・」 「決定」
［４キー］または［６キー］で「時刻のクリア」を選択し、［８キー］または［＃キー］を押します。	「時刻のクリア」 「決定」 「ＯＮタイマー　１」 「クリアしますか？」
［８キー］または［＃キー］を押します。	「決定」「♪」 「クリアしました」 「ＯＮタイマー１　設定なし」

９章４　メモ録

ここでは、簡単に録音できるメモ録の操作方法について説明します。
メモ録は、本機の内蔵メモリに録音しますので、ＣＤやＣＦカードは不要です。録音したメモ録は、「日付設定」することでスケジュール帳としても使用できます。

メモ録をする

「シナノケンシ株式会社の連絡先」をメモ録する場合の操作方法について説明します。

手順	音声ガイド
［メニューキー］を押し、［４キー］または［６キー］で「メモ録」を選択し、［８キー］または［＃キー］を押します。	「メニューを選択」 「メモ録」 「決定」「録音キーでメモ録開始」 「４または６キーでメモ録選択」 「メモ録がありません」
［録音キー］を押します。	「録音キーを押している間、録音されます」 「音量確認」「自動」
［録音キー］を押しながら、メモを録音します。 声：「シナノケンシ　0570-064177」 ［録音キー］から指を離します。	「♪」 「シナノケンシ　0570-064177」
続けて録音すると新しいメモとして追加登録されます。	―
［メニューキー］を押し、メモ録を終了します。	「♪」

⚠注意

●メモ録 1 回の録音時間は１分です。

●メモ録で録音できる時間の合計は、工場出荷時の設定で２０分です。メモ録の録音時間の設定は、「メモリ配分の選択」136 ページを参照してください。

●メモ録の録音時間の合計が設定された時間を超えると、音声ガイドしますので、不要なメモ録を削除してください。なお、残しておきたいメモ録は、ＣＦカードまたは、ＣＤに保存することができます。

♪ポイント

●メモ録は、［録音キー］を押している間録音され、指を離すと自動的に録音が停止します。録音中に他のキーを押しても録音が停止します。

メモ録を確認する

「メモ録をする」119 ページで録音したメモ録を確認する場合の操作方法について説明します。

手順	音声ガイド
［メニューキー］を押し、［４キー］または［６キー］で「メモ録」を選択し、［８キー］または［＃キー］を押します。	「メニューを選択」 「メモ録」 「決定」
［４キー］または［６キー］でメモ録を確認します。	「シナノケンシ 0570-064177」

♪ポイント

●メモ録には、録音した日付情報が付きます。

●メモ録を選択中に［再生・停止キー］を押すと、録音した日時の情報、お知らせ機能の「あり」「なし」、メモ録内容を再度再生します。

メモ録をスケジュール帳として使用する

これからの予定などをメモ録する時に、メモ録にその日時を指定することができます。また、お知らせ機能を使うと、指定した日時にメモ録の内容を自動再生してお知らせします。

「田中さんとランチを食べる」というメモ録を7月３１日１０：００に自動再生するように設定する場合の操作方法について説明します。

手順	音声ガイド
［メニューキー］を押し、［4キー］または［6キー］で「メモ録」を選択し、［8キー］または［＃キー］を押します。	「メニューを選択」 「メモ録」「決定」 「録音キーでメモ録開始」 「４または６キーでメモ録選択」
［録音キー］を押します。	「録音キーを押している間、録音されます」 「音量確認」「自動」
［録音キー］を押しながら、メモを録音します。 声：「田中さんとランチを食べる」 ［録音キー］から指を離します。	「♪」 「田中さんとランチを食べる」
［情報キー］を押します。	「日付設定」 「日時の種類を選択」
［4キー］または［6キー］で「指定日」を選択し、［8キー］または［＃キー］を押します。	「指定日」 「決定」「指定日」 「年を入力」「（現在の年）」
この例では変更がないため［＃キー］を押します。変更する場合は4桁で入力し［＃キー］を押します。	「決定」 「月日を４桁で入力」 「～メモ録した月日～」

手順	音声ガイド
［7キー］、［3キー］、［1キー］を押し、［＃キー］を押します。	「7」「3」「1」 「決定」 「時刻を４桁で入力」 「送りキー、戻しキーで午前、午後を選択」
［戻しキー］または［送りキー］で「午前」を選択します。 ［1キー］、［0キー］、［0キー］、［0キー］を押し、［＃キー］を押します。	「午前」 「1」「0」「0」「0」 「決定」「設定しました」 「田中さんとランチを食べる」
［見出しキー］を押します。	「お知らせ機能を切り替え」「なし」
［4キー］または［6キー］で「あり」を選択し、［8キー］または［＃キー］を押します。	「あり」 「決定」「設定しました」 「田中さんとランチを食べる」
［メニューキー］を押し、メモ録を終了します。	「♪」

♪ポイント

●メモ録の日時を設定または変更するにはメモ録を再生中に［情報キー］を押して音声ガイドに従って操作します。

●メモ録のお知らせ機能を設定するにはメモ録を再生中に［見出しキー］を押して音声ガイドに従って操作します。

●「日時の種類を選択」では、「指定日」「毎年の指定日」「毎月の指定日」「毎日」「曜日指定」から選択できます。

●「お知らせ機能あり」で本機の電源がＯＦＦの場合には、指定日時になると自動的に電源がＯＮになりチャイム音とメモ録を３回再生します。その間に何も操作がされないと自動的に電源がＯＦＦになります。

メモ録を削除する

選択中のメモ録を削除する場合の操作方法について説明します。

手順	音声ガイド
［メニューキー］を押し、［４キー］または［６キー］で「メモ録」を選択し、［８キー］または［＃キー］を押します。	「メニューを選択」 「メモ録」 「決定」「録音キーでメモ録開始」「４または６キーでメモ録選択」
［４キー］または［６キー］で削除したいメモ録が再生されたら［ページキー］を押します。	「削除するメモ録を選択」 「～メモ録～」 「選択中のメモ録を削除しますか？」
［４キー］または［６キー］で「選択中のメモ録を削除しますか？」を選択し、［８キー］または［＃キー］を押します。	「選択中のメモ録を削除しますか？」 「決定」「♪♪」「削除しました」 「～１つ前のメモ録～」
［メニューキー］を押し、メモ録を終了します。	「♪」

♪ポイント

●メモ録を削除するにはメモ録を再生中に［ページキー］を押して音声ガイドに従って操作します。

●メモ録の削除の方法は、「選択中のメモ録」「選択中のメモ録より過去」「全てのメモ録」から選択できます。

メモ録をＣＤ－Ｒ／ＲＷまたは、ＣＦカードに保存する

録音したメモ録はＣＤ－Ｒ／ＲＷまたはＣＦカードに保存することができます。なお、保存した後もメモ録の内容はメモ録削除を行わない限り記憶されています。

手順	音声ガイド
保存先のＣＤまたは、ＣＦカードを入れます。	「ＣＤ」または「カード」
［メニューキー］を押し、［４キー］または［６キー］で「メモ録」を選択し、［８キー］または［＃キー］を押します。	「メニューを選択」 「メモ録」 「決定」「録音キーでメモ録開始」 「４または６キーでメモ録選択」
［しおりキー］を押し、［４キー］または［６キー］で「ＣＤ」または「カード」を選択し、［８キー］または［＃キー］を押します。	「ＤＡＩＳＹ形式で保存　保存先を選択」 「ＣＤ」または「カード」 「決定」「実行しますか？」
［８キー］または［＃キー］を押します。	「決定」「♪♪」 「実行しました」

♪ポイント

●メモ録をＣＤ－Ｒ／ＲＷまたはＣＦカードに保存するにはメモ録を再生中に［しおりキー］を押して音声ガイドに従って操作します。

●全てのメモ録がＤＡＩＳＹ形式の１つのタイトルとして保存され、それぞれのメモ録にはレベル１の見出しがつきます。

9章5　計算機

本機は、計算機として使用できます。

計算機として使用する

計算機として使用する場合の操作方法について説明します。

手順	音声ガイド
［メニューキー］を押し、［4キー］または［6キー］を押して「計算機」を選択し、［8キー］または［＃キー］を押します。	「メニューを選択」 「計算機」 「決定」「計算機」

キー割り付け

計算機として使用するときには、それぞれのキーは以下のように割り付けられます。なお、［5キー］を押し続けるとキー割り付けを音声ガイドします。

キー	機能
［情報キー］	＋
［見出しキー］	－
［ページキー］	×
［しおりキー］	÷
［録音キー］	小数点

キー	機能
［メニューキー］	計算機を終了
［1から0キー］	数字
［＃キー］	＝
［＊キー］	クリア
［再生・停止キー］	計算結果を音声ガイド

♪ポイント

●最大入力桁数は、１２桁です（小数点、マイナスを含まず）
　最大計算桁数は、１２桁です（小数点、マイナスを含まず）
　最下位桁の処理方法は、切り捨てになります
●四則演算の優先順に関係なく、入力順に演算を行います。
　例：１ ＋ ２ × ３ ＝ ９

♪ポイント

●「×」（［ページキー］）の後続けて「＝」（［＃キー］）を（n−1）回押すと、n 乗の計算ができます。

例：「2」「×」「＝」「＝」「＝」と入力すると「4」「8」「16」

●「÷」（［しおりキー］）の後続けて「＝」（［＃キー］）を押すと、逆数計算ができます。

例：「2」「÷」「＝」「＝」「＝」と入力すると「0.5」「0.25」「0.125」

計算例

計算例	手順
足し算の場合： １０＋５＝	［１キー］、［０キー］、［情報キー］、［５キー］を押し、［＃キー］を押します。
入力間違いまたは、計算結果をクリアする。	［＊キー］を押します。

⚠注意

●計算の途中でのクリアは、入力した計算がクリアされます。電卓のＡＣと同じです。計算の最初から入力してください。

計算機を終了する

手順	音声ガイド
［メニューキー］を押します。	「♪」

９章６　メディア管理（メディア情報、ＣＤファイナライズ、ＣＤ－ＲＷ内容全消去、カード内容全消去、ＣＤの保存情報を検索、不要音声ファイル削除）

メディア情報

選択中のメディアの種類、使用容量、空き容量を音声ガイドします。

手順	音声ガイド
[メニューキー］を押し、［４キー］または［６キー］で「メディア管理」を選択し、［８キー］または［＃キー］を押します。	「メニューを選択」「メディア管理」「決定」
［４キー］または［６キー］で「メディア情報」を選択し、［８キー］または［＃キー］を押します。「メディアの種類」、「このタイトルの使用容量」、「空き容量」、ファイナライズの状態が音声ガイドで繰り返されます。［メニューキー］を押し、終了します。	「メディアの種類」「このタイトルの使用容量・・」「空き容量・・」「～ファイナライズの状態～」「♪♪」

ＣＤファイナライズ

ＣＤファイナライズを行うことで、本機以外のＤＡＩＳＹ図書再生機や再生用アプリケーションソフトで再生できるＣＤになります。ＣＤファイナライズを行わないと、録音したＣＤは本機以外では再生することはできません。また、ＣＤファイナライズには追記可能と追記禁止があります。追記禁止でＣＤファイナライズを実行すると、その後、編集準備を実行することはできませんので、追加の録音や編集をすることはできません。

なお、ＣＤファイナライズを行ってもＣＤコピー機のマスターとして使用できません。その際は、付属のプレクストークレコーディングソフトウェアを使用して、再度ＣＤを作成しなおしてください。詳しくは「１３章　プレクストークレコーディングソフトウェアを使いましょう」180 ページを参照してください。

ＣＤファイナライズを行う場合の操作方法について説明します。

手順	音声ガイド
ＤＣ入力端子に、付属の電源アダプタを接続します。プラグが挿入されると短い効果音がします。	「♪」
［メニューキー］を押し、［４キー］または［６キー］で「メディア管理」を選択し、［８キー］または［＃キー］を押します。	「メニューを選択」「メディア管理」「決定」
［４キー］または［６キー］で「ＣＤファイナライズ」を選択し、［８キー］または［＃キー］を押します。	「ＣＤファイナライズ」「決定」
［４キー］または［６キー］で「追記可能」または「追記禁止」を選択し、［８キー］または［＃キー］を押します。音楽 CD の場合は、追記禁止となりますので、この手順は飛ばして次の手順を行ってください。	「追記可能」または「追記禁止」「決定」「実行しますか？」
［８キー］または［＃キー］を押します。	「決定」「♪♪」「実行しました」

⚠注意

●バッテリー駆動でのＣＤファイナライズは、ＣＤファイナライズ中にバッテリーがなくなる場合があります。バッテリーがなくなるとＣＤファイナライズが正常に終了されず、「再生できないＣＤ」になってしまいます。電源アダプタを接続してご使用いただくことをお薦めします。
●ＣＤファイナライズを行うと、セッションクローズ処理が行われるため、３０～４０ＭＢのデータ容量を消費します。
●ＣＦカードでのＣＤファイナライズは不要です。

♪ポイント

●ＣＤファイナライズ中に何かのキーを押すと進捗状況を音声ガイドします。「・・♪ＣＤファイナライズ○○%終了、残り○○分○○秒・・」
●「追記可能」を選択してＣＤファイナライズを行ったＣＤに、再度編集を加える場合には、編集準備（「８章３　タイトルの作成、削除」102ページ参照）が必要です。

ＣＤ-ＲＷ内容全消去

ＣＤ－ＲＷは全消去することで、新しいＣＤ－ＲＷとして使用することができます。約１０００回の書き込みおよび消去ができます。 全消去には、約２０分程度かかります。

⚠注意

●ＣＤ－ＲＷでも記録面にキズや汚れがあると全消去できない場合があります。

●ＣＤ－Ｒは、全消去できません。

ＣＤ－ＲＷ内容全消去を行う場合の操作方法について説明します。

手順	音声ガイド
ＤＣ入力端子に、付属の電源アダプタを接続します。プラグが挿入されると短い効果音がします。	「♪」
［メニューキー］を押し、［４キー］または［６キー］で「メディア管理」を選択し、［８キー］または［＃キー］を押します。	「メニューを選択」 「メディア管理」 「決定」
［４キー］または［６キー］で「ＣＤ－ＲＷ内容全消去」を選択し、［８キー］または［＃キー］を押します。	「ＣＤ－ＲＷ内容全消去」 「決定」「消去しますか？」
［８キー］または［＃キー］を押します。	「決定」「♪♪」 「消去しました」 「♪」・・・

⚠注意

●バッテリー駆動でのＣＤ－ＲＷ内容全消去は、全消去中にバッテリーがなくなる可能性があり、正常に終了されない場合があります。電源アダプタを接続してご使用いただくことをお薦めいたします。

カード内容全消去

ＣＦカードは、全消去することで新しいカードとして使用できます。
カード内容全消去を行う場合の操作方法について説明します。

手順	音声ガイド
ＤＣ入力端子に、付属の電源アダプタを接続します。プラグが挿入されると短い効果音がします。	「♪」
［メニューキー］を押し、［４キー］または［６キー］で「メディア管理」を選択し、［８キー］または［＃キー］を押します。	「メニューを選択」 「メディア管理」 「決定」
［４キー］または［６キー］で「カード内容全消去」を選択し、［８キー］または［＃キー］を押します。	「カード内容全消去」 「決定」「消去しますか？」
［８キー］または［＃キー］を押します。	「決定」「♪」 「消去しました」 「♪」・・・

ＣＤの保存情報を検索

ＣＤ－Ｒ／ＲＷメディアに録音した内容が、再生できなくなった場合にのみ使用するものです。この機能を使用すると、過去に「録音編集情報の保存」や「ＣＤファイナライズ」を実行した場所を探し、それらの情報が読み込めた場合は、そこまでを再生できるようにします。しかし、それらの情報が読み込めなかった場合や、情報が無かった場合は、「これ以上検索する情報がありません」という音声ガイドがあり、そのＣＤは復旧することができません。この操作を誤って実行した場合でも「録音編集情報の保存」を行わなければ問題ありません。元の状態に戻したい場合は、一旦ＣＤを取り出してください。

ＣＤの保存情報を検索する場合の操作方法について説明します。

手順	音声ガイド
［メニューキー］を押し、［４キー］または［６キー］で「メディア管理」を選択し、［８キー］または［＃キー］を押します。	「メニューを選択」「メディア管理」「決定」
［４キー］または［６キー］で「ＣＤの保存情報を検索」を選択し、［８キー］または［＃キー］を押します。	「ＣＤの保存情報を検索」「決定」「前回保存した情報を検索しますか？」
［８キー］または［＃キー］を押します。	「決定」「♪♪」「ＣＤ」「ＤＡＩＳＹ図書です」「♪」

♪ポイント

●この機能によって再生できる状態になった場合、「録音編集情報の保存」もしくは「ＣＤファイナライズ」を実行し、これらの処理が成功すれば、通常の再生ができるようになります。ただし書き込みエラー等が起きやすい状態のため、失敗する場合もあります。その場合は、一旦ＣＦカードにバックアップし、その後でＣＦカードから他のＣＤ－Ｒ／ＲＷメディアにバックアップしてください。

不要音声ファイル削除

ＣＦカードに録音した後にセクション切り取りなどの編集を行っただけでは、ＣＦカード内に再生されない音声ファイルが残っています。セクション切り取りで指定した範囲が１つまたは複数の音声ファイルを全て選択して実行されている場合は、不要音声ファイル削除を実行すると、ＣＦカードの録音可能時間がその分増えます。

ＣＤ－Ｒ／ＲＷで実行した場合は、録音可能時間は増えませんが、ＣＤからＣＦカードへバックアップする際に、余分な音声ファイルがバックアップされることを未然に防ぐことができます。

不要音声ファイル削除を実行する場合の操作方法について説明します。

手順	音声ガイド
［メニューキー］を押し、［４キー］または［６キー］で「メディア管理」を選択し、［８キー］または［＃キー］を押します。	「メニューを選択」 「メディア管理」 「決定」
［４キー］または［６キー］で「不要音声ファイル削除」を選択し、［８キー］または［＃キー］を押します。	「不要音声ファイル削除」 「決定」「実行しますか？」
［８キー］または［＃キー］を押します。	「決定」「♪」 「実行しました」 「♪」

⚠注意

●削除できるファイルがなかった場合は、「不要な音声ファイルはありませんでした」と音声ガイドします。

９章７　管理（設定を初期化、プレクストークの情報、待ち受け音の選択、時刻ガイドの切り替え、メモリ配分の選択、グループ移動方法の選択、送り・戻し移動方法の選択、動作モードの選択、ＵＳＢ動作の切り替え）

この章では、本機の設定をなどを行う「管理メニュー」について説明します。

設定を初期化

設定を初期化すると、次の各種設定項目が全て工場出荷時の状態に戻ります。また、本機の内部メモリに記憶していたメモ録や音声しおりなどのデータが全て削除されます。

項目	内容
音量、ガイド音量、録音音量	10
スピード	標準
トーン	標準
しおり、簡単しおり、音声しおり 過去に聞いたタイトルの停止位置	全て削除されます
音声しおり再生設定	再生する
再生設定	通常再生
録音設定	ＤＡＩＳＹ形式：標準 音楽ＣＤ形式：標準音楽
録音中の音声ガイド	ガイドあり
自動音量調整	ＯＮ
録音モニタ	ＯＮ
お休みタイマー	キャンセルされます
ＯＮタイマー	全て削除されます
メモ録	全て削除されます

項目	内容
待ち受け音	待ち受け音１
時刻ガイド	12 時間（午前、午後）
メモリ配分	音声しおり 10 分、メモ録 20 分
グループ移動方法	見出しとグループ
送り・戻し移動方法	５秒移動
動作モード	ノーマルモード
ＵＳＢ動作	ＣＤドライブ

設定を初期化する場合の操作方法について説明します。

手順	音声ガイド
［メニューキー］を押し、［４キー］または［６キー］で「管理」を選択し、［８キー］または［＃キー］を押します。	「メニューを選択」 「管理」 「決定」
［４キー］または［６キー］で「設定を初期化」を選択し、［８キー］または［＃キー］を押します。	「設定を初期化」 「決定」「工場出荷時の状態に戻ります」 「実行しますか？」
［８キー］または［＃キー］を押します。	「決定」 「実行しました」

⚠注意

●「ＵＳＢ動作の切り替え」で「カードドライブ」に設定されている場合は、「設定を初期化」すると本機は再起動します。

プレクストークの情報

本機のバージョン番号（改訂番号）とシリアル番号（製造番号）を確認できます。

手順	音声ガイド
［メニューキー］を押し、［4キー］または［6キー］で「管理」を選択し、［8キー］または［#キー］を押します。	「メニューを選択」 「管理」 「決定」
［4キー］または［6キー］で「プレクストークの情報」を選択し、［8キー］または［#キー］を押します。 「プレクストークバージョン」「シリアル番号」を繰り返し音声ガイドします。	「プレクストークの情報」 「決定」「プレクストークバージョン・・・」 「シリアル番号・・・」
［メニューキー］を押して終了します。	「♪」

待ち受け音の選択

本機が各種処理を実行している間に流れる音楽を「待ち受け音1」「待ち受け音2」「待ち受け音なし」から選択することができます。工場出荷時は、「待ち受け音1」に設定されています。

手順	音声ガイド
［メニューキー］を押し、［4キー］または［6キー］で「管理」を選択し、［8キー］または［#キー］を押します。	「メニューを選択」 「管理」 「決定」
［4キー］または［6キー］で「待ち受け音の選択」を選択し、［8キー］または［#キー］を押します。	「待ち受け音の選択」 「決定」
［4キー］または［6キー］で「待ち受け音1」「待ち受け音2」「待ち受け音なし」から選択し、［8キー］または［#キー］を押します。	「待ち受け音○」 「決定」「設定しました」

時刻ガイドの切り替え

時刻ガイド切り替えは「午前・午後」と「２４時間」で切り替えて設定できます。工場出荷時は、「午前・午後」に設定されています。
「２４時間」に切り替える場合の操作方法について説明します。

手順	音声ガイド
［メニューキー］を押し、［4キー］または［6キー］で「管理」を選択し、［8キー］または［＃キー］を押します。	「メニューを選択」 「管理」 「決定」
［4キー］または［6キー］で「時刻ガイドの切り替え」を選択し、［8キー］または［＃キー］を押します。	「時刻ガイドの切り替え」 「決定」
［4キー］または［6キー］で「２４時間」を選択し、［8キー］または［＃キー］を押します。	「２４時間」 「決定」「設定しました」

メモリ配分の選択

音声しおりとメモ録での内蔵メモリ使用量を設定することができます。
工場出荷時は、「音声しおり１０分、メモ録２０分」に設定されています。

手順	音声ガイド
［メニューキー］を押し、［4キー］または［6キー］で「管理」を選択し、［8キー］または［＃キー］を押します。	「メニューを選択」 「管理」 「決定」
［4キー］または［6キー］で「メモリ配分の選択」を選択し、［8キー］または［＃キー］を押します。	「メモリ配分の選択」 「決定」

［4キー］または［6キー］で 「音声しおり３０分　メモ録0分」 「音声しおり２５分　メモ録5分」 「音声しおり２０分　メモ録１０分」 「音声しおり１５分　メモ録１５分」 「音声しおり１０分　メモ録２０分」 「音声しおり5分　メモ録２５分」 「音声しおり0分　メモ録３０分」 から選択し、［8キー］または［＃キー］を押します。	「音声しおり○分、メモ録○分」 「決定」 「設定しました」

グループ移動方法の選択

グループ移動方法は、「見出しとグループに移動」と「グループのみに移動」から選択できます。「見出しとグループに移動」を選択した場合は、グループとグループの間に見出しがあった場合は見出しにも移動します。「グループのみに移動」を選択した場合は、次のグループの間に見出しがあっても見出しには移動しません。工場出荷時は、「見出しとグループに移動」に設定されています。

手順	音声ガイド
［メニューキー］を押し、［4キー］または［6キー］で「管理」を選択し、［8キー］または［＃キー］を押します。	「メニューを選択」 「管理」 「決定」
［4キー］または［6キー］で「グループ移動方法の選択」を選択し、［8キー］または［＃キー］を押します。	「グループ移動方法の選択」 「決定」
［4キー］または［6キー］で「見出しとグループに移動」または「グループのみに移動」を選択し、［8キー］または［＃キー］を押します。	「見出しとグループに移動」または「グループのみに移動」 「決定」「設定しました」

送り・戻し移動方法の選択

送り・戻しの移動方法は「５秒移動」と「フレーズ移動」から選択できます。「５秒移動」の場合は送りキー、戻しキーを押すことで前後５秒に移動します。「フレーズ移動」の場合は前後のフレーズに移動します。
工場出荷時は、「５秒移動」に設定されています。

手順	音声ガイド
［メニューキー］を押し、［４キー］または［６キー］で「管理」を選択し、［８キー］または［＃キー］を押します。	「メニューを選択」 「管理」 「決定」
［４キー］または［６キー］で「送り・戻し移動方法の選択」を選択し、［８キー］または［＃キー］を押します。	「送り・戻し移動方法の選択」 「決定」
［４キー］または［６キー］で「５秒移動」または「フレーズ移動」を選択し、［８キー］または［＃キー］を押します。	「５秒移動」または「フレーズ移動」 「決定」「設定しました」

♪ポイント

●人が文章を音読すると、文と文の区切り目のところに息つぎの間ができます。この間から次の間までのひと区切りの音声を、ＤＡＩＳＹ図書では「フレーズ」と呼びます。フレーズで移動すると区切りのよい文章の先頭や句読点がある場所に移動します。ひとつのフレーズは、通常、数秒から十数秒の長さの音声となります。

動作モードの選択

動作モードの選択は、「ノーマルモード」と「図書制作モード」から選択できます。工場出荷時は、「ノーマルモード」に設定されています。
「図書制作モード」では、本格的なＤＡＩＳＹ図書の制作の際に不可欠な、フレーズ単位での編集などができます。詳しくは、「１１章　図書制作モード」161 ページを参照してください。

手順	音声ガイド
［メニューキー］を押し、［４キー］または［６キー］で「管理」を選択し、［８キー］または［＃キー］を押します。	「メニューを選択」 「管理」 「決定」
［４キー］または［６キー］で「動作モードの選択」を選択し、［８キー］または［＃キー］を押します。	「動作モードの選択」 「決定」
［４キー］または［６キー］で「ノーマルモード」または「図書制作モード」を選択し、［８キー］または［＃キー］を押します。	「ノーマルモード」または「図書制作モード」 「決定」「設定しました」 「♪」

ＵＳＢ動作の切り替え

ＵＳＢ動作は、「ＣＤドライブ」と「カードドライブ」を切り替えて設定できます。工場出荷時は、「ＣＤドライブ」に設定されています。
付属のＵＳＢケーブルでパソコンと接続したとき、外付けの「ＣＤドライブ」として使用するか、「カードドライブ」として使用するかを切り替えます。

手順	音声ガイド
［メニューキー］を押し、［４キー］または［６キー］で「管理」を選択し、［８キー］または［＃キー］を押します。	「メニューを選択」 「管理」 「決定」
［４キー］または［６キー］で「ＵＳＢ動作の切り替え」を選択し、［８キー］または［＃キー］を押します。	「ＵＳＢ動作の切り替え」 「決定」
［４キー］または［６キー］で「ＣＤドライブ」または「カードドライブ」を選択し、［８キー］または［＃キー］を押します。 設定後、自動的に再起動します。 再起動が完了すると、選択したＵＳＢ外付け「ドライブ」としてパソコンと接続して使用することができます。	「ＣＤドライブ」または「カードドライブ」 「決定」「設定しました」「♪」 「再起動します」「♪♪」

９章８　ＣＤドライブ／カードドライブとして使用する

付属のＵＳＢケーブルでパソコンと接続することで、外付けの「ＣＤドライブ」または「カードドライブ」として使用することができます。
なお、「ＣＤドライブ」として使用しているときは、録音・再生はできません。また、「ＣＤドライブ」と「カードドライブ」を同時に使用することはできません。

⚠注意

●推奨動作環境以外での動作は保証しかねますのでご了承ください。詳しくは、「ＣＤドライブ仕様」195 ページ、「カードドライブ仕様」197 ページを参照してください。
●ＣＤ－Ｒ／ＲＷやＣＦカードへ書き込みをする場合は、電源アダプタを使用して電源コンセントに接続することをお薦めします。書き込み中にバッテリー容量が不足すると、正常に書き込みできなくなり、書き込み途中のＣＤが使用できなくなる場合があります。
●ＤＡＩＳＹ図書を編集・作成するためのソフトウェア（「１３章　プレクストークレコーディングソフトウェアを使いましょう」180 ページ参照）が付属しますが、ＣＤ－Ｒ／ＲＷ 用のライティングソフトウェアは付属していません。
●データの書き込み方法についてはライティングソフトの説明書を参照ください。

ＣＤドライブについて

付属のＵＳＢケーブルでパソコンと接続することで、パソコンの外付けＣＤドライブとして使用することができ、パソコンで「データのバックアップをする」、「オリジナルの音楽ＣＤをつくる」などができます。
対応ＯＳは、Windows98SE、Me、2000、XP、Vista、７です。

接続方法

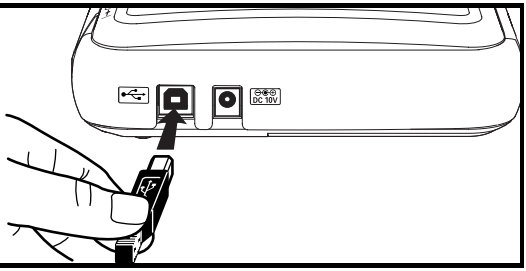
以下の、手順で接続してください。
１．本機とパソコンの電源を入れます。
２．付属のＵＳＢケーブルを使用して本機とパソコンを接続します。
３．パソコンのエクスプローラー上で、ＣＤ－ＲＷドライブとして認識されます。

ドライバのインストール（Windows98SE の場合）

パソコンが Windows98SE の場合のみ、ＵＳＢドライバのインストールが必要です。Windows98SE 以外の場合は、以下の操作は必要ありません。

⚠注意
パソコンと本機をＵＳＢで接続した後にパソコンの電源を入れると「不明なデバイス」や「その他のデバイス」になり、そのままでは使用できなくなることがあります。必ず以下の手順に従ってインストールしてください。

手順	パソコン
パソコンを起動します。	—
プレクストークポータブルレコーダーの電源を入れます。	—
付属の「取扱説明書ＤＡＩＳＹ版」をパソコンのＣＤ－ＲＯＭドライブにセットします。	—

ＵＳＢケーブルを接続します。	

ここからはパソコンでの操作です。

手順	パソコン
「USB Storage Adapter」ドライバをインストールします。 ［次へ>］をクリックします。	
「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する(推奨)」のチェックボックスをチェックし、［次へ>］をクリックします。	
「検索場所の指定」のチェックボックスをチェックし、［参照（R）］をクリックし、ＣＤ－ＲＯＭドライブの￥Driverを選択し、［次へ>］をクリックします。	

手順	パソコン
［次へ>］をクリックします。	
［完了］をクリックします。	
「USB ATA/ATAPI Mass Storage」ドライバをインストールします。 ［次へ>］をクリックします。	

手順	パソコン
［次へ>］　をクリックします。	
検索場所の指定のチェックボックスをチェックし、参照先をＣＤ－ＲＯＭドライブの￥Driverとし、［次へ>］　をクリックします。	
［次へ>］　をクリックします。	

手順	パソコン
［完了］　をクリックします。	
パソコンのデバイスマネージャーにて「CD―ROM」の項目に「MATSHITA CD-RW CW-8124」または、「TEAC DW-224SL-R」と表示されていることを確認します。	

ＣＤドライブ（本機）をパソコンから取り外す

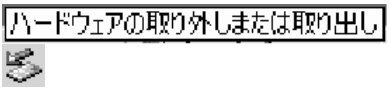
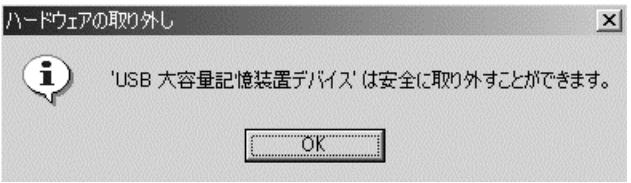
Windows９８SE の場合

手順	パソコン
パソコン画面右下のタスクトレイにあるＵＳＢのアイコンを左クリックします。	
「USB-ATA/ATAPI Mass StorageController の取り外し」を左クリックします。	
［ＯＫ］を左クリックします。	
本機の電源をＯＦＦにし、ＵＳＢケーブルを外してください。	

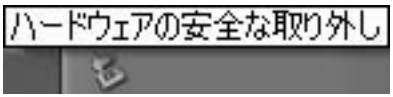
Windows Me の場合

手順	視覚ガイド
右下のタスクトレイにある「ハードウェアの取り外し」を左クリックします。	
「USB CD-ROM-ドライブの停止」を左クリックします。	
［ＯＫ］を左クリックします。	
本機の電源をＯＦＦにし、ＵＳＢケーブルを外してください。	

Windows２０００の場合

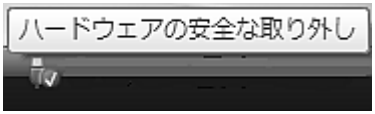
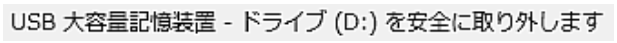
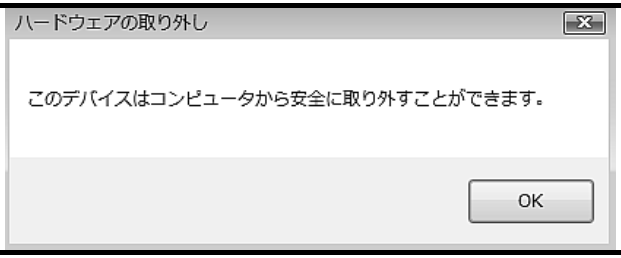
手順	パソコン
右下のタスクトレイにある「ハードウェアの取り外しまたは取り出し」を左クリックします。	
「USB 大容量記憶装置デバイス・・停止します」を左クリックします。	
［ＯＫ］を左クリックします。	
本機の電源をＯＦＦにし、ＵＳＢケーブルを外してください。	

WindowsXP の場合

手順	パソコン
右下のタスクトレイにある「ハードウェアの安全な取り外し」を左クリックします。	
「USB 大容量記憶装置デバイス・・安全に取り外します」を左クリックします。	

「ハードウェアの取り外し・・・」を左クリックします。	
本機の電源をＯＦＦにし、ＵＳＢケーブルを外してください。	

Windows Vista の場合

手順	パソコン
右下のタスクトレイにある「ハードウェアの安全な取り外し」を左クリックします。	
「USB 大容量記憶装置デバイス・・安全に取り外します」を左クリックします。	
［ＯＫ］を左クリックします。	
本機の電源をＯＦＦにし、ＵＳＢケーブルを外してください。	

ドライバをアンインストールする

Windows９８SE の場合のみ

手順	パソコン
付属の取扱説明書ＤＡＩＳＹ版の￥Driver￥Uninst.exe をダブルクリックします。	
［はい(Y)］をクリックします。	
ＵＳＢケーブルを外し、［ＯＫ］をクリックします。	
［はい(Y)］をクリックし、パソコンを再起動します。	

カードドライブについて

付属のＵＳＢケーブルでパソコンと本機を接続すると、パソコンの外付けカードドライブとして使用することができ、パソコンからＣＦカードにデータを書き込んだり、ＣＦカードの内容をパソコンに読み込むことができます。対応ＯＳは、Windows Me、2000、XP、Vista、７です。

接続方法

工場出荷時は、「ＣＤドライブ」としてＵＳＢ動作が設定されていますので、「ＵＳＢ動作の切り替え」で「カードドライブ」に切り替えます。切り替え方法は「ＵＳＢ動作の切り替え」140 ページを参照してください。

「カードドライブ」としてＵＳＢ動作を切り替えてから、以下の手順で接続します。

１．本機とパソコンの電源を入れます。
２．付属のＵＳＢケーブルを使用して本機とパソコンを接続します。
３．本機にＣＦカードを挿入します。
４．パソコンのエクスプローラー上で本機はリムーバブルディスクとして認識されます。

⚠注意

●カードドライブは、Windows98SE では使用できません。
●本機にＣＦカードが挿入されていない場合は、エクスプローラ上で「リムーバブルディスク」として表示されません。

取り外し方法

⚠注意

●本機がカードドライブとしてパソコンに接続されている時に、本機の電源を切ったり、ＵＳＢケーブルやＣＦカードを抜いたりしないでください。

パソコンから取り外す方法は、ＣＤドライブの場合と同じです。「ＣＤドライブ（本機）をパソコンから取り外す」147 ページを参照してください。その際に本機のＣＦカードを示す項目名が、Windows XP/2000/Vista の場合は「USB 大容量記憶装置デバイス」、Windows Me の場合は「リムーバブルディスク」になります。

１０章　実践編：テープからの録音

これまでの「基本操作編」「使いこなし編」を踏まえて、テープからの録音を例に、録音から編集、バックアップ、ＣＤファイナライズの操作方法について一連の流れで説明します。

テープからの録音

ＣＦカードにテープの録音モードで録音します。ＣＤ－Ｒ／ＲＷへも同じ操作で録音できますが、一次録音はＣＦカードに録音すると、より確実に録音できます。ＣＤへの録音は録音中に衝撃を受けると録音を失敗することがありますが、ＣＦカードは、多少の衝撃を受けても録音に失敗することがありません。

録音するテープ、カセットプレーヤ、録音用接続ケーブル、本機、ＣＦカード、ＣＤ－Ｒを準備します。ここでは、再生専用機のテープの取扱説明書を録音する場合についての操作方法を説明します。

手順	音声ガイド
ＣＦカード挿入口にＣＦカードを入れます。	－
本機の電源を入れます。	「♪」 「カード」 「ＤＡＩＳＹ図書がありません」 「録音キーで新規タイトル作成」

手順	音声ガイド
カセットプレーヤにテープを入れてヘッドホンジャックに、付属の録音用接続ケーブルを接続します。 ケーブルの反対側の端子を本機のラインインジャックに接続します。	「ラインイン」
［メニューキー］を押し、［６キー］を押して「録音設定」を選択し、［＃キー］を押します。	「メニューを選択」 「録音設定」 「決定」「録音モードの選択」
現在、選択されている「録音モードの選択」で、［＃キー］を押します。	「決定」
［６キー］を押して「テープ」を選択し、［＃キー］を押します。	「テープ」 「決定」
［６キー］を押して「ＭＰ３　３２ｋ」を選択し、［＃キー］を押します。	「ＭＰ３　３２ｋ」 「決定」「設定しました」
録音するものは音声なので、現在の設定のまま自動音量調整はＯＮで録音します。もし、音楽などの場合は、［録音音量シャトル］を本体側に押し込み自動音量調整をＯＦＦにして音量調整をしてください。	「自動音量調整ＯＮ」
［録音キー］を押します。	「カードに録音」 「音量確認」
［録音キー］を押し、テープを再生します。	「♪」 「～テープ～」
テープの音をモニタしない場合は、［しおりキー］を押し、「録音モニタＯＦＦ」にします。	「♪」 「録音モニタＯＦＦ」
テープモードでは自動的にテープの音声が１分以上途切れると録音が自動的に止まりますので、そのまま放置しておきます。 Ｂ面の録音がある場合は、［録音キー］を押してからの同じ操作を行います。	－

録音した内容の確認と編集１

ＣＦカードまたは、ＣＤ－Ｒ／ＲＷに録音できれば良いという場合は、特に編集をする必要はありませんが、後から区切りの場所に移動したい場合は、録音内容を確認して編集を行います。
テープモードで録音するとテープからの音声が４秒以上途切れると見出しが自動的に設定されます。それが、意図した場所に設定されているか確認します。意図した場所に設定されていなかったり、意図した場所以外に設定されていた場合は、見出しの編集を行います。

手順	音声ガイド
録音した時間を確認してみます。 ［再生・停止キー］を押し続けます。	「経過・・」、「残り・・」、「総時間・・」、「この音声が録音された日時・・」、「～タイトル名～」
自動的に見出しが設定された数を確認してみます。［見出しキー］を押し続けます。	「現在の見出し・・」、「見出し合計・・」、「著作権情報・・」、「～見出し～」
［再生・停止キー］を押して、録音を開始した場所から再生します。どのような場所に見出しが設定されたか、［６キー］を押していき、全ての見出しを先頭から順に移動して確認します。	「～見出し～」 「～次の見出し～」 ・・・

手順	音声ガイド
このテープは「梱包箱に入っているもの」「基本的な操作方法について」「便利な検索機能について」「バッテリーについて」が区切りになっています。［６キー］を押したときに、区切りである「梱包箱に入っているもの」に移動しませんでしたので、そこに見出しを設定してみます。［見出しキー］を押して、［＃キー］を押して先頭に移動し、［送りキー］または、［戻しキー］押して「梱包箱に入っているもの」を探します。	「梱包箱に入っているもの」 「基本的な操作方法について」 「便利な検索機能について」 「バッテリーについて」
［再生・停止キー］を押して、停止しました。 ［見出しキー］を２回押します。	「見出し設定」・・
［４キー］を何回か押して「梱包箱に入っている」が再生される場所まで戻ります。	「再生・停止キーを押して」 「このように長く押し続けると」 ・・ 「梱包箱に入っている」
［＃キー］で決定します。	
「再生・停止キーを押して」「このように長く押し続けると」という箇所に見出しが設定されていましたが、それらは、「便利な検索機能について」に含まれる内容です。このように間違った見出しが連続して設定されていた場合は、「セクション結合」を行います。 ［メニューキー］を押します。	「メニューを選択」「編集」
「セクション結合」は、編集メニューにありますので、そのまま［＃キー］を押し決定します。	「決定」
［６キー］を押して「セクション結合」を選択し、［＃キー］を押し決定します。	「セクション結合」 「決定」・・

手順	音声ガイド
結合させる見出しの先頭である「便利な検索機能について」まで［6キー］を押して移動し、［＃キー］を押して決定します。	「便利な検索機能について」 「決定」
間違った見出しの最後である「このように長く」まで［6キー］を押して移動し、［＃キー］を押して決定します。	「このように長く」 「決定」 「実行しますか？」
セクション結合を実行しますので、［＃キー］を押して決定します。	「決定」 「実行しました」
次に「これで本機は今」という箇所に見出しが設定されていましたが、この見出しも不要ですので見出し設定を取り消します。「これで本機は今」の見出しまで［6キー］を押して移動します。	「これで本機は今」
［再生・停止キー］を押して止めました。 ［見出しキー］を3回押して、［＃キー］を押します。	「見出し○を取り消しますか？」 「決定」
これで、見出しの編集が終了しました。先頭から全ての見出しに移動してみましょう。 ［見出しキー］を押し、［＃キー］を押します。	「見出し番号を入力」 「決定」
［6キー］を押して、移動していきます。	「梱包箱に入って・・ 「基本的な操作・・ 「便利な検索・・ 「バッテリー・・」 「最後です」

録音した内容の確認と編集２

録音した内容で、例えばテープの無音部分や、Ａ面、Ｂ面が切り替わる際の音声など不要な場所を切り取る操作方法について説明します。
ここでは、テープモードで録音しましたので、無音部分が最後に約１分録音されています。その部分を切り取る操作方法について説明します。

手順	音声ガイド
［見出しキー］を押して、［０キー］、［＃キー］を押して最後に移動します。	「移動先の見出し番号を入力」 「０」 「決定」「最後です」
［８キー］を押し、検索単位の「時間」を選択し、［４キー］を１回押して、１分前に戻ります。	「時間」 「・・」
［再生・停止キー］を押し、停止します。 無音の始まる場所に見出し設定をします。 ［見出しキー］を２回押します。	「見出し○○を設定しますか？」「４または６キーで位置を微調整できます」
［４キー］または［６キー］を何回か押して、無音が始まる場所まで移動します。	「♪」「♪」 「♪」「♪」
［＃キー］を押し、見出しを設定します。	「決定」「見出し○設定しました」
［メニューキー］を押します。	「メニューを選択」 「編集」
「セクション切り取り」は、編集メニューにありますので、そのまま［＃キー］を押します。	「決定」・・

手順	音声ガイド
［6キー］を押して、「セクション切り取り」を選択し、［＃キー］を押します。	「セクション切り取り」「決定」「先頭のセクションを選択」「見出し○」
切り取るセクションは無音ですので、分かりにくいです。このような場合は、［4キー］を押して、1つ前のセクションに移動します。	「♪」「見出し○」「～前の見出し～」
［6キー］を押して、無音のセクションに移動します。これが切り取るセクションの先頭なので［＃キー］を押し、決定します。	「♪」「見出し○」「～無音の見出し～」「決定」「最後のセクションを選択」
無音のセクションだけを切り取りますので、これが先頭のセクションであり、最後のセクションでもありますので、このまま［＃キー］を押し、決定します。	「決定」「セクション切り取りを実行しますか？」
［＃キー］を押し、決定します。	「決定」「実行しました」
これで無音部分は削除されました。［戻しキー］を押して確認してみます。	「♪」「～前の見出し～」「最後です」

録音した内容をＣＤ－Ｒにバックアップ

ＣＦカードに録音した内容が、保管しておきたいものであれば、ＣＤ－Ｒにバックアップします。

手順	音声ガイド
新しいＣＤ－Ｒを挿入します。	「♪」 「ＣＤ」「ＤＡＩＳＹ図書がありません」 「録音キーで新規タイトル作成」
バックアップをするときにはバックアップ元を選択していなければなりません。［２キー］を押し、［６キー］を押して「カード」を選択します。	「メディア」「カードを選択」
［メニューキー］を押します。	「メニューを選択」
［６キー］を押し、「バックアップ」を選択し、［＃キー］を押します。	「バックアップ」 「決定」「カードからＣＤにバックアップするＣＤの形式を選択」 「ＤＡＩＳＹ形式」
ＤＡＩＳＹ形式でバックアップしますので、そのまま、［＃キー］を押します。	「決定」
［＃キー］を押してバックアップを行います。	「選択中タイトルをバックアップしますか？」 「決定」「♪♪♪」 「実行しました」

カード内容を消去する

ＣＤ－Ｒにバックアップができましたので、カードの中身は不要になりましたので消去します。

手順	音声ガイド
[メニューキー]を押します。	「メニューを選択」
［４キー］で「メディア管理」を選択し、［＃キー］を押します。	「メディア管理」 「決定」
［６キー］を押し、「カード内容全消去」を選択し、［＃キー］を押します。	「カード内容全消去」 「決定」「消去しますか？」
［＃キー］を押します。	「決定」「消去しました」

本機以外の機器で再生する場合

出来上がったＣＤを本機以外のＤＡＩＳＹ図書再生機や再生用アプリケーションソフトで再生したい場合はＣＤファイナライズを実行します。なお、ＣＤファイナライズには追記可能と追記禁止が選択できます。後から追加録音や編集をすることが考えられる場合は追記可能を選択します。

手順	音声ガイド
[メニューキー]を押します。	「メニューを選択」
［４キー］を押し、「メディア管理」を選択し、［＃キー］を押します。	「メディア管理」 「決定」
［６キー］を押し、「ＣＤファイナライズ」を選択し、［＃キー］を押します。	「ＣＤファイナライズ」 「決定」「追記可能」
「追記可能」で行いますので、このまま［＃キー］を押します。	「決定」「実行しますか？」
［＃キー］を押して実行ます。	「決定」「♪♪」 「実行しました」

１１章　図書制作モード

この章では動作モードの選択で「図書制作モード」を選択したときの使い方について説明します。「図書制作モード」では、「フレーズ編集」や「セクションレベル設定」などで本格的なＤＡＩＳＹ図書の制作ができます。

１１章１　図書制作モードとノーマルモードの違い

図書制作モードとノーマルモードでは、以下の項目で違いがあります。

項目	ノーマルモード	図書制作モード
［送りキー］ ［戻しキー］	工場出荷時の設定 ５秒移動	工場出荷時の設定 フレーズ移動
編集再生	できない	できる
再生方法の切り替え ［3キー］	できない	できる
アンドゥ［7キー］ リドゥ［9キー］	できない	できる （２０回まで）
［5キー］	現在、選択されている 移動単位をガイドする	メニューキー
録音方法の切り替え ［1キー］	できない （追加録音のみ）	できる （パンチイン、挿入）
上書き録音	できない	できる（録音ポーズ中）
録音モードの「朗読」	できない	できる
録音開始時の見出し設定	する	しない
フレーズの自動分割時間の設定	できない （固定：0.4 秒）	録音設定で設定 (0.2、0.4、0.6、0.8、1 秒)
見出し設定、ページ設定の場所	0.1 秒刻みで設定した位置	設定したフレーズ

項目	ノーマルモード	図書制作モード
フレーズの編集	できない	できる（コピー、貼り付け、切り取り、分割、結合）
グループ設定	できない	できる（録音中に［7キー］を押す）
セクションレベル設定	できない	できる

♪ポイント

●アンドゥは、一度ページ移動などをした後に、移動する前の場所に戻りたいときなどに使用します。リドゥは、アンドゥの取り消しになりますので、アンドゥで移動する前の場所に戻ります。

●ノーマルモードでは再生または停止中に［5キー］を押すと、現在の移動単位を音声ガイドしますが、図書制作モードでは「メニューキー」と同様にメニューに入ります。

●編集再生は1フレーズを再生して自動的に停止します。前後のフレーズに移動するには戻しキーまたは送りキーを押します。編集するときに場所を特定するときに便利です。

図書制作モードの設定

図書制作モードを設定する手順は、「動作モードの選択」139 ページを参照してください。

動作モードを切り替えると以下の設定値が自動的に変わります。

設定項目	ノーマル→図書制作	図書制作→ノーマル
録音方法	追加録音→挿入	挿入、パンチイン →追加録音
録音の音質	―	PCM ﾓﾉﾗﾙ→MP3 64k ﾓﾉﾗﾙ
録音モード	―	朗読→標準
再生設定	―	編集再生→通常再生

１１章２　再生

再生方法の切り替え

「図書制作モード」を選択すると［３キー］で「通常再生」と「編集再生」が切り替えられるようになります。

手順	音声ガイド
［３キー］を押します。 現在の再生方法が音声ガイドされます。	「通常再生」
続けて［３キー］を押します。続けて押すことで、設定した再生方法と「通常再生」を切り替えることができます。	「編集再生」

♪ポイント

●編集再生は図書制作モードでのみ設定できます。編集再生は１フレーズを再生して自動的に停止します。前後のフレーズに移動するには［戻しキー］または［送りキー］を押します。編集するときに場所を特定するときに便利です。

●動作モードを切り替えた直後は「通常再生」と「編集再生」が切り替えできますが、再生設定で「セクションリピート」など別の特殊再生を設定した場合は、「通常再生」とその設定した特殊再生とを切り替えることができます。

アンドゥ、リドゥ

アンドゥは、見出し、ページ、しおり、リドゥによる過去２０回の移動を戻ることができます。

リドゥは、アンドゥによる過去２０回までの移動を戻ることができます。

手順	音声ガイド
［７キー］を押します。	「アンドゥ」「～本文～」
［９キー］を押します。	「リドゥ」「～本文～」

１１章３　録音

図書制作モードでは、「挿入」と「パンチイン」の２種類の録音方法があります。いずれの録音方法でも自動的に見出しがつきません。また、録音開始位置も自動的に最後には移動しません。

録音モードの詳細

図書制作モードでは、「朗読」が追加され、各モードの詳細項目に「フレーズの自動分割」が追加されています。

詳細 / 録音モード	自動見出し設定	録音の自動停止時間	録音開始ﾀｲﾐﾝｸﾞ	入力音のﾉｲｽﾞ量*1	倍速録音設定	ﾌﾚｰｽﾞの自動分割
標準	しない	しない	録音キー操作時	標準(-28dB)	標準	0.4 秒
音楽	２秒	１分	録音キー操作時	少ない(-40dB)	標準	0.4 秒
テープ	４秒	１分	音声検知時	標準(-28dB)	標準	0.4 秒
ラジオ	しない	１分	音声検知時	標準(-28dB)	標準	0.4 秒
会議	しない	しない	録音キー操作時	多い(-20dB)	標準	0.4 秒
朗読	しない	しない	録音キー操作時	標準(-28dB)	標準	0.4 秒
カスタム	しない １秒 ２秒 ３秒 ４秒 ５秒	しない ３０秒 １分 ２分 ３分 ４分 ５分	録音キー操作時 音声検知時	標準 (-28dB) 多い (-20dB) 少ない (-40dB)	標準 倍速 *2	0.2 秒 0.4 秒 0.6 秒 0.8 秒 １秒

＊１：内蔵マイクの時は「多い」に自動的に設定されます。

＊２：音質でモノラルを選択したときに、「倍速」が選択できます。

音質と録音時間

図書制作モードでは選択できる音質にＰＣＭモノラルが追加されます。
録音時間は以下のとおりです。

メディアの種類 / 音質	CD-R/RW Type74 650MB	CD-R/RW Type80 700MB	CF カード 64MB	CF カード 128MB	CF カード 1GB
PCM モノラル (22.05kHz)	約 4 時間	約 4.3 時間	約 24 分	約 48 分	約 6.5 時間

録音方法の切り替え

手順	音声ガイド
［1キー］を押します。 現在の録音方法が音声ガイドされます。	「挿入録音」
続けて［1キー］を押します。 続けて押すことで、「挿入録音」「パンチイン録音」と順番に切り替えることができます。	「挿入録音」 「パンチイン」

♪ポイント

●録音方法は、録音できるメディアが選択されているときにのみ切り替えできます。

挿入録音

過去に録音した内容に「挿入」して新たに録音したいときに使用します。例えば音訳や対面朗読をした際に、読み忘れた１ページ分を後から原本のページ通りに録音することができます。
なお、より正確に挿入場所を指定する際には編集再生で操作すると便利です。
ここではメディアがカードで、外付けマイクを使用して録音する場合の操作方法について説明します。

手順	音声ガイド
［３キー］を押し、「編集再生」に設定します。挿入したい場所の直前のフレーズに移動しておきます。	－
外付けマイクを接続します。	「入力　外付けマイク」
［１キー］を押し、「挿入」を選択します。	「挿入」
［録音キー］を押します。	「カードに録音」 「音量確認」 「自動」
［録音キー］を押し、録音をします。	「～録音～」
［再生・停止キー］を押して、録音を停止します。	「♪♪」

♪ポイント
●挿入録音は、停止したフレーズとその次のフレーズの間に録音部分が挿入されます。
●既に録音されている先頭より前に録音するには、「先頭です」へ移動してから挿入録音を行います。また、既に録音されている最後より後ろに録音するには、「最後です」に移動してから挿入録音を行います。

パンチイン録音

間違えた録音内容の代わりに正しい録音を置き換えるときにパンチイン録音を使用します。なお、より正確にパンチイン録音の場所を指定するために編集再生で操作すると便利です。
ここでは、メディアが「カード」で、外付けマイクを使用して録音する場合の操作方法について説明します。

手順	音声ガイド
［3キー］を押し、「編集再生」に切り替え、置き換える部分の先頭のフレーズに移動します。	「編集再生」
外付けマイクを接続します。	「入力　外付けマイク」
［1キー］を押し、「パンチイン」を選択します。	「パンチイン」
［録音キー］を押します。	「パンチイン」 「先頭のフレーズを選択」 「～現在のフレーズ～」
［4キー］または［6キー］で置き換える部分の先頭のフレーズを選択し、［8キー］または［＃キー］を押します。	「～先頭フレーズ～」 「決定」「パンチイン」「最後のフレーズを選択」
［6キー］で置き換える部分の最後のフレーズを選択し、［8キー］または［＃キー］を押します。	「～最後のフレーズ～」 「決定」「カードに録音」 「音量確認」「自動」
［録音キー］を押し、録音をします。	ー
［再生・停止キー］を押し、録音を停止します。	「♪♪」

♪ポイント
●選択された先頭フレーズから最後のフレーズまでが、パンチイン録音したものに置き換えられます。

上書き録音（録音中に間違いを修正する）

録音中に間違えたフレーズを上書き録音して簡単に修正することができます。録音中に間違えた場合、録音ポーズをして、間違えたフレーズまで戻ってから録音を再開します。

上書き録音する場合の操作方法について説明します。

手順	音声ガイド
録音中、 「昔々、山へ　あっ　間違えた！」 と、間違えてしまいました。	―
［録音キー］を押します。 録音ポーズ状態となります。	「ポーズ」
［戻しキー］を数回押します。 間違えたフレーズ「山へ」を選択します。	「間違えた」 「あっ」 「山へ」
［録音キー］を押します。 正しく録音を開始します。「あるところに・・・」	「♪」

♪ポイント

●戻し過ぎた場合は、［送りキー］で進めることができます。

●再生されたフレーズ部分を含み、その後のフレーズが全て上書き録音されます。

●録音ポーズ中に［再生・停止キー］を押すと停止状態に戻り、上書き録音はできなくなります。その際はフレーズ切り取りで不要な部分を切り取り、その後、挿入録音で正しい内容を録音します。

⚠注意

●上書き録音中は、モニタのＯＮ・ＯＦＦはできません。

１１章４　編集

図書制作モードでは、ノーマルモードでの編集に加えてフレーズの編集とセクションレベル設定ができるようになります。

フレーズ切り取り

録音した内容で不要な音声をフレーズ単位で切り取るときに使用します。なお、誤ってフレーズ切り取りを行った場合は「直前編集取り消し」を行うことで元に戻すことができます。詳しくは「８章２　間違って操作した編集を元に戻す」101 ページを参照してください。

手順	音声ガイド
切り取る部分の先頭のフレーズを再生中に停止します。	_
［５キー］または［メニューキー］を押し、「編集」が選択されていますので、そのまま［８キー］または［＃キー］を押します。	「メニューを選択」「編集」「決定」
［４キー］または［６キー］で「フレーズ切り取り」を選択し、［８キー］または［＃キー］を押します。	「フレーズ切り取り」「決定」「先頭のフレーズを選択」「～現在のフレーズ～」
［４キー］または［６キー］で、先頭のフレーズを選択し、［８キー］または［＃キー］を押します。	「～先頭フレーズ～」「決定」「最後のフレーズを選択」
［６キー］で、最後のフレーズを選択し、［８キー］または［＃キー］を押します。	「～最後のフレーズ～」「決定」「フレーズ切り取りを実行しますか？」
［８キー］または［＃キー］を押します。	「決定」「実行しました」

⚠注意

●切り取られたフレーズの範囲内に、ページ、しおりが設定されていた場合、その設定も削除されます。見出し番号、ページ番号は、タイトルの先頭から振り直されます。

⚠注意
●フレーズ切り取りを行っても録音可能時間は増えません。なお、ＣＦカードの場合は「不要音声ファイル削除」を行うことで録音可能時間が増えることがあります。詳しくは、「不要音声ファイル削除」132 ページを参照してください。

フレーズコピー

録音した内容をコピーして別の場所にも同じ内容を貼り付けるときに使用します。

手順	音声ガイド
コピーしたい部分の先頭のフレーズを再生中に停止します。	―
［５キー］または［メニューキー］を押し、「編集」が選択されていますので、そのまま［８キー］または［＃キー］を押します。	「メニューを選択」「編集」「決定」
［４キー］または［６キー］で「フレーズコピー」を選択し、［８キー］または［＃キー］を押します。	「フレーズコピー」「決定」「先頭のフレーズを選択」
［４キー］または［６キー］で先頭のコピーする先頭のフレーズを選択し、［８キー］または［＃キー］を押します。	「～先頭のフレーズ～」「決定」「最後のフレーズを選択」
［４キー］または［６キー］でコピーする最後のフレーズを選択し、［８キー］または［＃キー］を押します。	「～最後のフレーズ～」「決定」「フレーズコピーを実行しますか？」
［８キー］または［＃キー］を押します。	「決定」「実行しました」

⚠注意
●選択したフレーズの音声と見出し情報がコピーされます。そのフレーズに設定されたページ、グループ、しおりなどはコピーされません。

フレーズ貼り付け

「フレーズ切り取り」「コピー」した内容を別の場所に貼り付けるときに使用します。

手順	音声ガイド
貼り付けたい場所の直後のフレーズで停止します。	―
［5キー］または［メニューキー］を押し、「編集」が選択されていますので、そのまま［8キー］または［＃キー］を押します。	「メニューを選択」「編集」「決定」
［4キー］または［6キー］で「フレーズ貼り付け」を選択し、［8キー］または［＃キー］を押します。	「フレーズ貼り付け」「決定」「貼り付け位置を選択」
［4キー］または［6キー］でフレーズを貼り付ける直後のフレーズを選択し、［8キー］または［＃キー］を押します。	「～直後のフレーズ～」「決定」「フレーズ貼り付けを実行しますか？」
［8キー］または［＃キー］を押します。	「決定」「実行しました」

♪ポイント

●貼り付け位置として選択されたフレーズの直前に貼り付けられます。

フレーズ分割

１つのフレーズを分割して２つのフレーズにすることができます。見出し名とその見出しの本文が１つのフレーズになったときなどに、見出し名と本文をそれぞれ別のフレーズにしたいときに使用します。

手順	音声ガイド
分割したいフレーズを再生中に停止します。	－
［５キー］または［メニューキー］を押し、「編集」が選択されていますので、そのまま［８キー］または［＃キー］を押します。	「メニューを選択」「編集」「決定」
［４キー］または［６キー］で「フレーズ分割」を選択し、［８キー］または［＃キー］を押します。	「フレーズ分割」「決定」「フレーズを選択」「～フレーズ～」
［８キー］または［＃キー］を押します。	「決定」「＃キーで分割位置を決定」「～フレーズ～」
分割したいフレーズが繰り返し再生されます。 分割したい位置で［＃キー］を押します。	「～フレーズ～」「決定」「フレーズ分割実行しますか？」「４または６キーで位置を微調整できます」「～フレーズ～」
［４キー］または［６キー］で、分割位置を微調整します。分割位置が決定したら、［＃キー］を押します。	「決定」「実行しました」

♪ポイント

●［４キー］または［６キー］で分割位置が前後０.１秒づつ移動します。
●フレーズ分割は、再生スピードを遅くすることで、より分割位置を決定しやすくなります。

フレーズ結合

見出し名が２つのフレーズに分かれてしまったときなどに使用します。

手順	音声ガイド
結合させたい２つのフレーズの前側のフレーズを再生中に停止します。	―
［５キー］または［メニューキー］を押し、「編集」が選択されていますので、そのまま［８キー］または［＃キー］を押します。	「メニューを選択」「編集」「決定」
［４キー］または［６キー］で「フレーズ結合」を選択し、［８キー］または［＃キー］を押します。	「フレーズ結合」「決定」「フレーズを選択」
［４キー］または［６キー］で、結合させたい２つのフレーズの前側のフレーズを選択し、［８キー］または［＃キー］を押します。	「～前側のフレーズ～」「決定」「フレーズ結合を実行しますか？」
［８キー］または［＃キー］を押します。	「決定」「実行しました」

♪ポイント

●フレーズ結合は、選択したフレーズと次のフレーズが結合されます。

●連続して録音されたフレーズのみ結合できます。編集（切り取り、貼り付け）によって移動後に連続したフレーズになった場合は結合できません。

グループ設定

録音中または、録音ポーズ中にグループ設定ができます。

手順	音声ガイド
録音中または録音ポーズ中に［7キー］を押します。	「グループ」

再生中または、停止中にグループ設定ができます。

手順	音声ガイド
グループを設定したいフレーズで停止します。	―
見出しキーを3回押します。マルチタイトルのときは4回押します。	「グループを設定しますか？」
［#キー］を押します。	「決定」 「実行しました」

再生中または、停止中にグループ設定を取り消すことができます。

手順	音声ガイド
グループ設定を取り消したいフレーズで停止します。	―
見出しキーを5回押します。マルチタイトルのときは6回押します。	「グループ設定を取り消しますか？」
［#キー］を押します。	「決定」 「実行しました」

♪ポイント

●録音ポーズ中にグループを付けた場合には、もう一度［7キー］を押すことで、グループの取り消しができます。

セクションレベル設定

見出しは全てレベル１で設定されています。見出しごとにレベルを設定すると、より検索性にすぐれたＤＡＩＳＹ図書になります。

手順	音声ガイド
［5キー］または［メニューキー］を押し、「編集」が選択されていますので、そのまま［8キー］または［＃キー］を押します。	「メニューを選択」「編集」「決定」
［4キー］または［6キー］で「セクションレベル設定」を選択し、［8キー］または［＃キー］を押します。	「セクションレベル設定」「決定」「４または６キーでセクションを選択して、２または８キーでレベルを選択」「レベル○」「見出し○」
［4キー］または［6キー］でレベル設定をするセクションを選択します。	「レベル○」「見出し○」
［2キー］または［8キー］で選択したセクションのレベルを設定します。	「～レベル～」
続けて［4キー］または［6キー］でセクションを選択し、［2キー］または［8キー］でレベルを設定することができます。設定が終了したら、［＃キー］を押します。	「決定」「セクションレベル設定を実行しますか？」
［＃キー］を押します。	「決定」「設定しました」

１２章　メニュー階層一覧

この章では、メニューの階層を一覧形式で紹介します。
メニューは、挿入されているメディア、接続されている機器などの条件により、選択できるメニューが変わります。

［メニューキー］を押すとメニューに入ります。もう一度［メニューキー］を押すとメニューから抜けます。メニューの選択は、［４キー］は左回り、［６キー］は右回りに押すたびに順番に選択でき、何回か押すと最初に戻ります。。選択したメニューや設定項目の決定は、［８キー］または［＃キー］を押すことで行います。なお、［＃キー］で決定したものは、途中でメニューを抜けても設定され記憶されます。（録音設定でモードを変更し、音質は変更せずにメニューを抜けた場合は、音質は変更されませんが、録音設定のモードは変更されます）
メニューを１つ前の選択状態に戻る場合は［２キー］または［＊キー］を押します。

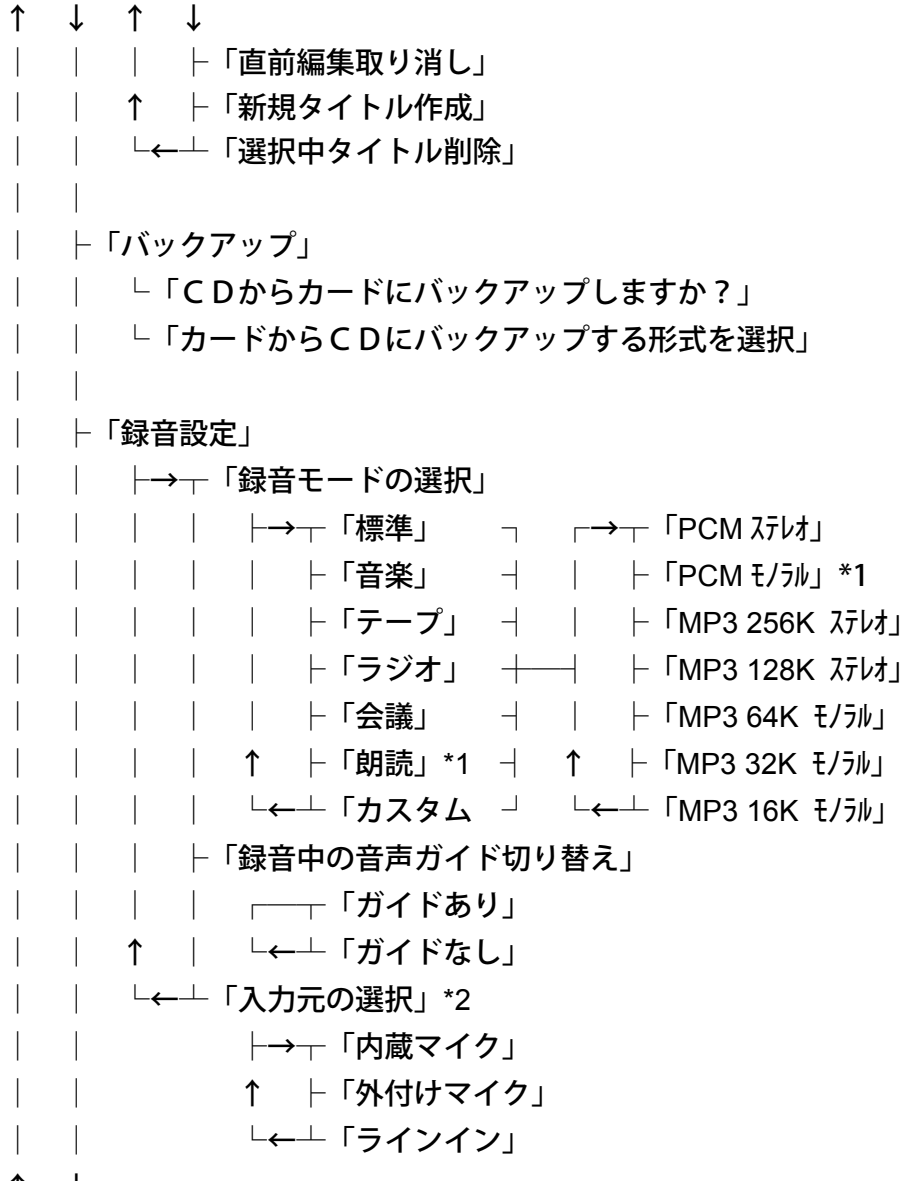
「メニューを選択」
├→┬「編集」
↑　↓　├→┬「録音編集情報の保存」
│　│　│　├「フレーズ切り取り」*1
│　│　│　├「フレーズコピー」*1
│　│　│　├「フレーズ貼り付け」*1
│　│　│　├「フレーズ分割」*1
│　│　│　├「フレーズ結合」*1
│　│　│　├「セクション切り取り」
│　│　│　├「セクションコピー」
│　│　│　├「セクション貼り付け」
│　│　│　├「セクション結合」
│　│　│　├「セクションレベル設定」*1
↑　↓　↑　↓

次のページに続く

┌ＣＤファイナライズ
↓　されたＣＤの場合
┌──┬「編集準備」
↑　├「新規タイトル作成」
└←┴「選択中タイトル削除」

*1：図書制作モードで追加されるメニュー

前のページからの続き



次のページに続く

*1：図書制作モードで追加されるメニュー

*2：外付けマイク、ラインインは接続されていないと選択できません。

前のページからの続き

↑　↓

```
|　├「再生設定」
|　|　├→┬「通常再生」
|　|　|　├「編集再生」*1
|　|　|　├「しおり区間リピート」
|　|　|　├「セクションリピート」
|　|　|　├「タイトルリピート」
|　|　↑　├「オールタイトルリピート」
|　|　└←┴「ランダムリピート」
|　|
|　├「しおり」
|　|　├→┬「音声しおり再生設定」
|　|　↑　├「選択中タイトルのしおりを削除」
|　|　└←┴「全てのしおりを削除」
|　|
|　├「ＯＮタイマー」
|　|　　「タイマーを選択」
|　|
|　├「メモ録」
|　|　　「録音キーでメモ録開始」「４または６キーでメモ録を選択」
|　|　　［情報キー］　：「日付設定」
|　|　　［見出しキー］：「お知らせ機能を切り替え」
|　|　　［ページキー］：「削除するメモ録を選択」
|　|　　［しおりキー］：「ＤＡＩＳＹ形式で保存」
```

↑　↓

次のページに続く

*1：図書制作モードで追加されるメニュー

前のページからの続き

↑　↓
│　├「計算機」
│　│　　＋　足す　：［情報キー］
│　│　　―　引く　：［見出しキー］
│　│　　Ｘ　掛ける：［ページキー］
│　│　　÷　割る　：［しおりキー］
│　│
│　├「メディア管理」
│　│　├→┬「メディア情報」
│　│　│　├「ＣＤファイナライズ」
│　│　│　├「ＣＤ－ＲＷ内容全消去」
│　│　│　├「カード内容全消去」
│　│　↑　├「ＣＤの保存情報を検索」
│　│　└←┴「不要音声ファイル削除」
│　│
↑　├「管理」
└←┘　├→┬「設定を初期化」
　　　│　├「プレクストークの情報」
　　　│　├「待ち受け音の選択」
　　　│　├「時刻ガイドの切り替え」
　　　│　├「メモリ配分の選択」
　　　│　├「グループ移動方法の選択」
　　　│　├「送り・戻し移動方法の選択」
　　　↑　├「動作モードの選択」
　　　└←┴「ＵＳＢ動作の切り替え」

１３章　プレクストークレコーディングソフトウェアを使いましょう

付属のレコーディングソフトウェア（PLEXTALK Recording Software　以下：ＰＲＳ）は、プレクストークポータブルレコーダーで作成した図書を、パソコン上で高度な編集を行うためのパソコン用ソフトウェアです。
ＰＲＳをインストールする際には、プレクストークポータブルレコーダーがＣＤドライブとしてパソコンに接続されている必要があります。パソコンとプレクストークポータブルレコーダーの接続方法の詳細に関しては、「９章　８　ＣＤドライブ／カードドライブとして使用する」141 ページをご参照ください。
ＰＲＳのインストール用データは、付属の「取扱説明書ＤＡＩＳＹ版」の中に入っています。

インストールする

手順
ご利用のパソコンとプレクストークを付属のＵＳＢケーブルで接続します。
パソコンとプレクストークの電源を入れます。
付属の「取扱説明書ＤＡＩＳＹ版」を本機に挿入します。
ここからはパソコン上でのインストール作業です。 マイコンピュータまたは、エクスプローラを利用して「取扱説明書ＤＡＩＳＹ版」の「PRS」フォルダ内の「Readme.txt」に記述されているインストール方法をよくお読みになり、インストールを行ってください。

ＰＲＳの使い方

インストールが終了するとスタートアイコンからプログラム、プレクストークレコーディングソフトウェア、ヘルプと選択するとＰＲＳのマニュアルが

ｈｔｍｌ形式で確認することができます。そちらを参照してください。

１４章　用語解説

本書で使われている専門的な用語について説明します。

用語	解説
ＣＤ－ＤＡ	ＣＤ－ＤＡ(CD-Digital Audio)は、オーディオ機器で再生される音楽ＣＤのことです。
ＣＤ－Ｒ	ＣＤ－Ｒ(Compact Disc-Recordable)は、書き込み可能なＣＤのことです。ＣＤ－Ｒには、一度だけデータを書き込むことができます。書き込まれたデータは消去したり、修正したりすることはできません。しかし、マルチセッションと呼ばれる方法により、残り容量があれば最大９９回まで追記できます。
ＣＤ－ＲＷ	ＣＤ－ＲＷ(Compact Disc-ReWritable)は、書き込み・消去が可能なＣＤのことです。ＣＤ－ＲＷには、約１０００回の書き込み及び消去を行うことができます。
ＣＤファイナライズ	本機以外のＤＡＩＳＹ図書再生機や、ＰＣのＣＤ－ＲＯＭドライブから参照できるようにするための処理です。ＣＤファイナライズ処理を行うことで、ＤＡＩＳＹフォーマットファイルが生成されるとともに、セッションクローズ処理が行われます。この処理を行っていないＣＤメディアは本機以外のＤＡＩＳＹ図書再生機では再生できません。

用語	解説
ＤＡＩＳＹ図書	ＤＡＩＳＹ(Digital Accessible Information SYstem)は、視覚障害者や普通の印刷物を読むことが困難な人々のためにカセットに代わるデジタル録音図書の国際標準規格として、12 カ国の正規会員団体で構成するデイジーコンソーシアム（本部スイス）により開発と維持が行なわれている情報システムを表しています。ＤＡＩＳＹ図書は、音声情報が見出しで区切られ、その見出しを階層的に組むことができます。例えば、いちばん大きな章をレベル１、その下の節はレベル２となります。また、ページ数の情報なども埋め込むことができますので、検索性に優れています。
ｄＢ(デシベル)	音の強さを表わす単位です。
ＭＰ３	「MPEG Audio Layer-３」の略称で、高圧縮率で高品質なサウンドデータ圧縮技術、もしくはそれを使って圧縮されたサウンドデータのことです。 ＣＤ品質のデジタルサウンドデータ（４４.１KHz、１６bit、ステレオ）は、無圧縮だと１分あたり約１０MB のサイズになりますが、ＭＰ３ではこれを約１０分の１（約１MB）に圧縮することができます。
ＣＦカード	Compact Flash Association に準拠したカードのことです。本書ではコンパクトフラッシュカード（TypeⅠ・TypeⅡ）およびマイクロドライブを総称してＣＦカードと呼んでいます。持ち歩きながら使用されるような場合には、耐久性に優れるコンパクトフラッシュカードをご利用ください。マイクロドライブは、振動や衝撃に弱いため、据え置きでご利用ください。

用語	解説
ＳＣＭＳ	本機は、ＳＣＭＳ(シリアルコピーマネージメントシステム)の規格に準拠しています。この規格は、各種デジタルオーディオ機器の間で「デジタル信号をそのまま録音すること(コピー)」を「１世代まで」と規制したものです。以下のような原則があります。 ＜原則＞「ＣＤ、ＭＤなど市販のデジタル音楽ソフト」や「アナログレコードやＦＭ放送などをデジタル録音したもの」のコピーはできますが、コピーのコピーはできません。 本機では、デジタル録音の際に、常にこのＳＣＭＳのステータスをトラック毎に確認しています。デジタル録音やコピーが禁止されているトラックは、コピーができません。
ＵＳＢ	ＵＳＢ(Universal Serial Bus)は、周辺装置を接続するためのパソコン向けインターフェース仕様の１つです。従来、別々だったマウスやキーボード、プリンタ、モデム、スピーカ、などの共通化を狙ったものです。
アンドゥ	図書制作モードで動作します。 移動する前の再生場所に戻す場合に使用します。本機では、［見出しキー］、［ページキー］、［しおりキー］、リドゥ(［９キー］)や［２キー］・［８キー］・［４キー］・［６キー］によるレベルでの移動の過去２０回までを、元に戻すことができます。

用語	解説
音楽用ＣＤ－Ｒ／ＲＷ	音楽用ＣＤ－Ｒ／ＲＷには、そのメディアがオーディオ用であることを識別するための「オーディオ用アプリケーションコード」がブランクＣＤに記録されています。こうした識別コードによって、音楽用ＣＤ－Ｒ／ＲＷとデータ用ＣＤ－Ｒ／ＲＷは区別されます。本機では、音楽用ＣＤ－Ｒ／ＲＷには、音楽ＣＤ形式またはＤＡＩＳＹ形式で録音できます。
グループ	グループとは、セクション内に付ける区切りのことです。グループのレベルでの移動は、「グループの移動方法の選択」により、「見出しとグループ」に移動と「グループのみ」に移動の設定ができます。
セクション	ＤＡＩＳＹ図書の章、節、項などで分けられた録音内容を本書ではセクションと表現しています。
セクションの自動分割	設定した秒数以上の無音が続いたときに自動でセクションを分割します。この機能を使用しないときは「しない」を設定します。
セッションクローズ	データエリアの前後にリードイン、リードアウトエリアを書き込む処理のことです。
タイトル	タイトルとは、録音図書自身のことであり、１つの器のようなものです。このタイトルという器の中に、音声データや、見出し情報等が入っています。
パンチイン録音	不要な録音内容をフレーズ単位で選択して、その置き換えで録音をその場所にしたいときに使用します。

用語	解説
倍速録音設定	倍速再生できるテーププレーヤなどの録音をする場合は、「倍速」に設定することで倍速で録音することができます。
ビットレート	データ転送の速度を表わす単位で、１秒間に送ることのできるデータ量（ビット）を示す数値が大きいほど転送できるデータ量も大きくなります。本機の録音設定では１２８Kbps、６４Kbps、３２Kbps、１６Kbps が選択でき、値が大きいものほど高音質で録音することができますが、録音できる時間は少なくなります。
プレイリスト(*.m３u)	プレイリストは、ファイルの拡張子名を″ｍ３ｕ（エム　スリー　ユー　小文字のエム、小文字の数字の３、小文字のユー）″とし、音声ファイル名を再生したい順番に１行ずつ区切って記述したものです。
フレーズ	入力される音声には有音部分と無音部分があります。本機が無音と判断した音が設定した長さ以上続き、その後に、無音から有音になったときに、そこから自動で新しくフレーズを作成します。つまり、息継ぎから次の息継ぎまでのひとかたまりの音声を１つの「フレーズ」と呼んでいます。
フレーズの自動分割	設定した秒数以上の無音が続いたときに自動でフレーズを分割します。フレーズを分割しないという設定はできません。
マルチタイトル	１枚のＣＤの中に複数のタイトルが収録されている録音図書。
マルチボリュームＣＤ	１つの図書が複数のＣＤに録音されているＤＡＩＳＹ図書ＣＤです。見出し、ページ、しおりなどＣＤをまたいで移動ができます。
メディア	本機で扱えるメディアは、ＣＤ、ＣＦカードです。 ［２キー］または［８キー］で「メディア」を選択し、［４キー］または［６キー］でメディアを選択します。

用語	解説
メニュー	［メニューキー］を押すことにより、機能を選択するメニューに入ります。メニューには、「編集」「バックアップ」「録音設定」「再生設定」「しおり」「ＯＮタイマー」「メモ録」「計算機」「メディア管理」「管理」があります。メニューの詳細は、「１２章　メニュー階層一覧」176 ページを参照してください。
ラインイン	音響機器（カセットテーププレーヤ、ＣＤプレーヤなど）からの録音をする時に接続します。
リドゥ	図書制作モードで動作します。 アンドゥで取り消した操作を元に戻す場合に使用します。 プレクストークでは、［7キー］(アンドゥキー)を使った過去２０回までの移動を、元に戻すことができます。
レベル	通常、本はいくつかの章から成り立っています。また、それぞれの章の下には節、そして節の下には項があります。章がレベル１に相当し、節はレベル２、項はレベル３・・というように、本を検索していく際の単位をレベルと表しています。 レベル１ １章 レベル２ １章１節 １章２節 レベル３ １章１節１項 １章１節２項 １章２節１項・・ 本機での録音編集では、レベルを１～６までの範囲で設定することができます。

用語	解説
外付けマイク（コンデンサマイク、ダイナミックマイク）	市販の外付けマイクを接続し録音することができます。 目的にあった外付けマイクをご使用ください。朗読録音には、ダイナミックマイクを使用してください。会議、講習会、授業などの録音には、プラグインパワー対応のコンデンサマイクを使用してください。 ダイナミックマイクとコンデンサマイクは、音質に違いがあります。コンデンサマイクは構造上、ダイナミックマイクでは再現が難しい高域特性に優れています。但し「高価」「振動や湿気に弱く取扱に注意が必要」などのデメリットがあります。
見出し	セクションの一番先頭のフレーズと、セクションが変わる位置を本書では見出しと表現しています。例えば取扱説明書ＤＡＩＳＹ版の「１章はじめに」のフレーズ自体と、始まる位置を見出しと呼びます。
ページ合計	選択されているタイトルのページの合計です。
挿入録音	フレーズの間に挿入の録音ができます。挿入録音したいフレーズ間の直前のフレーズで停止し、録音をします。
著作権情報	「ＳＣＭＳ」と「録音録画保証金制度」の著作権保護のための情報です。「著作権情報なし」、「著作権情報マスター」、「著作権情報コピー」、「著作権情報ＤＡＩＳＹ」の４種類の情報をもとにバックアップでの動作を規制しています。
特殊ページ	特殊ページは、図書の途中や最後に付けられた特別なページのことです。図表や付録などに付けられます。［ページキー］による番号での移動はできませんが［２キー］または［８キー］でページを選択し、［４キー］または［６キー］での移動ができます。

用語	解説
入力音のノイズ量	入力される音に対して、それ以外のノイズの量を選択します。例えばテープから音を入力する場合ですとヒスノイズがノイズの対象となります。家庭で録音する場合は「標準」を、スタジオなどで録音する場合は「少ない」を選択してください。
編集準備	一度、ＣＤファイナライズを行ったＣＤに、追加で編集や録音をしたいときに使用します。
前付けページ	前付けページは、図書の最初に本文の前に付けられたページのことです。［ページキー］による番号での移動はできませんが［２キー］または［８キー］で「ページ」を選択し、［４キー］または［６キー］での移動ができます。
録音開始タイミング	「音声検知時」と「録音キー操作時」から選択できます。「音声検知時」は［録音キー］を押しても、録音はすぐには開始されません。音声を検知したときに録音を開始します。「録音キー操作時」は［録音キー］を押した時点で録音が開始されます。
自動音量調整	録音音量を自動的に調整します。レベルが低い場合は 6dB レベルを上げ、レベルが高い場合には、-3dB 以下に抑えます。
録音の自動停止	設定した時間以上の無音が続いた場合、録音を自動的に停止します。
WAVE ファイル	Windows 標準の音声フォーマット。 PCM(Pulse Code Modulation)形式の場合、音声圧縮は行わずに、元の音を細かい時間に分けて記録していく方式のため、ファイルサイズは大きくなりますが、原音に近い音を保持できます。

ＣＤ－Ｒ／ＲＷドライブに関する用語解説

用語	解説	
ＣＤ－Ｒ／ＲＷドライブ	パソコンにより、CD-R に書き込み、CD-RW に書き込み・消去ができるドライブです。ライティングソフトを使用し音楽 CD を作成したり、CD-RW では、不要なデータを消去し、必要なデータを順次効率的に書き込むことができます。	
ＣＤフォーマット	CD-ROM Mode１	一般にデータの保存に適したフォーマットです。
	Mix Mode CD	第１トラックにデータトラックを、第２トラック以降にオーディオトラックを１セットで記録するフォーマットです。
	CD-ROM XA Mode２	マルチメディアに適したフォーマットで、音声、画像とデータの連動性を強化しています。
	Video CD	パソコンだけでなく、対応の DVD プレーヤ、対応ゲーム機、対応 LD プレーヤで再生できます。
	CD Extra	第１セッション目を音楽トラックに、第２セッション目を XA Mode２のデータトラックとして記録するフォーマットです。CD-Plus(CD プラス)、Enhanced CD(エンハンスド CD)とも呼ばれます。
	CD TEXT	音楽用の CD にアルバムタイトルや曲名などの文字情報を入れる規格です。半角文字で約６０００文字が格納できます。また、各国対応も配慮されており、前記範囲内であれば最大８カ国語の登録ができます。

用語	解説	
書き込み方式	ﾃﾞｨｽｸｱｯﾄﾜﾝｽ	１枚のＣＤ－Ｒ／ＲＷに対し１回の書き込みでデータの記録を完了する方式です。
	ﾄﾗｯｸｱｯﾄﾜﾝｽ	１枚のＣＤ－Ｒ／ＲＷに対し追記可能な方式です。空き容量が残っている限り、最大９９回までの追記ができます。
	ｾｯｼｮﾝｱｯﾄﾜﾝｽ	セッションの始めから終わりまで一気に記録する方式です。対応したライティングソフトが必要です。
	ﾊﾟｹｯﾄﾗｲﾄ	パケット単位で書き込む方式です。書き込み方式はシーケンシャルライトとランダムライト(ＣＤ－ＲＷのみ)があり、バッファーアンダーランが起きにくいという利点があります。
	ﾏﾙﾁｾｯｼｮﾝ	トラックアットワンスで何度も追記したＣＤ－Ｒ／ＲＷを「マルチセッションディスク」と呼び、１セッションしか書き込みがないＣＤ－Ｒ／ＲＷを「シングルセッションディスク」と呼びます。
消去方式 (CD-RW のみ)	完全消去	メディアの記録面を全て消去します。
	高速消去	完全消去よりも時間を短縮して消去します。

１５章　主な仕様、オプション

１５章１　主な仕様、主な機能

項目	仕様
ローディング方式	スロットイン
対応ＣＤ	１２ｃｍ　ＣＤ/ＣＤ－R/ＲＷ（円形のみ）*1
再生可能 フォーマット	DAISY2.02、DAISY2.0 規格準拠の図書、 CD-DA、MP3、WAVE、オッグボービス
録音方式	ＤＡＩＳＹ２．０２、ＣＤ－ＤＡ
録音時間 (700MB CD-R/RW)	ＤＡＩＳＹ　最大９０時間　(MP3 ﾓﾉﾗﾙ 16kbps)
	ＣＤ－ＤＡ　最大８０分
音声入出力	ヘッドホン出力端子(ステレオ)、ライン入力端子(ステレオ)、外付けマイク入力端子(ステレオ)、内蔵マイク(モノラル)、内蔵スピーカ(モノラル)
外部インターフェース	ＵＳＢ１．１　ＴｙｐｅＢ
ＣＦカード挿入口	Compact Flash Association に準拠したカード
時計精度	月差　±約６０秒
電源アダプタ	ＡＣ１００Ｖ～２４０Ｖ　５０/６０Hz
寸法、重量	幅 167mm、奥行き 205mm、厚さ 50mm（突起部含む） 約 930g(バッテリー含む)
消費電力(最大)	２０Ｗ　ＡＣ電源１００Ｖ
動作温度	５℃～４０℃　ただし結露しないこと

⚠注意　＊１　円形のＣＤのみ対応。名刺型などの異形のＣＤや、8cmＣＤは故障の原因になりますので使用しないでください。

オーディオ特性

項目	特性	
ヘッドホン出力端子（ライン出力）	適合インピーダンス	３２Ω不平衡
	ジャック	直径３．５mmｽﾃﾚｵﾐﾆｼﾞｬｯｸ
外付けマイク入力端子	入力インピーダンス	２．２ｋΩ不平衡
	ジャック	直径３．５mmｽﾃﾚｵﾐﾆｼﾞｬｯｸ
ライン入力端子	入力インピーダンス	２０ｋΩ不平衡
	ジャック	直径３．５mmｽﾃﾚｵﾐﾆｼﾞｬｯｸ
内蔵スピーカ	出力インピーダンス	８Ω
	出力	１５０mW
内蔵マイク	方式	コンデンサマイク
録音音量ＬＥＤ	「小さい」(1 つ点灯)	－２５ｄＢ（アンダーレベル）
	「良い」 (2 つ点灯)	－１２ｄＢ（適正レベル）
	「大きい」(3 つ点灯)	－３ｄＢ（オーバーレベル）

主な機能

項目	仕様		
音声ガイド	操作を音声や音でガイド キー説明（キーロック時に各キーを押し続ける） メニュー説明（メニュー選択時に［5キー］を押し続ける）		
検索機能	見出し、ページ、時間、しおり、グループ アルバム、トラック、ファイル		
音量・ガイド音量・録音音量	0～20		
再生スピード調整	11段階　－2、－1、標準、＋1、～＋8 －2が0．5倍速、＋4が2倍速、＋8が3倍速		
トーン調整	13段階　－6～－1、標準、＋1～＋6		
録音 (Type80（700MB） CD-R/RW の場合)	音楽CD形式		約 80 分
	DAISY 形式	PCM ｽﾃﾚｵ	約 65 分
		PCM ﾓﾉﾗﾙ	約 4.3 時間
		MP3 ｽﾃﾚｵ 256kbps	約 6 時間
		MP3 ｽﾃﾚｵ 128kbps	約 11 時間
		MP3 ﾓﾉﾗﾙ 64kbps	約 22 時間
		MP3 ﾓﾉﾗﾙ 32kbps	約 45 時間
		MP3 ﾓﾉﾗﾙ 16kbps	約 90 時間
メモリ機能	しおり、音声しおり		合計10000個
	メモ録、音声しおりの録音時間		合計約30分
計算機	四則演算		

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります、ご了承ください。

バッテリー

項目	仕様			
型番	０１３-６５４２９０２			
容量	２２００ｍＡｈ			
充電時間	最大約５時間			
使用時間	ＤＡＩＳＹ形式	ＣＤ	録音	約２.５時間
			再生	約６時間
		コンパクトフラッシュ	録音	約８時間
			再生	約８時間
		マイクロドライブ	録音	約７時間
			再生	約７時間
	音楽ＣＤ形式	ＣＤ	録音	約２.５時間
			再生	約４時間
使用電池	リチウムイオンバッテリー			
外形寸法	７５ｍｍｘ４０ｍｍｘ２０．３ｍｍ（突起部含む）			

⚠注意

●充電時間、使用時間は、周囲の温度や使用条件によって異なります。

●仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

ＣＤドライブ仕様

付属のＵＳＢケーブルでパソコンと接続したときのＣＤドライブ動作時の仕様です。

項目	仕様
リード ＣＤ	ＣＤ－Ａｕｄｉｏ ＣＤ－ＲＯＭ (Mode1 and Mode2) ＣＤ－ＲＯＭ ＸＡ (Mode2,Form1/2) ＣＤ－ｉ ＣＤ－Ｒ,ＣＤ－ＲＷ Ｐｈｏｔｏ ＣＤ Ｖｉｄｅｏ ＣＤ ＣＤ－ＴＥＸＴ
書き込み モード	ディスクアットワンス
	セッションアットワンス
	トラックアットワンス
	パケットライト (Fixed / Variable)
	マルチセッション
記録 CD-R/RW	直径１２cm、Type７４、Type８０

⚠注意

●円形のＣＤのみ対応。名刺型などの異形のＣＤや、8cmＣＤは故障の原因になりますので使用しないでください。

項目	仕様	
駆動性能	リードスピード	４倍速以上の CLV または CAV
	ライトスピード	４倍速以上の CLV または CAV
	リライトスピード	４倍速以上の CLV または CAV
	最大バスデータ転送速度	１２Mbps(USB１.１)
ＣＤ－Ｒ／ＲＷメディア	ＣＤ－Ｒ（データ用）	
	ＣＤ－Ｒ（オーディオ用）	
	ＣＤ－ＲＷ　High Speed	
	ＣＤ－ＲＷ　Multi Speed	
動作可能環境	ＯＳ	Windows98SE/Me/2000/XP/Vista/7
	ＣＰＵ	Celeron400MHｚ以上
	メモリ	128MB 以上
	インターフェース	USB１.１
	ＨＤＤ	２GB の空き容量

⚠注意

●仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

カードドライブ仕様

項目	仕様	
カードスロット	Compact Flash Association に準拠したカード Type Ⅰ　Type Ⅱ	
推奨 CF カード	「弊社オプション品ＣＦカード」　199 ページ参照	
動作可能環境	ＯＳ	Windows Me/2000/XP/Vista/7
	ＣＰＵ	Celeron400MHｚ以上
	メモリ	128MB 以上
	インターフェース	USB１.１
	ＨＤＤ	２GB の空き容量

⚠注意

●カードドライブは、Windows98SE では使用できません。

１５章２　オプション、推奨品

朗読録音用 動作確認済マイク

市販のダイナミックマイク（直径 3.5mm ミニジャック）を使用してください。　2010 年 4 月現在の情報です。

メーカー	型番
ＳＨＵＲＥ（シュア）	SM58
ＳＯＮＹ	F-V620、F-V420

会議、講習会、授業用 動作確認済マイク

プラグインパワー（本機から電源を供給する）方式のコンデンサマイクを使用してください。　2010 年 4 月現在の情報です。

メーカー	型番
オーディオテクニカ	AT9841、AT9440、AT9920、AT9820X
ＳＯＮＹ	ECM-DS30P

⚠注意

●コンデンサーマイクを使用される場合には、必ずプラグインパワー対応のマイクをご使用ください。プラグインパワーに対応していないマイクを接続したり、誤った方法で使用された場合、マイクや本機が破損する恐れがあります。マイクに付属する取扱説明書等をよくお読みになり、プラグインパワーで使用する際の注意事項をご確認のうえ、ご使用ください。

弊社オプション品ＣＦカード

ご購入の際は、プレクストークお問い合わせ窓口にご連絡ください。

下記一覧表は 2010 年 4 月現在の情報です。

●コンパクトフラッシュカード

型番	容量
OPT-012-9959	256MB
OPT-012-9960	512MB
OPT-012-9961	1GB
OPT-012-9962	2GB
OPT-012-9963	4GB
OPT-012-9964	8GB

動作確認済ＣＦカード

下記一覧表は 2009 年 12 月現在の情報です。弊社ホームページまたはお問い合わせ窓口で最新情報をご確認ください。

●コンパクトフラッシュカード

メーカー	型番（容量）
アイオーデータ	CF115-256M（256MB），CF115-512M（512MB），CF115-1G（1GB），CF115-2G（2GB），CF115-4G（4GB）
サンディスク	SDCFB-256-J60(256MB)，SDCFB-512-J60(512MB），SDCFB-1024-J60（1GB），SDCFB-2048-J60（2GB），SDCFB-4096-J60（4GB），SDCFH-1024-903（1GB），SDCFH-2048-903(2GB), SDCFH-002G-J61A(2GB), SDCFHG-004G-J95(4GB), SDCFHG-008G-J95(8GB), SDCFX3-1024-903(1GB), SDCFX4-4096-J45(4GB)
トランセンド	TS128MCF80（128MB），TS256MCF80（256MB），TS512MCF80（512MB），TS1GCF80（1GB），TS2GCF120（2GB），TS4GCF120（4GB），TS1GCF133（1GB），TS2GCF133（2GB），TS4GCF133（4GB），TS8GCF133（8GB），TS2GCF266（2GB），TS4GCF266（4GB），TS8GCF266（8GB）
ハギワラシスコム	HPC-CF1GV（1GB）

バッファロー	RCF-X128MY（128MB），RCF-X256MY（256MB），RCF-X512MY（512MB），RCF-G1G（1GB），RCF-R2G（2GB）
レキサー	CF1GB-80-666（1GB），CF2GB-80-666（2GB），CF4GB-80-810(4GB)，LCF2GBDRBJP233(2GB)，LCF4GBDRBJP233(4GB), LCF8GBDRBJP233(8GB), LCF4GBERBJP300(4GB)

●マイクロドライブ

メーカー	型番（容量）
アイオーデータ	CFMD-2G(2GB) (生産終了), CFMD-4G(4GB) (生産終了), CFMD-6G(6GB) (生産終了)
バッファロー	RMD-2G(2GB)(生産終了), RMD-4G(4GB)(生産終了), RMD-6G(6GB) (生産終了)

⚠注意

●本書ではコンパクトフラッシュカード（Type Ⅰ、Type Ⅱ）およびマイクロドライブを総称してＣＦカードと呼んでいます。持ち歩きながら使用されるような場合には、耐久性に優れるコンパクトフラッシュカードをご利用ください。マイクロドライブは、振動や衝撃に弱いため、据え置きでご利用ください。

●動作確認について

市販製品は予告無く仕様が変更される場合があり、そのために弊社製品で使用できなくなる場合があります。このような事情から、弊社では動作確認済みの製品に対する動作を保証するものではありません。

●他社製品との相性について

他社製品と本製品との相性により、正常に動作しない場合があります。動作確認済み製品も含め、他社製品との相性による不具合に対する保証は、弊社ではお受けできませんので、あらかじめご了承ください。

●プレクストークＰＴＲ１とＰＴＲ２での動作確認済みＣＦカードは異なる場合がありますので、ご注意ください。

推奨するＣＤ

2009 年 12 月現在の情報です。

用途	メディアの種類		メーカー
ＤＡＩＳＹ録音	データ用	ＣＤ－Ｒ	太陽誘電、TDK、マクセル
		ＣＤ－ＲＷ*1	三菱化学、リコー
音楽録音	音楽用	ＣＤ－Ｒ	太陽誘電、TDK、マクセル
		ＣＤ－ＲＷ	TDK、マクセル

*1：三菱化学は Multi Speed、High Speed を推奨します。
　　リコーは High Speed を推奨します。

⚠注意

●ＣＤ－Ｒの場合は「原産地：日本」という表記があるものを推奨します。

●パケットライトフォーマット済みのＣＤ－ＲＷは、そのままでは使用できません。ＣＤ－ＲＷの全消去を実行してください。詳しくは、「ＣＤ-ＲＷ内容全消去」129 ページを参照してください。

１６章　故障かなと思ったら

１６章１　症状、音声ガイドと対応のしかた

症状と対応のしかた

症状	原因	対応のしかた
［電源スイッチ］をＯＮにしても、電源が入らない。	電源コードが接続されていない。	電源プラグをコンセント、電源アダプタにしっかりと差し込み直してください。
	電源アダプタが接続されていない。	
	［キーロック］が ON になっている。	［キーロック］を OFF にしてください。
［電源スイッチ］をＯＦＦにしても電源が切れない。	［キーロック］が ON になっている。	［キーロック］を OFF にしてください。
	不明です。	［電源スイッチ］を、１０秒以上ＯＦＦの位置にし続けてください。それでもまだ電源が切れない場合は、電源アダプタとバッテリーを取り外し、もう一度取り付けてください。
		ＬＥＤの点滅を確認し、プレクストークお問い合わせ窓口に連絡してください。
ＣＤを入れることができない。	電源が入っていない。	［電源スイッチ］をＯＮにしてＣＤを入れてください。
	既にＣＤが入っている。	ＣＤを取り出ししてください。

症状	原因	対応のしかた
ＣＤを取り出すことができない。	電源が入っていない。	電源が入っているか、確実に接続されているか確認してください。
	ＣＤが出にくい状態にある。	取り出しキーを押し続けてください。 取り出しキーを押しながら電源を入れてください。
再生できない。	記録面を下にしていない。	ＣＤの裏表を確認して入れ直してください。
	書き込み途中で失敗したＣＤが挿入された	音声ガイドに従い、ＣＤの修復をしてください。既にファイナライズされた図書はこの修復で再生できます。新規タイトル作成で録音ができます。
同じ場所が繰り返し再生される	再生設定でリピート再生に設定されている	［３キー］で通常再生に切り替えるか、再生設定を通常再生に設定します。
音声ガイドがでない。	音声ガイドの音量が「０」になっている	［情報キー］を押しながら［音量キー］の上側を押し、音声ガイドが聞こえるようにしてください。
	録音中の音声ガイドがＯＦＦになっている	録音中ガイド設定をＯＮにしてください。
録音できない。	入力の選択が違っている	入力方法を確認し、入力の設定を正しく行ってください。

症状	原因	対応のしかた
録音音量が調節できない。	録音設定の入力元の設定が違う	ラインイン、外付けマイクの接続を確認し、録音設定の入力元の設定を合わせてください。
	入力が内蔵マイクに設定されている	内蔵マイクは自動音量調整です。録音音量の調整は不要です。

音声ガイドと対応のしかた(DAISY 形式　再生)

音声ガイド	原因	対応のしかた
「再生できないＣＤです」	記録面を下にしていない。	ＣＤの裏表を確認して入れ直してください。
	再生できないＣＤが挿入された	ＤＡＩＳＹ形式のＣＤ、音楽ＣＤ、音声ファイルＣＤを挿入してください。
	書き込み途中で失敗したＣＤが挿入された	「ＣＤの保存情報を検索」を実行してください。
「再生できないカードです」	ＣＦカードがフォーマットされていない。	メニューの「メディア管理」から、「カード内容全消去」を行ない録音してください。
		バックアップしてから再生してください。
「ページがありません」	指定したページがないＤＡＩＳＹ図書です。	ＤＡＩＳＹ図書にあるページを指定してください。
		［２キー］または［８キー］でページを選択し、［４キー］または［６キー］で移動してください。

音声ガイド	原因	対応のしかた
「タイトルがありません」	指定した番号のタイトルがない。	［見出しキー］を押し続けて、タイトルの情報を確認して移動してください。
		［２キー］または［８キー］でタイトルを選択し、［４キー］または［６キー］で移動してください。
「しおりがありません」	しおりがない。	しおりで移動したい場合は、しおりを作成してください。
「先頭（最後）には設定できません。	先頭（最後）にはしおりは設定できません	少し再生した位置（最後からは少し戻した位置）にしおりを設定してください。
「図書がありません」	タイトルが収録されていないＣＤです。	新しく図書を録音してください。
「見出しがありません」	指定した番号の見出しがない。	［見出しキー］を押し続けて、見出しの情報を確認して移動してください。
		［２キー］または［８キー］でレベル１～６のどれかを選択し、［４キー］または［６キー］で移動してください。
「読み込みエラーです」「４または６キーでタイトルを切り替え」	再生できないタイトルです。	［４キー］または［６キー］でタイトルを切り替えてください。

音声ガイドと対応のしかた（音楽ＣＤ、音声ファイル　再生）

音声ガイド	原因	対応のしかた
「トラックがありません」	指定した番号のトラックがない。	トラック数を確認して指定してください。
「アルバムがありません」	アルバムが１つの音声ファイルＣＤです。	アルバム数を確認して指定してください。
「ファイルがありません」	ファイルがないアルバムです。	ファイルのあるアルバムを選択してください。

音声ガイドと対応のしかた(録音の時)

音声ガイド	原因	対応のしかた
「このＣＤ（カード）は録音・編集できません」	録音できないＣＤ（カード）です。	録音可能な、ＣＤ－Ｒ／ＲＷ（カード）を入れてください。
「書き込みエラーです」	ＣＤに指紋や汚れがついている	付属のクリーニングクロスを使用してＣＤをクリーニングしてください。
	推奨メディアを使用していない。	推奨メディアを使用してください。(「１５章２　オプション、推奨品」198 ページ参照)
	録音中に振動や衝撃が与えられた	録音中は振動や衝撃を与えないように、注意してください。
「ドライブエラーです」	録音中に落下などの大きな衝撃が与えられたとき、またはＣＤが何らかの原因で読み込みや書き込みができないとき。	音声ガイドに従い、再起動してください。録音していた内容は失われます。

音声ガイドと対応のしかた(編集の時)

音声ガイド	原因	対応のしかた
「このＣＤは編集できません」	ＣＤファイナライズ後のタイトルを編集しようとしている	編集準備を行なってから、編集してください。
「このタイトルは編集できません」	音楽ＣＤを編集しようとしている。	編集できません。 編集可能なメディア・タイトルで行なってください。
	音声ファイルを編集しようとしている。	
	図書館で借りたＤＡＩＳＹ図書を編集しようとしている。	
「これ以上タイトルを作成できません」	録音先のメディアの空き容量がない。	新しいメディアに録音してください。
「取り消す編集がありません」	直前に編集をしていない。	新たに編集をし直してください。
	直前に取り消すことができない編集をした。	
「このフレーズは結合できません」	連続した録音のフレーズでない。	フレーズを録音し直してください。
「追記禁止ファイナライズ済みです」	追記禁止ファイナライズ済みのＣＤで編集準備をしようとした。	編集準備できません。 新しいＣＤで編集してください。

音声ガイドと対応のしかた(バックアップの時)

音声ガイド	原因	対応のしかた
「バックアップ先は書き込み禁止です。書き込み可能ＣＤに交換してください」	バックアップ先が追記できないＣＤ	新しいＣＤ－Ｒ／ＲＷか、追記可能なＣＤを挿入してください。
「バックアップに失敗しました」	バックアップ中にＣＦカードを抜いた	バックアップ中はＣＦカードを抜かないでください。もう一度バックアップをやり直してください。

音声ガイドと対応のしかた(録音設定の時)

音声ガイド	原因	対応のしかた
「録音できないＣＤです」	ＣＤファイナライズした音楽ＣＤ	録音可能なＣＤ－Ｒ／ＲＷを挿入してください。
	ＣＤファイナライズしたＤＡＩＳＹ形式のＣＤ	新しいＣＤ－Ｒ／ＲＷを挿入してください。
		新規タイトル作成を実行してから、録音をしてください。
	音声ファイルＣＤが挿入されている	音声ファイルＣＤには録音できません。
	ＣＤまたは、カードが挿入されていない。	録音可能なＣＤ－Ｒ／ＲＷを挿入してください。
「この音質では、倍速録音できません」	倍速録音できない音質を選択している	倍速録音する場合は、MP３　６４kbps か MP３　３２kbps か MP３　１６kbps を選択してください。

音声ガイドと対応のしかた(メモ録の時)

音声ガイド	原因	対応のしかた
「空き容量がありません」	本機内部メモリの空き容量がない。	不要なメモ録を削除してください。
		メモリ使用量の設定でメモ録の時間を増やしてください。

音声ガイドと対応のしかた(計算機の時)

音声ガイド	原因	対応のしかた
「答えエラー答えクリア」	答えが桁数を超えた。	最大の計算桁数は１２桁です。
	０で割った。	０で割ることはできません。
「桁数エラー」	１３桁以上の数字を入力した。	数字の入力は、１２桁までの入力をしてください。

音声ガイドと対応のしかた(メディア管理の時)

音声ガイド	原因	対応のしかた
「このＣＤは、ＣＤファイナライズできません」	ＣＤが挿入されていない。	ＣＤを挿入してください。
	音声ファイルＣＤが挿入されている。	ＣＤファイナライズは不要です。
	ＣＤファイナライズされた、音楽ＣＤが挿入されている。	
	本機以外で作成されたＤＡＩＳＹ形式のＣＤが挿入されている。	ＣＤファイナライズできません。
	ＣＤにタイトルがない。	録音してから実行してください。
「消去できないＣＤです」	ＣＤ－ＲＷでないＣＤです。	消去できません。

音声ガイドと対応のしかた(その他の時)

音声ガイド	原因	対応のしかた
「アダプタ異常です」	電源アダプタに異常が起きた可能性がある。	「アダプタ異常です」という音声ガイドの後、自動的に電源が切れます。電源を OFF の位置にしてから、ON の位置にして電源を入れ、再び「アダプタ異常です」という音声ガイドがある場合には、弊社に連絡してください。
「バッテリー異常です」	バッテリーに異常が起きた可能性がある。	バッテリーを交換してください。

音声ガイドと対応のしかた(メディア認識の時)

音声ガイド	原因	対応のしかた
「不明なエラーです。設定を初期化してください」	本体内にあるしおりメモリの異常です。	設定を初期化してください。（「設定を初期化」133 ページ参照）

１６章２　CD-R/RWドライブ 症状と対応のしかた

症状	原因	対応のしかた
ドライブが動作しない。	ＵＳＢケーブルが正しく接続されていない。	ＵＳＢケーブルを差し直してください。ケーブルやコネクタを調べて、ピンにへこみ、曲がり、破損がないかをご確認ください。
	電源が入っていない。	電源プラグ、電源アダプタがしっかり接続されているかご確認ください。
		［電源スイッチ］を ON にしてください。
	Windows98SE の場合、ＵＳＢドライバがインストールされていない。	付属の取扱説明書ＤＡＩＳＹ版から、ＵＳＢドライバをインストールしてください。
	電源アダプタが純正品でない。	付属の電源アダプタをご利用ください。
書き込みができない。	推奨以外のメディアを使用している。	弊社推奨もしくは動作確認済みのＣＤ－Ｒ／ＲＷをご使用ください。
	ＣＤの裏表が逆に入っている。	ＣＤの裏表を確認して入れ直してください。
	パソコンのハードディスクの容量が少ない。	書き込む方式によってハードディスクの使用量は違いますが、一般的には、書き込むデータの１.２倍～２倍の空き容量が必要です。

症状	原因	対応のしかた
２回以上書き込んだメディアの前のセッションが読み出しできない。	ライティングソフトで前のセッションが読み出されていない。	ライティングソフトで前のセッションが読み出されていない状態で記録されたＣＤ－Ｒ／ＲＷは、原則として最後のセッションしか読み出しできません。２回目以降に書き込むときは、前のセッションを読み出し、マルチセッションとして書き込んでください。 前回書き込んだデータのセッションが閉じられており、追記されたセッションが読めなくなっています。新規のＣＤ－Ｒ／ＲＷにデータをお書き直しください。
	ＣＤ－Ｒ／ＲＷの不良	メディアの表面に指紋などの汚れや傷がないかご確認ください。汚れがある場合は、ＣＤ－Ｒ／ＲＷをクリーニングしてください。
	ＣＤの裏表が逆に入っている	ＣＤの裏表を確認して入れ直してください。
リードエラー（読み出しエラー）が発生する	ＣＤ－ＲＯＭの不良	メディアの表面に指紋などの汚れや傷がないかご確認ください。汚れがある場合は、ＣＤ－Ｒ／ＲＷをクリーニングしてください。
	ＣＤの裏表が逆に入っている	ＣＤの裏表を確認して入れ直してください。
読み出し時に異常な音が発生する	不良ＣＤが入っている	他のメディアをご使用ください。
	ＣＤの表面にシールが貼ってある	表面のシールをはがしてください。はがすときは、ＣＤに傷が付かないようにご注意ください。

症状	原因	対応のしかた
ＣＤを取り出せない。	電源が入っていない。	電源をＯＮにしてください。
	取り出し動作に異常が発生している。	取り出しキーを長く押してください。
書き込みができない。	ＵＳＢケーブルが正しく接続されていない。	ＵＳＢケーブルを差し直してください。ケーブルやコネクタを調べて、ピンにへこみ、曲がり、破損がないかをご確認ください。
	ＣＤ－Ｒ／ＲＷに傷、品質不良がある。	メディアに傷、ほこり、品質不良がある可能性があります。弊社推奨もしくは動作確認済みのメディアをご使用ください。
ＣＤ－ＲＷのデータを消したのに書かれた跡が見える	問題ありません。	ＣＤ－ＲＷは一度書き込みがされると、消去しても書き込んだ跡があります。

症状	原因	対応のしかた
メディアに追記できない。	追記データに対して、空き容量が足りない。	１枚のＣＤ－Ｒ／ＲＷに書き込める情報量は、TOC(Table Of Contents) CD-ROM内に記録されている情報の一覧)及びリードイン、リードアウトのデータを含めて 650MB(74 分タイプ)です。追記するデータに対して空き容量が不足する場合は、新たに別のＣＤ－Ｒ／ＲＷをご使用ください。
	他社のＣＤ－Ｒ／ＲＷドライブで記録したＣＤ－Ｒ／ＲＷである。	本機で書き込んだＣＤ－Ｒ／ＲＷをご使用ください。
	ディスクアットワンスで書き込まれたＣＤ－Ｒ／ＲＷまたは、トラックアットワンスで書き込み後、ＣＤクローズされたＣＤ－Ｒ／ＲＷである	以前の書き込み時に、追記できないように設定されています。新しいＣＤ－Ｒ／ＲＷをご利用ください。

１６章３　保証について

シナノケンシ株式会社は、本製品のお買い上げ日から１年間（以下「保証期間」といいます）に本製品に不具合が認められた場合には、本製品が添付の取扱説明書に従ってご使用されている場合に限り、不具合の内容や程度等を考慮して、無償にて修理あるいは交換などの対応をいたします。但し、次のような場合は、保証期間を問わず、保証の対象にはなりません。あらかじめご了承ください。

- 取扱説明書に記載された警告、注意事項その他使用条件・方法と異なる使用をした場合。
- 付属コード、電源アダプタなど、付属品以外のものを使用して破損した場合。
- フロントパネル等の外面の損傷など。
- 不具合の原因が不適当と思われるご使用方法である場合。
- 不具合の原因が落下等の過大な衝撃である場合。
- 不具合の原因が部品等の自然劣化・消耗である場合。
- 不具合の原因が落雷、風水害、地震、火災、塩害、その他天災地変である場合。
- 不具合の原因が光ピックアップ等の部品の自然劣化、消耗の場合。
- バッテリーの寿命による動作不良、停止。
- 不具合の原因が本製品に接続した他の機器である場合。
- 弊社又は弊社が指定した者以外の者（個人、事業者を含みます）により改造、修理された場合。
- 本製品を第三者に譲渡した場合。
- 本製品より取り外した部品の修理。
- 修理等のご依頼の際に保証書のご提示がない場合。
- 保証書に必要事項の記載がない場合、または保証書の文言が書き換えられている場合。
- 本製品を日本国外で使用する場合。

弊社は、いかなる場合においても、お客様の逸失利益、特別損害、付随的損害又はその他の結果的損害について、一切の責任を負うものではありません。また、弊社の責に帰すべき理由により、お客様に損害が発生した場合であっても、弊社は直接かつ通常の損害についてのみ補償し、その金額は、本製品の購入価格を上限とさせていただきます。

１６章４　商品の問い合わせについて

本機を操作している時にトラブルが発生した場合は、まず「１６章　故障かなと思ったら」202 ページを参考にしながら対処してください。それでも、解決できない場合は、弊社までお問い合わせください。

お問合せ先
〒３８６－０４９８　長野県上田市上丸子１０７８
シナノケンシ株式会社

プレクストークお問い合わせ窓口
電話：０５７０―０６４１７７
なお、IP 電話、光電話をご利用の方は０２６８－４３－８１５１に御連絡ください。
（月～金　9:３０～１２:００　１３:００～１７:００
　土・日・祝祭日は休業）

ファクシミリや E-mail は常時受け付けております。
ＦＡＸ：０２６８－４２－２９２３
E-MAIL： plextalk@skcj.co.jp
ホームページ：http://www.plextalk.com/

プレクストークホームページについて

プレクストークホームページでは、**よくある質問**や**プレクストーク製品に関する最新の情報**を提供しております。

プレクストーク専用ホームページ
　http://www.plextalk.com/
をご利用ください。

索引

<記号、A から Z>

*（アスタリスク）キー・・・・・・・ 24,37
#（シャープ）キー・・・・・・・・・ 24,37
CD
CD－DA／CD－R／CD－RW・・・・ 76,181,184,189
CD－RW 内容全消去・・・・・・・ 129
CD ドライブ・・・・・・・・・・・ 140,141,142
CD ファイナライズ・・・・・・・・ 127-128,160,181
CD 保存情報検索・・・・・・・・・ 131
CD 取り出し・・・・・・・・・・・ 51
CD 挿入口・・・・・・・・・・・・ 26
CF カード・・・・・・・・・・・・・ 26,27,76,109,130,182,199
DAISY 図書・・・・・・・・・・・・ 182
DAISY 図書再生設定・・・・・・・ 73
DAISY 図書再生の操作方法・・・・ 42-47
DAISY 図書の検索単位・・・・・・ 50
dB（デシベル）・・・・・・・・・・ 182
m3u（プレイリスト）・・・・・・・ 71,185
MP3・・・・・・・・・・・・・・・・ 70,76,78,110,182
PCM・・・・・・・・・・・・・・・・ 71,76,78,110,165,188
SCMS ・・・・・・・・・・・・・・・ 183
USB・・・・・・・・・・・・・・・・ 140,142,151,183
WAVE ファイル・・・・・・・・・・ 71,188

<あ行>

空き容量・・・・・・・・・・・・・ 127

アルバム・・・・・・・・・・・・・・ 72,74,113
アンドゥ・・・・・・・・・・・・・・ 163,183
1 分前・1 分先に移動・・・・・・・・ 50
上書き録音（録音中に間違いを修正） 168
送りキー・・・・・・・・・・・・・・ 23,25,45
送り・戻し 移動方法の選択・・・・・ 138
オプション・・・・・・・・・・・・・ 199
お休みタイマー・・・・・・・・・・・ 62
音楽用 CD－R／RW・・・・・・・・・ 184
音質（トーン）・・・・・・・・・・・ 27,28,44,45
音質と録音時間・・・・・・・・・・・ 76,165
音声
　音声ガイド・・・・・・・・・・・・ 36,80,106
　音声しおり・・・・・・・・・・・・ 66,67,68,136-137
　音声ファイルの再生・・・・・・・・ 70
音量
　音量（再生音量）・・・・・・・・・ 23,25,44,45
　録音音量・・・・・・・・・・・・・ 27,28,52
　自動音量調整・・・・・・・・・・・ 56,83,85,87,89,91,94,153,188

＜か行＞
カードドライブ・・・・・・・・・・・ 140,141,151
カード内容全消去・・・・・・・・・・ 130,160
簡単しおり・・・・・・・・・・・・・ 64,65,67
キーロック・・・・・・・・・・・・・ 28-29,106
キー操作音・・・・・・・・・・・・・ 36
クリック押し・・・・・・・・・・・・ 36
グループ・・・・・・・・・・・・・・ 184
　グループ移動・・・・・・・・・・・ 137
　グループ設定・・・・・・・・・・・ 174
計算機・・・・・・・・・・・・・・・ 125,126

<さ行>

再生／停止キー・・・・・・・・・・・・ 23,25
再生スピード・・・・・・・・・・・・・ 27,44-45
再生設定・・・・・・・・・・・・・・・ 73-75
再生方法の切り替え・・・・・・・・・・ 163
最後に移動・・・・・・・・・・・・・・ 63,157
しおり・・・・・・・・・・・・・・・・ 64-69,73-74,136-137
しおりキー・・・・・・・・・・・・・・ 23,24,37,46,47
自動音量調整・・・・・・・・・・・・・ 56,83,85,87,89,91,94,153,188
自動電源 OFF・・・・・・・・・・・・・ 41
シャープキー（＃キー）・・・・・・・・ 24,37
充電・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20,24,38-40
使用容量・・・・・・・・・・・・・・・ 127
情報キー・・・・・・・・・・・・・・・ 23,36-37,38,45,55,62,
83,85,87,89,106,107
セクション・・・・・・・・・・・・・・ 184
セクション編集・・・・・・・・・・・ 96-101
セクション切り取り・・・・・・・・・・ 96-97
セクション結合・・・・・・・・・・・・ 100
セクションコピー・・・・・・・・・・・ 98
セクションの(自動)分割・・・・・・・ 78,184
セクション貼り付け・・・・・・・・・・ 99
セクションレベル設定・・・・・・・・・ 175
設定(各種設定項目)の初期化・・・・・ 133-134
先頭に移動・・・・・・・・・・・・・・ 63
挿入録音・・・・・・・・・・・・・・・ 166,187
外付けマイク・・・・・・・・・・・・・ 187,198
外付けマイクジャック・・・・・・・・・ 28,29

＜た行＞
タイトル・・・・・・・・・・・・・・・ 184
マルチ(複数の)タイトル・・・・・ 47,50,60,61,63,73,185
タイトルの作成、削除・・・・・・ 102,103
直前編集取り消し・・・・・・・・・・ 101
著作権情報・・・・・・・・・・・・・ 187
通常再生・・・・・・・・・・・・・・・ 163
テンキー・・・・・・・・・・・・・・・ 23,24
1 キー・・・・・・・・・・・・・・・ 65,165,166,167
2 キー・・・・・・・・・・・・・・・ 24,25,48,49
3 キー・・・・・・・・・・・・・・・ 163,166,167
4 キー・・・・・・・・・・・・・・・ 24,25,49,50,54,59-61
5 キー・・・・・・・・・・・・・・・ 24,25,48,162
6 キー・・・・・・・・・・・・・・・ 24,25,49,50,59-61
7 キー・・・・・・・・・・・・・・・ 163,174
8 キー・・・・・・・・・・・・・・・ 24,25,48,49
9 キー・・・・・・・・・・・・・・・ 163
0 キー・・・・・・・・・・・・・・・ 63
電源 LED・・・・・・・・・・・・・・ 23,24
電源アダプタ・・・・・・・・・・・・ 20,21,38
電源スイッチ・・・・・・・・・・・・ 27,36,51,52
動作モードの選択・・・・・・・・・・ 139,162
トーン(音質)・・・・・・・・・・・・ 27,28,44,45
特殊ページ・・・・・・・・・・・・・ 47,187
図書制作モード・・・・・・・・・・・ 35,139,161-162
トラック・・・・・・・・・・・・・・・ 47,63,74
取り出しキー・・・・・・・・・・・・ 23,25

＜な行＞
内蔵スピーカ・・・・・・・・・・・・ 23,26
内蔵マイク・・・・・・・・・・・・・ 23,26,56,57,81
長押し・・・・・・・・・・・・・・・ 36
日時の確認、設定・・・・・・・・・・ 107
入力音のノイズ量・・・・・・・・・・ 77-78,188
入力元の選択・・・・・・・・・・・・ 81
ノーマルモード・・・・・・・・・・・ 35,139,161-162

＜は行＞
倍速録音設定・・・・・・・・・・・・ 77,78,93,164,185
バックアップ・・・・・・・・・・・・ 109-115
バッテリー・・・・・・・・・・・・・ 20,21,38-41,194
バッテリーLED・・・・・・・・・・・ 23,24
パンチイン録音・・・・・・・・・・・ 164,165,167,184
ビットレート・・・・・・・・・・・・ 185
不要音声ファイル削除・・・・・・・・ 132
プレイリスト（*.m3u）・・・・・・・ 71,185
フレーズ・・・・・・・・・・・・・・ 185
　フレーズ移動・・・・・・・・・・・ 138,161
　フレーズ切り取り・・・・・・・・・ 168,169
　フレーズ結合・・・・・・・・・・・ 173
　フレーズコピー・・・・・・・・・・ 170
　フレーズの自動分割・・・・・・・・ 161,164,185
　フレーズ貼り付け・・・・・・・・・ 171
　フレーズ分割・・・・・・・・・・・ 172
プレクストークの情報・・・・・・・・ 135
ページキー・・・・・・・・・・・・・ 23,24,36,37,60,61
ページ合計・・・・・・・・・・・・・ 187
ページに移動・・・・・・・・・・・・ 50,63
ヘッドホン・・・・・・・・・・・・・ 57

ヘッドホンジャック・・・・・・・・・ 29
編集再生・・・・・・・・・・・・・・ 163,166,167
編集準備・・・・・・・・・・・・・・ 104,188

＜ま行＞
前付けページ・・・・・・・・・・・・ 47,188
待ち受け音の選択・・・・・・・・・・ 135
マルチタイトル・・・・・・・・・・・ 47,50,60,61,63,185
マルチボリューム・・・・・・・・・・ 47
マルチボリューム CD・・・・・・・・ 185
見出し・・・・・・・・・・・・・・・ 58-61,63,187
　見出しキー・・・・・・・・・・・・ 23,36,37
　見出しに移動・・・・・・・・・・・ 63
メディア・・・・・・・・・・・・・・ 127,185
メニュー・・・・・・・・・・・・・・ 186
メニューキー・・・・・・・・・・・・ 23,25
メモリ配分の選択・・・・・・・・・・ 136-137
メモ録・・・・・・・・・・・・・・・ 119-124,136-137
戻しキー・・・・・・・・・・・・・・ 23,25,45

＜や行＞
用語解説・・・・・・・・・・・・・・ 181-190

＜ら行＞
ラインインジャック・・・・・・・・・ 29
ラインイン・・・・・・・・・・・・・ 81,186
リドゥ・・・・・・・・・・・・・・・ 162,163,186
レベル・・・・・・・・・・・・・・・ 50,186
レベル 1～レベル 6・・・・・・・・・ 50
連続した見出しの取り消し・・・・・ 61,100

録音・・・・・・・・・・・・・・・・ 52,76,164
録音音量・・・・・・・・・・・・・ 85,87,89,91,95
録音音量シャトル・・・・・・・・・ 28,56
録音開始タイミンク・・・・・・・・ 77,78,188
録音可能時間・・・・・・・・・・・ 55,76,93,132,165
録音キー・・・・・・・・・・・・・ 23,24
録音キー操作時・・・・・・・・・・ 78
録音設定・・・・・・・・・・・・・ 77,93,164
録音中の音声ガイド・・・・・・・・ 80
録音の一時中断（ポーズ）・・・・ 55
録音の自動停止・・・・・・・・・・ 78,188
録音編集情報の保存・・・・・・・・ 105
録音方法の切り替え・・・・・・・・ 165
録音モード・・・・・・・・・・・・ 76-79,93,164
録音モニタ・・・・・・・・・・・・ 57
録音用接続ケーブル・・・・・・・・ 18,29,56
録音レベル LED・・・・・・・・・・ 23,25
ロックキー・・・・・・・・・・・・・ 28

お問い合わせ先

〒３８６－０４９８
長野県上田市上丸子１０７８
シナノケンシ株式会社

プレクストークお問い合わせ窓口
電話　０５７０－０６４１７７
なお、IP 電話、光電話をご利用の方は０２６８－４３－８１５１に御連絡ください。
（月～金　９：３０～１２：００　１３：００～１７：００
　土・日・祝・祭日は休業）

ファクシミリやＥ－ｍａｉｌは、常時受け付けております。
ＦＡＸ　０２６８－４２－２９２３
Ｅ―ｍａｉｌ　ｐｌｅｘｔａｌｋ@ｓｋｃｊ．ｃｏ．ｊｐ
ホームページ　ｈｔｔｐ：／／ｗｗｗ．ｐｌｅｘｔａｌｋ．ｃｏｍ／

PLEXTOR

PRINTED WITH SOY INK

この取扱説明書は、再生紙と植物性大豆インキを使用しています。

127-3665905　2010/4　Printed in Japan